EXPO2025　大阪・関西万博
誘致活動の軌跡

2025日本万国博覧会誘致委員会

目　次

巻頭言 …… 〈I〉

第1部

第1章　国際博覧会開催構想打ち上げから地元基本構想まで

（1）国際博覧会開催構想打ち上げの経緯 …… 〈2〉

（2）大阪府の検討体制 …… 〈2〉

（3）開催候補地の決定と地元基本構想の策定 …… 〈3〉

第2章　国検討会設置から立候補まで

（1）地元から全国への広がりと推進体制 …… 〈8〉

（2）日本政府検討会（2025年国際博覧会検討会） …… 〈14〉

（3）閣議了解 …… 〈14〉

（4）関係省庁連絡会議の設立 …… 〈15〉

（5）開催希望通告 …… 〈15〉

第3章　誘致活動の展開から開催国決定まで …… 〈17〉

第2部

第1章　構想の検討

（1）国際博覧会大阪誘致構想検討会 …… 〈30〉

（2）「2025日本万国博覧会」～人類の健康・長寿への挑戦～　基本構想試案 〈30〉

（3）2025年万博基本構想検討会議 …… 〈31〉

（4）2025日本万国博覧会基本構想案 …… 〈33〉

（5）2025年国際博覧会検討会 …… 〈34〉

第2章　Society5.0−SDGs

（1）Society5.0、SDGsとは …… 〈36〉

（2）Society5.0、SDGsと2025年大阪・関西万博 …… 〈36〉

（3）SDGs関連イベント …… 〈36〉

第3章　国内広報・啓発活動

（1）国内広報・啓発活動のあゆみ …… 〈38〉

（2）各種の広報・啓発物の作成と普及 …… 〈52〉

（3）著名人による発信 …… 〈60〉

（4）#thinkexpo2025 …… 〈63〉

第4章　海外での支持要請

（1）パリにおける各国関係者への働きかけ …… 〈69〉

（2）BIE加盟国本国等への働きかけ …… 〈74〉

（3）国内における各国関係者への働きかけ …… 〈80〉

第5章　市民活動 …… 〈84〉

第6章　構成団体等の取組み

（1）大阪府市の取組み …… 〈89〉

（2）大阪府議会・大阪市会の取組み …… 〈91〉

（3）2025年大阪万国博覧会を実現する国会議員連盟の取組み …… 〈94〉

参考資料 …… 〈97〉

誘致委員会会長 ごあいさつ

2025年の国際博覧会は、昨年11月23日パリで開催された第164回BIE（博覧会国際事務局）総会において、日本の大阪・関西で開催されることが決定しました。

これまでわが国では、合計5回の国際博覧会が開催されておりますが、今回のような総合的なテーマを取り扱う大規模な国際博覧会は、1970年の「大阪万博」、2005年の「愛知万博」に次いで3回目となります。日本では20年振り、大阪では55年振りの開催となります。

2017年3月に誘致委員会が発足してから開催決定までの1年8か月、政府、経済界、地元自治体、そして国民の皆様のオールジャパン体制を築き、各国の支持獲得と国内機運の醸成に努めてまいりました。

今回の誘致獲得は、一昨年4月の立候補以来、「2025年の万博を必ず大阪・関西で開催する」という強い決意と覚悟の下、まさにオールジャパンの体制で関係の皆様が共に力を合わせて懸命に誘致活動に取り組んできた賜物であります。今回、この念願が叶い、大阪・関西への誘致が成功したことを誘致委員会会長として大変嬉しく思っております。皆様方のこれまでのご尽力にあらためて心から感謝申しあげたいと思います。

誘致活動において、私達はIoT、ビッグデータ、AI、ロボット等の革新技術を最大限活用し、人々が快適に暮らせる未来社会「Society 5.0」の実現を通じて、国連が掲げる持続可能な開発目標（SDGs）達成のフロントランナーとなることで、世界の持続的成長と発展に貢献したいという思いを訴えてまいりました。このコンセプトが各国のBIE政府代表の皆様に受け入れて頂けたものと思っております。

また、大阪・関西はアジアのゲートウェイとして、アジアの都市や国々と強い結びつきがあります。2025年の大阪・関西万博では、参加するすべての国にとって、アジアとの新たなビジネス機会を創出するチャンスに繋がると思います。2025大阪・関西万博を未来社会のビジョンを世界の人々と共有し、健康・医療や環境・エネルギー等のグローバル課題を解決する機会にしたいと思っております。

これまで誘致活動にご支援・ご協力いただきました皆様に、あらためて深く感謝申しあげるとともに、2025大阪・関西万博成功に向けた、引き続きのご支援・ご協力をお願い申しあげます。

平成31年3月

２０２５日本万国博覧会誘致委員会会長
（一般社団法人日本経済団体連合会名誉会長）　榊原 定征

誘致委員会会長代行 ごあいさつ

2018年11月23日のBIE総会におきまして、2025年国際博覧会の大阪・関西での開催が決定しました。振り返りますと、万博誘致を提唱してから約4年、誘致活動を本格的に開始して1年8か月、この間各界の皆様と懸命に誘致活動を進めてきました。誘致を勝ち取ることができたのは、政府、国会議員の皆様、経済界の皆様、全国の自治体、議会の皆様が、国民の皆さんの後押しを得て一丸となって誘致活動に取り組んだ賜物です。ご協力いただきました皆様に厚くお礼申し上げます。

今後、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとして、世界の課題解決を図り、国連が掲げる持続可能な開発目標(SDGs)の達成に貢献する素晴らしい万博を大阪・関西で成功させることができますよう、地元としてしっかりと取り組んでまいります。

引き続き万博の成功に向け、皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成31年3月

２０２５日本万国博覧会誘致委員会会長代行
（大阪府知事）　松井 一郎

この度、2025年大阪・関西万博が決定したことを大変嬉しく思っております。2018年は大阪北部地震、台風21号による風評被害など日本にとって厳しい年であり、BIE総会当日まで熾烈な誘致競争を繰り広げましたが、見事、誘致を勝ち取ることができました。

これは政府、地元自治体、経済界が一体となり、130万人の賛同者、6,000社超の法人・団体会員、約290の協賛社に加え、世界中に展開する企業のネットワークを活かしてもらうなど、国内外で協力を頂いて取り組んできた成果であり、その支援の幅と厚みが最後に大きな票差となった日本の総合力による勝利と言えると思います。改めて御礼申し上げます。

今後は世界の叡知を集め、世代や国籍を超えて多様な人材が活躍できる万博にし、大阪・関西の活性化へのスプリングボードとして弾みをつけ、日本のさらなる発展につなげていけるように、引き続き経済界としても精一杯取り組んでまいりますので、ご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。

平成31年3月

２０２５日本万国博覧会誘致委員会会長代行
（公益社団法人関西経済連合会会長）　松本 正義

発刊に寄せて

2025年大阪・関西万博の誘致を実現できたことは、政府・経済界・自治体の三位一体の活動はもとより、地元の大阪市民や地域の団体をはじめ、全国の多くの関係者のご支援、ご協力をいただいたおかげであり、厚くお礼申し上げます。

今後、万博開催に向けて取り組んでまいりますが、若いクリエーターにも多く参画いただき、世界をあっと言わせる万博にしたいと思います。子供から大人まで幅広い年齢層の方々が万博会場に訪れ、新たな価値観を生み出し、新たな夢を抱けるようなワクワクする万博となるよう、皆様方の引き続きのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

２０２５日本万国博覧会誘致委員会副会長
（大阪市長）　吉村 洋文

2025年大阪・関西万博の開催が決定しました。関西を挙げて誘致に取り組んだ成果です。皆様のご尽力に心から感謝いたします。

関西広域連合では、姉妹・友好関係を活かした各首長による海外諸国への働きかけや地域の機運を醸成する取り組みをはじめ、構成府県市が一丸となった誘致活動を展開してきました。

大阪・関西万博は、世界の英知が大阪・関西に結集するだけでなく、関西の魅力を世界に発信する絶好の機会です。ワールドマスターズゲームズ2021関西に続く大阪・関西万博の開催が、関西の新時代を築く先駆けとなるよう、これからも関西全体で盛り上げてまいります。

２０２５日本万国博覧会誘致委員会副会長
（関西広域連合長）　井戸 敏三

2025年国際博覧会の誘致が実現できたのは、全国の皆様の応援を力に、国、自治体、経済界が一体となって誘致活動を積み重ねた成果です。地元の皆様の熱い思い、全国にある515の商工会議所や在外日本商工会議所をはじめとした各団体のご協力に対し、心より感謝申し上げます。

誘致活動を通じて、世界共通の課題解決に日本が取り組むことへの大きな期待を感じました。大阪・関西万博が、世界中の一人ひとりが輝く社会の実現に貢献するものとなるよう、全力で取り組んで参ります。皆様には引き続きご支援、ご協力をお願い申し上げます。

２０２５日本万国博覧会誘致委員会副会長
（大阪商工会議所会頭）　尾崎　裕

2025年大阪・関西万博の誘致に当事者として関わることができ、かつ、望み通りの結果を手にできたことを心から嬉しく思うと同時に、取り組みを先導された政府・国会議員の皆様、知事、市長、そして経済界の皆様のご努力に深甚なる敬意を表します。誠におめでとうございます。

そして、ここからが本当のスタートです。世界の注目を原動力に、地元自治体・企業だけでなく、より多くの方々の主体的な挑戦を促すことで、万博開催が大阪・関西のみならず、日本のさらなる発展・進化につながることを期待してやみません。

２０２５日本万国博覧会誘致委員会副会長
（関西経済同友会代表幹事）　黒田 章裕

2018年11月23日のBIE総会。日本が2025年国際博覧会の誘致を勝ち取った“あの瞬間”に立ち会えたことは、私にとって生涯忘れ得ぬ体験となりました。

これは政府・自治体・経済界が一丸となり、国民の皆様の後押しを得て取り組んだ結果です。ご協力いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。

大阪・関西万博が“未来社会の実験場”として、様々な最先端の取り組みにチャレンジし、そしてそれを世界に発信する場となることを大いに期待しています。

引き続き万博の成功に向け、皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

２０２５日本万国博覧会誘致委員会副会長
（関西経済同友会代表幹事）　池田 博之

大阪・関西での開催決定は国を挙げた誘致活動が実を結んだ結果であり、誘致に向けご協力いただきました皆様のご尽力に心よりお礼を申し上げます。

万博成功のために京都産業の総力を挙げるとともに、文化や観光の強みを活かして世界から訪れる人々へのおもてなしに貢献をしていきたいと考えております。

2025年に向け、オールジャパン、オール関西の知恵と力を結集し、万博の開催を一過性のものに終わらせることなく、世界に先駆けて希望に満ちた未来社会をデザインし、レガシーとして関西広域の都市づくりに実装していくことを期待しています。

２０２５日本万国博覧会誘致委員会副会長
（京都商工会議所会頭）　立石 義雄

発刊に寄せて

2025年国際博覧会の開催地が大阪・関西に決定いたしました。

オールジャパン体制の下、関西一丸となり、共に誘致成功を目指してきた神戸経済界としても大変喜ばしく、関係の皆様のご尽力に心より感謝申し上げます。

国内外から多くの人が訪れる万博は、関西の魅力をアピールする絶好の機会であり、産業界にとっても新たなイノベーションを生み出すチャンスです。

開催までの6年間、万博成功に向けて、オールジャパン、オール関西で一致結束して準備を進め、広くグローバルに、その魅力を力強く発信していけるよう心から祈念いたします。

２０２５日本万国博覧会誘致委員会副会長
（神戸商工会議所会頭）　家次　恒

2025年万博の誘致実現にご協力いただきました関係者の皆様に心より感謝申し上げます。立候補に際しては、当時、政府や大阪府・市、他の経済団体の皆さんと度重なる協議を重ね、表明に至っただけに、誘致決定の瞬間は大変感慨深いものがありました。

官民一体となり取り組んだことでこの誘致が結実したように、これからは2025年に向けて、関西はもとより日本全国の自治体、企業、団体等、更に多くの方に参画していただき、日本そして世界の英知を結集した新しい万博をともに創りあげるよう、改めて皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

２０２５日本万国博覧会誘致委員会副会長
（公益社団法人関西経済連合会相談役）　森　詳介

2025年大阪・関西万博の開催が決定しました。2019年のラグビーワールドカップ、2020年東京オリンピック・パラリンピック、2021年ワールドマスターズゲームズに続く国際イベントの開催は、日本経済の活性化とイノベーションの創出を促す絶好の機会です。同時に、日本の魅力を世界に向けて発信する機会でもあります。万博成功に向け、オールジャパン体制で開催テーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」の具体化を急がねばなりません。誘致活動をご支援いただいた皆様に厚く御礼申し上げるとともに、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

２０２５日本万国博覧会誘致委員会副会長
（一般社団法人日本経済団体連合会審議員会議長）　古賀 信行

2025年万博の大阪・関西開催決定は、大阪・関西はもちろん、全国一体となって盛り上がった誘致活動の賜物であります。経団連としましても、Society 5.0 for SDGsの実現を推進している中で、メッセージの共通する「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマにしたアピールが、世界のみなさまのご支持をいただいたことは喜びに堪えません。

この万博が、日本のSociety 5.0 for SDGsの実現に向けた取り組みを世界に紹介する良い機会となることを、そして成功に向けてオール関西、オールジャパンで盛り上がっていくことを期待しています。

２０２５日本万国博覧会誘致委員会副会長
（一般社団法人日本経済団体連合会副会長）　早川　茂

第1部

EXPO 2025

第1章　国際博覧会開催構想打ち上げから地元基本構想まで

(1)国際博覧会開催構想打ち上げの経緯

2025年国際博覧会(万博)に向けた検討は、2014(H26)年に大阪府で始まりました。

前年の2013(H25)年には2020年オリンピック・パラリンピックの開催都市に東京が選ばれ、全国的に大いに盛り上がっていました。一方、大阪では2013(H25)年にグランフロント大阪、2014(H26)年にはあべのハルカスの開業といった、街のランドマークの整備が進むとともに、訪日外国人(インバウンド)が増加し始めるなど、街の姿が大きく変わった時期でした。

2014(H26)年8月6日、大阪府議会の最大会派である「大阪維新の会・みんなの党都構想推進大阪府議会議員団」が提出した「平成26年度大阪府施策についての提言」において、2025年の国際博覧会誘致が提案されました。

松井一郎大阪府知事は、同日、担当部局(政策企画部企画室)に対して誘致に向けた検討を指示しました。

平成26年度大阪府施策についての提言
(H26.8.6大阪維新の会・みんなの党都構想推進大阪府議会議員団)抜粋

3　賑わいづくり

(2)国際万国博覧会の誘致

海外から大阪への外国人旅行者、いわゆるインバウンドの受入状況は、昨年は約260万人であり、2020年にインバウンド650万人をめざす大阪府にとっては、まだまだ道半ばであり、更なるインバウンド施策の推進が必要である。

このためには、まず、大坂夏の陣から400年、道頓堀開削から400周年に当たる2015年のシンボルイヤーを外国人旅行者を受け入れるステップアップの機会として捉え、「民が主役、行政はサポート役」との基本的な考え方のもと、市町村や地元団体、民間と連携し、これまで以上に世界に大阪の魅力を印象付けるシンボルイヤーにふさわしい取り組みを推進されたい。

また、東京オリンピックが開催される2020年は、IRの誘致が大阪で可能になれば、東西の2極において世界中から日本に注目が集まる年となる。IRの誘致とともに、2025年に国際万国博覧会を大阪に誘致する絶好の機会と捉えて、複合型観光施設やホテルや劇場、美術館などの周辺施設、交通インフラの整備を進め、インバウンドの受け入れ体制の充実を図られたい。

IRとともに国際万国博覧会の開催が可能となれば世界中から大阪へアプローチするイベントとなる。そのためにも、2015年のシンボルイヤーをきっかけに、インバウンド施策を短期・長期的に進め、未来の大阪にふさわしい2025年の国際万国博覧会誘致について検討すること。

(2)大阪府の検討体制

①政策企画部企画室での検討

国際博覧会を統括する博覧会国際事務局(BIE)の規定によると、2025年の登録博覧会の立候補の受付は開催予定日から遡っての9年前(2016(H28)年)から開始され、最初の国が立候補してから半年後に締め切られます。そのため、最短で2年弱の準備期間しかなく、大阪開催の可能性の検討を早急に進める必要がありました。

政策企画部企画室では、まずは国際博覧会に関する情報収集をすべく、国際博覧会を所管する経済産業省や2005(H17)年に国際博覧会が開催された愛知県などにヒアリングを行いました。また、大阪での開催可能性を検討するため、経済、産業、文化、医療、国際関係、メディアなどの様々な分野で活躍されている有識者の方々にご意見を伺いました。併せて、国際博覧会に精通している元経済企画庁長官で大阪府特別顧問の堺屋太一氏と同特別顧問の橋爪紳也氏から助言をいただきながら、大阪で開催する場合の開催意義・理念、開催候補地、事業規模および経済効果について調査を進めました。

2014(H26)年10月には、庁内に「国際博覧会誘致検討委員会」を設置し、地元の合意形成に向け、経済団体の実務担当者とも意見交換を重ねました(詳細はP3「(3)①国際博覧会誘致検討委員会の設置」を参照)。

企画室においては、2014(H26)年11月に専任職員2名を新たに配置し、検討体制を整えました。

2015(H27)年1月21日には、松井知事、橋下大阪市長、森関西経済連合会会長、佐藤大阪商工会議所会頭、村尾関西経済同友会代表幹事が大阪市内で会談し、国際博覧会の大阪誘致の可能性を検討するため、経済界や有識者を交えた会議体を設置することについて合意しました。

同年4月には、さらに専任職員を1名増員して3名体制にするとともに、行政、経済界、有識者をメンバーとする「国際博覧会大阪誘致構想検討会」を設置しました。

この検討会は、同年7月まで計4回開催し、同年8月25日には、検討結果をとりまとめた報告書「国際博覧会大阪誘致の可能性検討状況について」を公表しました。(検討の経緯はP4「(3)②国際博覧会大阪誘致構想検討会の設置」を参照)。

また、2015(H27)年9月に、国際博覧会の効果を調査するため、松井知事はミラノ国際博覧会を視察するとともに、ビセンテ･ゴンザレス･ロセルタレスBIE事務局長との意見交換を行いました(詳細はP4「(3)③ミラノ国際博覧会の視察／ロセルタレスBIE事務局長との会談」を参照))。

これと並行して、松井知事は2016(H28)年1月に菅義偉官房長官を、同年3月に林幹雄経済産業大臣を訪問し、2025年に開催される国際博覧会の大阪開催を国家プロジェクトとして位置づけるよう要請し、いずれも前向きに検討する旨の回答を得ました。

2016(H28)年4月には、専任職員を5名増員して8名体制に拡充するとともに、新たに澤田裕二氏(株式会社SD 代表取締役社長)を大阪府特別顧問に、坂口康氏(映像プランナー、企画・演出プロデューサー)を同特別参与に招き、既に府の特別顧問であった堺屋太一氏や橋爪紳也氏とともに、国際博覧会誘致に向けた助言をいただきました。

2016(H28)年6月30日、「2025年日本万国博覧会基本構想」試案(詳細はP4「(3)④「2025日本万国博覧会」～人類の健康・長寿への挑戦～基本構想試案」を参照)を公表するとともに、2025年国際博覧会を大阪に誘致するための基本的な構想について意見聴取を行うため、国、行政、経済界、有識者計26名からなる「2025年万博基本構想検討会議」を設置しました。

この検討会は、全体会議4回、理念・事業展開部会2回、整備等部会3回を開催し、同年10月28日の全体会議では、「2025日本万国博覧会基本構想」(府案)をとりまとめ、全委員の賛同のもと閉会しました(詳細はP5「(3)⑤2025年万博基本構想(地元基本構想)の検討」を参照)。

②万博誘致プロジェクトチームの立ち上げ

2016(H28)年8月16日に、大阪府では、政策企画部内に万博誘致プロジェクトチーム(専任職員12名、兼任職員4名)を設置し、部全体で国際博覧会(万博)誘致に取り組む体制を整えました。

③万博誘致推進室の設置

2016(H28)年11月9日に「2025日本万国博覧会基本構想案」を国に提出し、誘致可能性の検討段階から誘致に向けた具体的な検討段階に入ったことを受け、11月21日には、企画室から国際博覧会(万博)誘致担当を独立させ、15名の職員から成る万博誘致推進室を設置しました。この組織は、先立って設置した2025日本万国博覧会誘致委員会準備会(詳細は、P10「(1)②2025日本万国博覧会誘致委員会準備会の発足」を参照)の事務局も担うこととなりました。

(3)開催候補地の決定と地元基本構想の策定

①国際博覧会誘致検討委員会の設置

大阪府では、2014(H26)年8月から、2025年国際博覧会の大阪での開催可能性について調査しましたが、その結果について府と経済界の実務担当者レベルからなる意見を交換するため、「国際博覧会誘致検討委員会」を設置しました。

この検討会は、2014(H26)年10月10日から同年12月3日まで計4回開催しました。

第1回
　開催日　10月10日
　議　題　検討委員会について
　　検討の進め方について

第2回
　開催日　10月30日
　議　題　大阪開催の意義・理念について
　　開催候補地について

第3回
　開催日　11月6日
　議　題　事業規模・経済効果について
第4回
　開催日　12月3日
　議　題　国際博覧会大阪開催の可能性について

②国際博覧会大阪誘致構想検討会の設置

2015(H27)年4月、大阪府は、国際博覧会誘致に向けた課題や対応策等について幅広く検討することを目的に、「国際博覧会大阪誘致構想検討会」を設置しました。委員は、行政5名、経済界3名、有識者6名の計14名で構成されました。

第1回会議は、2015(H27)年4月28日に大阪府庁で開催し、座長に橋爪紳也大阪府立大学特別教授(大阪府特別顧問)を選出しました。本会議は、同年7月28日まで計4回開催しました

　第1回
　開催日　4月28日
　議　題　最近の国際博覧会の動向について
　第2回
　開催日　6月8日
　議　題　国際博覧会の開催意義、テーマについて
　第3回
　開催日　7月7日
　議　題　国際博覧会の開催意義、テーマについて
　　大阪開催による効果等について
　第4回
　開催日　7月28日
　議　題　・府民企業意識調査及び開催可能地区調査(中間報告)
　　・大阪の成長戦略における位置づけ

国際博覧会大阪誘致構想検討会

(詳細はP30「(1)国際博覧会大阪誘致構想検討会」)を参照)

③ミラノ国際博覧会の視察／ロセルタレスBIE事務局長との会談

2015(H27)年9月、松井知事は、国際博覧会の効果を調査するため、イタリアで開催されているミラノ国際博覧会の視察及びロセルタレスBIE事務局長との会談を行いました。

9月10日に、ミラノ国際博覧会を訪問した松井知事は、日本館での大阪PRイベントに参加した後、国際博覧会を開催又は開催を予定するイタリア、カザフスタン、アラブ首長国連邦のパビリオンを視察し、世界的な課題に対する解決策を提示するという国際博覧会の趣旨をどのように表現しているかという点について、意見交換しました。

翌11日には、フランス・パリに所在するBIEを訪問し、国際博覧会大阪誘致の検討について、ロセルタレス事務局長と意見交換を行いました。ロセルタレス氏からは、「知事が考えているテーマ(健康)は国際博覧会の意義を踏まえており、人類の未来にとって重要なテーマ。日本はこういうテーマを打ち出せばよい」との示唆をいただきました。さらに、「大阪は各国の大都市と十分に競合できる力がある」との発言がありました。

④「2025日本万国博覧会」～人類の健康・長寿への挑戦～基本構想試案

これまでの検討経過を踏まえ、国際博覧会の誘致をめざす松井知事は、国家レベルでの本格的な検討を促し、我が国全体での開催議論を巻き起こすためには、自らどのような国際博覧会をめざしているのか、その具体的なイメージを早急に明らかにする必要があると考え、2016(H28)年6月に議論のたたき台としての基本構想「試案」を作成しました。

この試案は、「人類の健康・長寿への挑戦」をテーマに世界から知を集め、未来に向けた行動を呼びかける国際博覧会にしたいという松井知事の思いを形にしたものであり、主に国際博覧会に関する知識、実績が豊富な澤田裕二大阪府特別顧問、坂口康大阪府特別参与の協力を得てとりまとめられました(詳細はP30「(2)「2025日本万国博覧会」～人類の健康・長寿への挑戦～基本構想試案(2016(H28)年6月)」を参照)。

（試案の概要）

■テーマ　「人類の健康・長寿への挑戦」
■サブテーマ
- 科学と技術の発展
- 文化の多様性の尊重
- 安定した生活の実現
- 地球環境の保全と共生

■開催期間：2025年4月～10月（6か月間）
■会場：夢洲地区を想定
■参加国等：150ヵ国・機関をめざす
■目標入場者数：3,000万人以上
■会場建設費：1,500億円～1,600億円程度
■運営費：800億円程度
■全国への経済波及効果：約6兆円（試算値）

⑤2025年万博基本構想（地元基本構想）の検討

ｉ）2025年万博基本構想検討会議の設置

「2025年万博基本構想検討会議」は、大阪府が2025年国際博覧会（万博）を大阪に誘致するための基本的な構想をとりまとめるにあたり、専門的見地からの意見を幅広く聴取することを目的に設置しました。

本会議の構成は、大学教授や民間企業の有識者16名、大阪府、大阪市、堺市、大阪府市長会、大阪府町村長会、経済産業省、厚生労働省の行政7名、関西経済連合会、大阪商工会議所、関西経済同友会の経済界3名の計26名となりました。

2016（H28）年6月30日に第1回の2025年万博基本構想検討会議が大阪市内のホテルで開かれ、東京大学高齢社会総合研究機構の秋山弘子特任教授が座長に、大阪府立大学の橋爪紳也特任教授（大阪府特別顧問）が副座長に選ばれました。

また、同検討会議では、多岐にわたる検討項目の議論を深めるため、「理念・事業展開部会」と「整備等部会」を設置することとしました。基本理念、名称、テーマ、サブテーマ、事業展開、開催前の活動、理念の継承について意見を聴取する「理念・事業展開部会」の部会長には、株式会社SDの澤田裕二代表取締役社長（大阪府特別顧問）が選ばれ、有識者、行政、経済界の19名で構成されました。また、会場候補地、会場整備、宿泊計画等について意見を聴取する「整備等部会」の部会長には、副座長である橋爪紳也氏が選ばれ、有識者、行政、経済界の16名で構成されました。

2025年万博基本構想検討会議（全体会議）

○検討経過

同検討会議は2016（H28）年6月30日から同年10月28日の間で、全体会議は4回、理念・事業展開部会は2回、整備等部会は3回開催しました。

第1回　全体会議
　開催日　　6月30日
第1回　理念・事業展開部会
　開催日　　7月14日
第1回　整備等部会
　開催日　　7月22日
第2回　全体会議
　開催日　　7月29日
第2回　整備等部会
　開催日　　8月12日
第2回　理念・事業展開部会
　開催日　　9月 6日
第3回　整備等部会
　開催日　　9月29日
第3回　全体会議
　開催日　　9月29日
第4回　全体会議
　開催日　10月28日

理念・事業展開部会

整備等部会

（詳細はＰ31「(3)2025年万博基本構想検討会議」を参照）

ⅱ）開催候補地の決定

国際博覧会（万博）の会場候補地については、2025年万博基本構想検討会議において、基本構想「試案」で示した夢洲と、100ヘクタール以上の用地が確保できる見込みのある彩都東部・万博記念公園、服部緑地、花博記念公園鶴見緑地、舞洲、大泉緑地、りんくうタウンを加えた計7ヵ所を対象に、会場として整える要件、面積、施設と土地利用の観点から議論を進めました。

なお、夢洲については、検討時点では、埋め立て途上であることや来場者の輸送に欠かせない鉄道が未整備である等の課題があったため、整備等部会における議論と並行し、竹内大阪府副知事、田中大阪市副市長をトップとした「府市技術検討会」を設置（2016（H28）年6月28日）し、夢洲までの交通アクセスや会場用地の埋め立てなどの技術的課題の検討・整理を行いました。

開催候補地の選定では、会場に関する博覧会国際事務局（BIE）の審査の視点やテーマの重要性を謳った1994（H6）年6月の第115回BIE総会決議の内容、さらには現地視察を踏まえて議論を進めた結果、以下の4つの観点から、正式に夢洲を会場候補地としました。

ア）夢洲地区は、埋め立て途上であり、万博を開催する場合には、一部急速施工は必要となるものの更地で100ヘクタールの土地が確保できること。

イ）夢洲地区は、長期的な整備計画として新たな国際観光拠点の形成に向けた夢洲まちづくり構想（2017（H29）年8月）があり、大阪・関西の成長に向けてベイエリアの発展は重要であること。

ウ）現在の交通基盤は、夢舞大橋や夢咲トンネルを経由する道路のみだが、夢洲のまちづくりの進捗に合わせた地下鉄中央線の延伸（北港テクノポート線）計画があることや大阪市内主要駅等からのシャトルバスにより万博会場への来場者の輸送が可能であること。

エ）夢洲地区は、大阪市内から西へ10kmと比較的近距離にあり、大阪市内に隣接する関西圏諸都市の高次都市機能などを有効に活用できる立地条件にあるため、宿泊施設、サービス施設などの大都市機能が活用できること。

〔会場に関するBIEの審査視点〕

- 国内及び国際的な輸送交通手段と、来場者が無理なく来られる物理的な対策が考えられているか。
- 予定される会場、並びに、参加者の出展、テーマ展示及び会議、セミナーその他博覧会関連の行催事のほか、文化及びレクリエーション活動、一般営業参加者用のスペースをどのように計画しているか。また、その開発計画と博覧会終了後の利用計画はどうか。
- 期待される参加者の数と種類、並びに、外国、国内の参加者に割り当てる屋内、屋外スペースの配分方法。

〔1994年6月　第115回BIE総会決議〕

- 会場の立地条件と跡地利用計画については、自然環境の保全にどのような考慮が払われるか。

⑥2025日本万国博覧会基本構想案を国に提出

2016（H28）年10月28日に、第4回全体会議が大阪市内のホテルで開催され、これまでの検討会議での意見等を踏まえて作成した、「2025日本万国博覧会　基本構想（府案）」を国へ提出することについて、異論なく了承されました。委員からは「素晴らしい案ができた」「色々な意見を取り入れて良い案になった」という意見や、「万博は将来も社会実験の場として、長寿社会の新しい生き方や社会の在り方を提案していく場として活用してもらいたい」「これからの9年間、ここが勝負だろう」「産官学連携で取り組んでもらいたい」といった将来に向けた意見が出されました（詳細はＰ31「(3)

2025年万博基本構想検討会議」を参照)。

2016(H28)年11月9日に、地元自治体を代表して松井大阪府知事、吉村大阪市長、今井大阪府議会議長と地元経済界を代表して森関西経済連合会会長、尾崎大阪商工会議所会頭、蔭山関西経済同友会代表幹事、鈴木同代表幹事が「2025日本万国博覧会基本構想案」(府案を整理したもの)を世耕弘成経済産業大臣に提出し、基本構想案の概要を説明するとともに、誘致委員会準備会設立趣意書を手交し、政府として国際博覧会(万博)の誘致に乗り出すよう要請しました。また、菅義偉官房長官や塩崎恭久厚生労働大臣にも協力を求めました。

要請を受けた世耕大臣は「大阪府の基本構想の内容をよく伺って、しっかりと検討を進めていく必要があると思っている。さっそく総理をはじめ関係閣僚に報告をし、政府として必要なアクションをしっかりと取っていきたい。」と述べました。菅官房長官からは「日本の万博が成功するようやっていく。一緒に頑張っていこう」、また、塩崎大臣からは「ぜひ大阪が活性化するような博覧会を成功・実現できるように、引き続き、できることをしていきたい」との発言がありました。

基本構想案提出時

(基本構想案の概要)

■テーマ案:「人類の健康・長寿への挑戦」
(英語仮題) Our Health , Our Future
■サブテーマ例:
- 科学と技術の発展、その応用
- 生活と文化の多様性の尊重
- 地球環境の保全と共生

■コンセプト:世界的規模での挑戦、そして変革を誘発する万博をめざす
■開催場所:夢洲　約100haを想定
■開催期間:2025年5月～10月を想定
■入場者想定規模:約3,000万人
■会場建設費:1,200億円～1,300億円程度
■運営費:690億円～740億円程度
■全国への経済波及効果:6.4兆円
- 直接的効果:2.3兆円
- 間接的効果:4.1兆円

第2章　国検討会設置から立候補まで

（1）地元から全国への広がりと推進体制

①大阪府議会、大阪市会、関西広域連合誘致決議

大阪府が中心となって基本構想の作成を進めていた2016（H28）年9月22日、第73回関西広域連合委員会が開催され、松井大阪府知事から国際博覧会（万博）誘致に向けての検討状況について報告がなされました。その後の協議の結果、関西広域連合として、国際博覧会開催の意義に賛同する旨の決議が全会一致で採択され、国際博覧会の誘致を関西全体で取り組んでいくこととなりました。

2025年日本における国際博覧会（大阪開催）の誘致について

21世紀以降の国際博覧会は、地球的規模の課題に対し、世界からの知恵を一同に集め、様々な創造活動を共に体験し、刺激を受け、考え、発見することで、課題解決方策を提言する場であり、その重要性はますます高まっている。

今後、超高齢社会の到来は世界的規模での課題となる可能性がある。

関西は、ライフサイエンス分野において世界をリードする大学、企業、研究機関が集積しており、高齢化社会がもたらす課題解決に向けた人類の健康・医療の発展に大きく貢献する発見と成果が生み出されてきた。

そこで、世界の主要な都市圏の中で、最も早く人口減少・超高齢社会に直面する大阪・関西において、2025年（平成37年）に、「人類の健康・長寿への挑戦」をテーマとした国際博覧会を開催することは、大きな意義があり、現在、夢洲を中心とした大阪湾ベイエリア地区を会場候補地として、検討を進めているところである。

国際博覧会を「関西」で開催することは、広域連合が提唱する国土の双眼構造の構築及び目指すべき関西の将来像「アジアのハブ機能を担う新首都・関西」「個性や強みを活かし地域全体が発展する関西」の実現にも大きく寄与するものである。また、日本の歴史・文化の原点である関西の素晴らしさを世界の人々に理解してもらう絶好の機会となり、関西全域に新たな観光や産業のイノベーションが期待できるなど、大きな経済効果をもたらすとともに、関西の知名度向上にも大きく貢献するものと考えられる。

関西広域連合としては、国際博覧会開催の意義に賛同するものであり、国際博覧会の誘致・実現に向け、大阪府市や関西経済界とともに、国や関係機関等に対する働きかけを積極的に行っていくこととする。

平成28年9月22日

関西広域連合

連合長	兵庫県知事	井戸　敏三
副連合長	和歌山県知事	仁坂　吉伸
委員	滋賀県知事	三日月大造
委員	京都府知事	山田　啓二
委員	大阪府知事	松井　一郎
委員	奈良県知事	荒井　正吾
委員	鳥取県知事	平井　伸治
委員	徳島県知事	飯泉　嘉門
委員	京都市長	門川　大作
委員	大阪市長	吉村　洋文
委員	堺市長	竹山　修身
委員	神戸市長	久元　喜造

また、同年11月4日には大阪府議会において、11月15日には大阪市会において、それぞれ2025年国際博覧会誘致を推進する旨の決議が賛成多数で可決され、これを機に誘致の機運が府内市町村や他の自治体・団体へ広がっていきました。

「2025日本万国博覧会」の大阪誘致に対する決議

大阪・関西は、ライフサイエンス分野において、世界をリードする大学、企業、研究機関が集積しているとともに、ヘルスケア、スポーツ、食、笑い、エンターテイメント、さらには世界に通用するものづくり技術に至るまで、様々な産業が集積しており、人類の健康に大きく貢献する技術と成果を生み出してきた。

これらの強みを有する大阪において、「健康・長寿」をテーマとする国際博覧会を開催す

ることは、世界中のあらゆる年齢のすべての人々が、健康に係る様々な課題を克服し、より良い生活を送るための方策を大阪から世界に向けて発信できるまたとない機会である。

また、新たな観光や産業のイノベーションが期待できるなど、大きな経済効果をもたらすとともに、全世界に向けて大阪、関西の存在感を示す絶好の機会にもなり、府民の健康増進や府域全体の地域振興にも寄与するなど、都市の活性化、府民生活の向上も期待できる。

国際博覧会は、人類が抱える地球的規模の課題に対し、世界からの知恵を一同に集めることで、解決方策を提言する場であり、新しい時代を生きる知恵を広く発信することにより、世界と日本の平和的発展に大きく寄与することが期待されており、古くから、人々の叡智により新たな技術を生み出し、文化・産業の両面から国内外をリードしてきた大阪から、世界中の人々の健康に係る様々な課題を克服し、人類の未来に向けてより良い生活を送ることができる新しいモデルを提案し、広く世界に発信することは、大変意義があることである。

2025(平成37)年が「元気な都市の世界モデル」のスタートとなるべく、現在、大阪府において、「いのち」や「より良く生きる」という人類の根源的な問題を考え、次世代につなげていく万博の開催を目指し、「人類の健康・長寿への挑戦」をテーマとした基本構想を取りまとめたところであるが、人類社会の発展に貢献する「新たな国際博覧会」のあり方を示すためにも適正な開催経費の下に実施することが大切である。

あわせて、国際博覧会の理念とその成果が次世代への明るいメッセージとなり、大阪・関西ひいては日本のさらなる発展につなげていくためには、言うまでもなく、国、経済界、地元自治体の役割を明確にし、効率的に準備を進めていくことも重要である。

ここに、大阪府議会は、2025(平成37)年の国際博覧会の大阪誘致の実現に向け、全力で取り組むとともに、政府に対し、博覧会国際事務局(BIE)の開催申請に向けた必要な調査を早急に実施し、閣議了解を行うよう強く求めるものである。

以上、決議する。

平成28年11月4日

大阪府議会

2025日本万国博覧会の大阪誘致に対する決議

大阪・関西はライフサイエンス分野において世界をリードする大学、企業、研究機関が集積しているとともに、ヘルスケア、スポーツ、食、笑い、エンターテイメント、AIやロボットなどさまざまな産業分野が高いレベルでバランスよく集積しており、人類の健康に大きく貢献する技術と成果を生み出してきた。

これらの強みを有する大阪において、「健康・長寿」をテーマとする国際博覧会を開催することは、世界中のあらゆる年齢のすべての人々が、健康にかかる様々な課題を克服し、より良い生活を送るための方策を大阪から発信できるまたとない機会である。

また、大阪での万博開催は、関西全域における新たな観光や産業のイノベーションが期待できるなど、大きな経済効果をもたらすとともに、大阪の魅力を全世界に発信できる絶好の機会であり、大阪市民の健康増進や市域の地域振興にも寄与するなど都市力の向上と市民生活の向上も期待できる。

国際博覧会は、人類が抱える地球的規模の課題に対し、世界からの知恵を一同に集めることで解決方法を提言する場であり、新しい時代を生きる知恵を広く発信することにより、世界と日本の平和的発展に大きく寄与することが期待されている。古くから、人々の叡智により新たな技術を生み出し、文化・産業の両面から国内外をリードしてきた大阪から、世界中の人々の健康にかかる様々な課題を克服し、人類の未来に向けてより良い生活を送ることができる新しいモデルを提案し、広く世界に発信することは、大変意義がある。

会場候補地である夢洲においては、現在、大阪市が中心となって、世界第一級のMICE施設やエンターテイメント施設の集積など新たな国際観光拠点の形成をめざしている。

万博開催を機に、万博の理念を活かしたまちづくりを進めることで、夢洲はもとより、

大阪において、スポーツ、食、エンターテイメント、IoT、ロボット、医療などの様々な産業間におけるイノベーションを実現することにより、テーマとなる「健康・長寿」につながる健康関連産業を含めた次世代成長産業の発展が期待できる。

こうした国際博覧会の成果と理念を、大阪・関西の発展につなげていくためには、国の主導のもと、大阪府・大阪市、経済界が一丸となって取り組むことが重要である。また、適正な開催経費の下に効率的に実施していくと同時に、特に鉄道整備費、道路改良費、メガソーラーの撤去が必要になった場合の費用などの負担調整や、万博開催後の跡地利用を含めた埋立会計に対しては、国からの格段の支援が不可欠である。

よって本市会は、乗り越えなければならない様々な課題があることを認識しつつ、2025年(平成37年)の国際博覧会の大阪誘致の実現に向けて全力で取り組むとともに、大阪府と共に政府に対し、博覧会国際事務局(BIE)の開催申請に向けた必要な調査を早急に実施し、閣議了解を行うよう求めるものである。

以上、決議する。

平成28年11月15日

大阪市会

②2025日本万国博覧会誘致委員会準備会の発足

1970年に大阪府吹田市で開催されて以来、55年ぶりとなる大規模な国際博覧会を大阪市の夢洲で開催すべく、大阪府、大阪市、関西広域連合、地元の経済界代表者を構成員とする、「2025日本万国博覧会誘致委員会準備会」の発足式が2016(H28)年11月9日、東京都千代田区永田町の都道府県会館で開かれ、会長に松井知事が就任しました。

同準備会は、地元の官民が一体となって全国組織である誘致委員会の設立への礎を築くとともに、誘致実現に向けて政府等への働きかけを推進していくものでありました。

発足式後は、設立発起人(松井大阪府知事、吉村大阪市長、森関西経済連合会会長、尾崎大阪商工会議所会頭、蔭山関西経済同友会代表幹事、鈴木同代表幹事)と今井大阪府議会議長が関係省庁を訪問し、誘致委員会準備会設立趣意書と併せて、大阪府が作成した「2025日本万国博会基本構想案」を各大臣に手交しました(詳細はP6（3）⑥「2025日本万国博覧会基本構想案を国に提出」を参照)。

誘致委員会準備会発足式

2025日本万国博覧会誘致委員会準備会
設立趣意書

21世紀以降の国際博覧会は、地球的規模の課題に対し、世界からの知恵を一堂に集め、様々な創造活動を共に体験し、刺激を受け、考え、発見することで、課題解決方策を提言する場であり、その重要性はますます高まっている。

我が国は、国民の強い健康志向と世界に誇るべき優れた公衆衛生対策、高度な医療技術等に支えられ、世界最高水準の平均寿命を達成し、人類誰もが願う長寿社会を現実のものとしている。一方で、21世紀が四半世紀を過ぎた2025年には、いわゆる団塊の世代がすべて75歳以上となるなど、世界で最も早く超高

齢社会に突入することとなる。
　これは、人類史上で初めての経験であり、超高齢社会における課題の解決策を世界に示すことができる唯一の国家であることを示している。
　大阪・関西はライフサイエンス分野において世界をリードする大学、企業、研究機関が集積しているとともに、ヘルスケア、スポーツ、食、エンターテイメント、AIやロボットなど、サービスからものづくりに至るまで、さまざまな産業がバランスよく集積しており、人類の健康に大きく貢献する技術と成果が生み出されてきた。
　また、過去には、1970年の日本万国博覧会、1990年の国際花と緑の博覧会と過去2回、国際博覧会を開催し、いずれも大きな成果を収めている。
　そこで、これらの強みを有する大阪・関西において、世界中のあらゆる年齢のすべての人々が、健康にかかる様々な課題を克服し、よりよい生活を送ることができるよう、そして、その先にある「人生90年時代」における新しい生き方や社会・都市のあり方、その広がる可能性について、世界から知を集め、それらを新しいモデルとして広く世界に発信することで、未来社会に向けた行動を呼びかける場として、国際博覧会を開催したい旨の希望を表明した。
　また、国際博覧会の誘致は大阪・関西全域に新たな観光や産業のイノベーションが期待できることから、2025年に大阪・ベイエリア地区での開催を実現すべく、国の内外に向けて積極的に訴えていくための組織として、行政、経済界、各種団体等々広く各界の衆知を集め、「2025日本万国博覧会誘致委員会」の設立をめざすこととし、それに向けた準備会を発足させることとした。

　平成28年11月9日

設立発起人

大阪府知事	松井　一郎
大阪市長	吉村　洋文
関西広域連合長	井戸　敏三
関西経済連合会会長	森　　詳介
大阪商工会議所会頭	尾崎　裕
関西経済同友会代表幹事	蔭山　秀一
同	鈴木　博之

③大阪府議会　2025大阪万国博覧会誘致推進議員連盟の設立

　大阪府議会では、議員の会派の枠組みを超えて、府議会全体で2025年国際博覧会（万博）の誘致実現に向けた取組みを推進しようという機運が高まり、2017（H29）年11月8日「2025大阪万国博覧会誘致推進議員連盟」が設立されました。
　議員連盟の枠組みを軸に、国内機運の醸成及び大阪における国際博覧会の開催、大阪・関西の魅力発信などの誘致活動が行われました（詳細はP91「(2)①vii)大阪府議会　2025大阪万国博覧会誘致推進議員連盟」参照）。

【主な活動】

- 万博誘致セミナー及び大阪・関西決起集会の開催
- BIE調査団等の来阪時におけるPR活動
- 万博誘致応援への署名活動
- 在阪総領事等への協力要請活動

【参考】大阪府議会　2025大阪万国博覧会誘致推進議員連盟

設 立 日：2017（H29）年11月8日
会　　長：大橋　一功（維新）
副 会 長：奴井　和幸（自民）
幹 事 長：三宅　史明（公明）
事務局長：杉江　友介（維新）
幹　　事：中司　宏（維新）、釜中　優次（自民）
　　大橋　章夫（公明）
会計監事：徳永　愼市（自民）
会計監査：加治木　一彦（公明）
会 員 数：84名
　（維新40名、自民26名、公明15名、
　民主1名、改保1名、創保1名）
※2018（H30）年11月時点

④大阪市会　2025大阪万国博覧会誘致推進議員連盟の設立

　大阪市会では、万博誘致の国内機運を醸成するとともに、大阪・関西の魅力を国内外に広く発

信することによって2025年国際博覧会の大阪誘致実現に寄与するため、2018（H30）年2月9日、超党派で2025大阪万国博覧会誘致推進議員連盟が設立されました（詳細はP93「(2)②ⅳ）大阪市会2025大阪万国博覧会誘致推進議員連盟」参照）。

【主な活動】

- 万博誘致の機運醸成のための市民等へのPR
- プロスポーツチームと連携した万博誘致ポスターの作製及び地下鉄等への掲示による啓発活動
- 誘致決定100日前イベントによる万博PR

【参考】大阪市会　2025大阪万国博覧会誘致推進議員連盟

設　立　日：2018（H30）年2月9日
会　　長：多賀谷　俊史（自民）
副 会 長：改発　康秀（維新）、八尾　進（公明）
幹 事 長：角谷　庄一（維新）
幹　　事：永井　啓介（自民）、山田　正和（公明）
会　　計：西　徳人（公明）
会計監事：大橋　一隆（維新）、川嶋　広稔（自民）
会 員 数：77名
（維新36名、自民20名、公明19名、いくの1名、あべの1名）
※2018（H30）年2月9日設立時

⑤2025年大阪万国博覧会を実現する国会議員連盟の設立

2016（H28）年12月2日、2025年に大阪での国際博覧会（万博）開催を実現するため、国会議員28人が呼びかけ人となり、超党派の「2025年大阪万国博覧会を実現する国会議員連盟」の設立総会が東京都内で開催され、会長に二階俊博衆議院議員、事務局長に竹本直一衆議院議員が就任されました。

国会議員205人で構成され、海外外遊時の支持要請活動や駐日大使館への働きかけ、また、新橋駅前での街宣活動などの誘致活動が行われました。

特に、2018（H30）年3月6日にBIE調査団を迎えて開催した総会では、超党派で国際博覧会誘致を支援していることを訴え、チェ・ジェチョル調査団長から「国を挙げて国際博覧会の誘致に力強く取り組んでいることを実感できた」との評価を得ました（詳細はP94「(3)2025年大阪万国博覧会を実現する国会議員連盟の取組み」参照）。

【主な活動】

（2016（H28）年度）
12月 2日　設立総会
12月15日　第1回勉強会
2月22日　第2回勉強会
3月28日　総会
（2017（H29）年度）
4月21日　役員打合せ会
4月27日　総会
7月26日　総会（大阪開催）
12月 5日　BIE事務局次長との意見交換会
1月23日　役員打合せ会
3月 6日　総会（BIE調査団を迎えて）
（2018（H30）年度）
4月24日　役員打合わせ会
6月 7日　街宣活動（新橋駅前SL広場）
7月18日　総会
10月30日　役員打合わせ会
11月26日　総会

【参考】2025年大阪万国博覧会を実現する国会議員連盟

設　立　日：2016（H28）年12月2日
会　　長：二階　俊博（自民）
事務総長：河村　建夫（自民）
幹 事 長：馬場　伸幸（維新）
事務局長：竹本　直一（自民）
事務局長代理：佐藤　茂樹（公明）
副幹事長（総括）：谷　公一（自民）
副幹事長（事務総長補佐）：福井　照（自民）
副幹事長（事務局長補佐）：西村　康稔（自民）
会 員 数：205名
（自民156名、維新22名、公明14名、国民9名、立憲1名、無所属3名）
※2018（H30）年11月時点

⑥自由民主党2025年大阪万博誘致推進本部の設立

2017（H29）年6月21日、「自由民主党2025年大阪万博誘致推進本部」が自由民主党の国会議員により設立されました。

本部長に二階俊博衆議院議員、幹事長に河村建夫衆議院議員、事務局長に竹本直一衆議院議員が就任されました。

党所属国会議員90名で構成され、海外要人、在外公館等への働きかけを行っていただきました。また、全国を11ブロックに分け、各々に担当議員を任命した結果、全国の都道府県および近畿圏内市町村議会の応援決議が飛躍的に拡大し、国内の機運醸成に大きく貢献しました。

【主な活動】

(2017(H29)年度)

6月23日　設立総会
11月29日　本部会合
1月 5日　ブロック担当者打合会
2月21日　本部会合

(2018(H30)年度)

4月19日　本部会合
6月 9日　本部会合(大阪開催)
7月 5日　本部会合
10月31日　本部会合
12月 5日　本部会合

【参考】自由民主党2025年大阪万博誘致推進本部

設 立 日：2017(H29)年6月21日
本 部 長：二階 俊博
幹 事 長：河村 建夫
幹事長代理：中山 泰秀
事務局長：竹本 直一
事務局長代理：左藤 章
事務局長代理：福井 照
構成員数：90名

※2018(H30)年11月時点

⑦2025日本万国博覧会誘致委員会設立

2017(H29)年3月27日、オールジャパンで2025年国際博覧会(万博)の誘致実現をめざす組織として、行政、議会、企業、団体、個人など幅広い会員からなる「2025日本万国博覧会誘致委員会」の設立総会及び発足式典を経団連会館(東京都千代田区)で開催しました。

会長には榊原定征一般社団法人日本経済団体連合会会長が就任し、設立総会では組織体制についての承認や役員等の指名が行われました。

2025日本万国博覧会誘致委員会　役員
(2017(H29)年3月27日 設立時)

会　　長
一般社団法人
日本経済団体連合会会長　榊原　定征
会長代行
大阪府知事　松井　一郎
公益社団法人
関西経済連合会会長　森　詳介
副 会 長
大阪市長　吉村　洋文
関西広域連合長　井戸　敏三
大阪商工会議所会頭　尾崎　裕
一般社団法人
関西経済同友会代表幹事　蔭山　秀一
一般社団法人
関西経済同友会代表幹事　鈴木　博之
京都商工会議所会頭　立石　義雄
神戸商工会議所会頭　家次　恒

榊原会長は、「大阪万博の会場に、日本の科学技術と世界の英知を結集させ、健康・医療、環境、安全、エネルギー等々、世界が直面する課題を克服した『未来社会』を描き、世界にソリューションを発信したい」と語りました。

誘致委員会設立総会

設立当初は115の団体・企業と著名人など27名の会員で構成され、主な活動としてBIEに対する公式立候補や立候補申請文書(ビッド・ドシエ)作成に向けた国のサポートを行うほか、政府とともに海外プロモーション活動や全国的な国際博覧会誘致に向けた機運を盛り上げるためのPR活動などを展開していくことが確認されまし

た。

また、発足式典には、京都大学iPS細胞研究所の山中伸弥教授によるビデオメッセージが寄せられるとともに、誘致アンバサダーに就任した関西出身の漫才師であるダウンタウンが駆け付けるなど、会場全体が大いに盛り上がりました。

誘致委員会発足式典

(2)日本政府検討会（2025年国際博覧会検討会）

2016(H28)年11月に大阪府が「2025日本万国博覧会基本構想案」を提出したのを受け、経済産業省は、大阪府の基本構想について検証するとともに、立候補に向けた国としての検討を行うことを目的に「2025年国際博覧会検討会」を設置しました。

同検討会は、一般社団法人日本経済団体連合会の古賀信行副会長を座長に、29名の委員で構成され、関係各省をオブザーバーとして、同年12月16日から翌年3月13日まで計3回開催されました。

同検討会では、日本が2025年国際博覧会の開催国に立候補する判断を行うにあたって必要な事項について検討を重ね、第3回検討会で報告書をまとめました(報告書は4月7日公表)。

報告書では、テーマを「いのち輝く未来社会のデザイン」、サブテーマを「多様で心身ともに健康な生き方」「持続可能な社会・経済システム」とすることを提案し、「人類が望む未来の生き方や社会とはどのような姿であるかを我々自身にあらためて問いかけ、その未来社会の実現に向けて市民一人一人が問題意識を持って将来に向けた行動を起こすことを促す場をつくることを通じ、人類の持続可能な発展に寄与すべく、我が国が2025年国際博覧会の開催国として速やかに立候補することを期待する」として、政府に対して立候補を促しました(詳細はP34「(5)2025年国際博覧会検討会」を参照)。

第1回国際博覧会検討会

第3回国際博覧会検討会

(3)閣議了解

国の2025年国際博覧会検討会にて、「大阪府において『いのち輝く未来社会のデザイン』というテーマで速やかに立候補することを期待する」旨の報告書がとりまとめられたことを踏まえ、2017(H29)年4月11日の閣議において、次のとおり閣議了解されました。

大阪府における2025年国際博覧会の立候補及び開催申請について

〔平成29年4月11日 閣　議　了　解〕

大阪府における国際博覧会については、2025年(平成37年)に開催することを目指し、国際博覧会に関する条約上の立候補及び開催申請手続を進めることとする。

本国際博覧会は、人類が諸課題に直面する中、多様な価値観を交流させながら、人類の幸福な生き方を問い直すことで、一人一人が自分のポテンシャルを発揮しながら心身とも

に豊かさを感じられる、いのち輝く生き方や、そうした多様な生き方を支え、かつ調和させる持続可能な未来の社会・経済システムを皆でデザインすることを目的とする。

このため、国際博覧会の立候補及び開催申請を行うにあたり、国・関係地方公共団体・民間が協力して、その準備を進めるものとし、現下の厳しい財政事情を踏まえ、以下の方針を確認する。

1. 今後具体的な計画の策定にあたっては、国際博覧会として適正な規模・質としつつ、費用の観点から効率性を追求すること。
2. 会場建設事業については、長期的地域整備との整合性を十分図ることとし、長期的地域整備により行われるべき土地造成、施設整備等は会場建設事業から除外すること。
3. 会場建設費については、建設費総額に占める補助対象事業の割合を3分の2程度とし、残余の部分は民間資金等により対応するものとすること。

   補助対象事業の部分については、国と関係地方公共団体が同率の割合で負担するものとすること。
4. 会場運営費は適正な入場料の設定等により賄うものとし、国庫による負担や助成は行わないこと。
5. 国際博覧会の開催に関連する公共事業については、その必要性等について十分な検討を行い、通常の公共事業費の中での適切な配分により対処することとし、新たに国及び地方公共団体による特別の財政措置は講じないこと。
6. 国の所要経費は将来にわたり既定経費の合理化により賄うものとし、特別の措置は講じないこと。
7. 開催国として選ばれた場合、政府は国際博覧会に関する条約の規定に基づき、国際博覧会の開催国の義務を果たすために必要な措置を講ずるものとすること。

(4)関係省庁連絡会議の設立

政府は、開催国への立候補の検討を進めるにあたり、関係省庁の連携を図る場として、2016年12月に経済産業省を事務局として、「『2025年国際博覧会』誘致検討に係る関係府省庁連絡会議(議長：野上浩太郎　内閣官房副長官)」を、また立候補後に「『2025年国際博覧会』誘致推進に係る関係省庁連絡会議(議長：野上浩太郎　内閣官房副長官)」を設置し、政府として開催国への誘致推進に向けて関係省庁の連携を強化しました。連絡会議は2016年12月から2018年11月までに計8回開催しました。

(5)開催希望通告

①フランス立候補

2016(H28)年11月22日に、フランスは、博覧会国際事務局(BIE)に対し正式に立候補を表明し、翌23日の第160回BIE総会の場においてプレゼンテーションを行いました。提案されたテーマは、「Sharing our Knowledge, Caring for our Planet(共有すべき知見、守るべき地球)」であり、プロジェクトは国の支持を得ていること、10万人を超える市民が国際博覧会立候補を支持している旨が示されました。

このフランスの立候補表明により、半年後の2017(H29)年5月22日までにBIEに対し立候補表明文書を提出することとなりました。

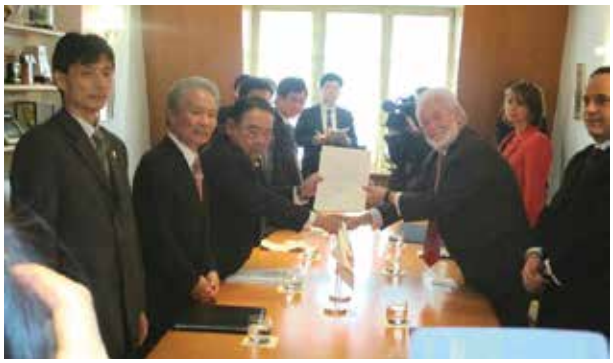
②政府がBIEに対して立候補申請

2017(H29)年4月24日に、誘致委員会の榊原会長と松井会長代行の同席のもと、木寺駐フランス日本国大使からロセルタレスBIE事務局長に対して、立候補表明文書が提出されました。その際、榊原会長からは、日本が目指す未来社会(Society5.0)や日本の先端技術力について、松井会長代行からは、大阪のポテンシャルや開催を目指す国際博覧会の姿などについて発言がありました。

これを受け、ロセルタレス事務局長から、「良いテーマを選ばれた。日本はこのような分野で多くの国々に方向性を示すことができる。オールジャパンでの取組みもまとまりを感じる。」との発言がありました。

また、26日には松井会長代行と、パリ近郊のヌイイ・シュル・セーヌ市長などを務める、フランスの国際博覧会誘致委員会のフロマンタン会長との面談があり、その後共同記者会見が行われました。

記者会見では松井会長代行から、「フロマンタン会長と非常にいい形でエールの交換ができた」、フロマンタン会長から、「日本という偉大なライバルの存在を歓迎する。両国間には非常に素晴らしい友好関係があり、誘致競争においても、この友好関係に準じていく。」といった発言がありました。



BIEロセルタレス事務局長へ立候補表明文書を提出

③ロシア、アゼルバイジャンが立候補

2017(H29)年5月22日に、2025年の国際博覧会開催に関するBIEへの立候補が締め切られました。ロシア、アゼルバイジャンが締め切り直前に立候補を表明したことにより、日本のほか、フランス、ロシア、アゼルバイジャンの4ヵ国が立候補国となりました(なお、フランスは2018(H30)年2月に立候補を取り下げました)。

(各立候補国について)

国　名	都市名	開催期間	テーマ
日　本	大阪 (夢洲)	5月3日～ 11月3日	いのち輝く未来社会のデザイン (Designing Future Society for Our Lives)
フランス	サクレー (パリ郊外)	5月1日～ 10月31日	共有すべき知見、守るべき地球 (Sharing our Knowledge, Caring for our Planet)
ロシア	エカテリンブルグ	5月2日～ 11月2日	世界の変革： 将来世代のためのイノベーションとよりよい生活 (Changing the World: Innovations and Better Life for Future Generations)
アゼルバイジャン	バクー	5月10日～ 11月10日	人的資本の発展、よりよい未来の構築 (Developing human capital, building a better future)

第3章　誘致活動の展開から開催国決定まで

①第161回BIE総会

2017(H29)年6月14日に、パリ市内のOECDカンファレンスセンターで開催されたBIE総会において、2025年国際博覧会立候補国による初めてのプレゼンテーションが行われました。

(日本のプレゼンテーション内容)

- オープニング映像では、安倍総理のビデオメッセージを通じて、大阪・関西がチャレンジ精神に満ち、世界的な技術が数多く生まれている地域であることを紹介するとともに、日本政府は大阪・関西の立候補を全面的に支援していることをアピール。
- 続いて榊原会長から、「日本は、"Society5.0"という超スマート社会をめざす国家プロジェクトに官民共同で取り組んでおり、国連の掲げる持続可能な開発目標(SDGs)が達成された社会であること、またSDGs達成のフロントランナーとなり、"Society5.0"が実現された大阪・関西万博では世界の課題を解決する姿を世界と共有したい」と説明。
- 大阪・関西の紹介映像に続いて、松井会長代行から大阪・関西の革新的なアイデアを提案する進取の気性や、観光・文化など、多彩な魅力を紹介し、地元自治体として快適な交通インフラ、世界トップレベルの治安とおもてなしの心で来場者をお迎えすることを説明。

プレゼンテーションを行う榊原会長、松井会長代行

②アスタナ国際博覧会

CIS（独立国家共同体）諸国で初めて、カザフスタン共和国の首都アスタナで開催された2017年アスタナ国際博覧会(認定博)には、世界中から約400万人の方が訪れました。

約115ヵ国のBIE加盟国と22の国際機関が参加し、多くの政府要人やBIE政府代表等が集まるこの博覧会を絶好の機会と捉え、経済産業省、外務省及び誘致委員会では、同博覧会での種々の行催事を活かし、オールジャパン体制で重層的な誘致プロモーション活動を行いました。

会期を通じた活動としては、2025年の国際博覧会開催への地元の熱意を示すべく、日本館内に誘致PRパネルを設置し、大阪・関西の魅力紹介の映像を放映しました。

また、開幕式や閉幕式に加え、日本や各国のナショナルデーなどの機会を捉えて計7回に及ぶ官民合同のミッション団を派遣し、同博覧会に来場するBIE加盟各国政府要人等に対し、支持要請を行いました。

アスタナ博覧会会場(カザフスタン館)

(アスタナ博覧会の概要について)

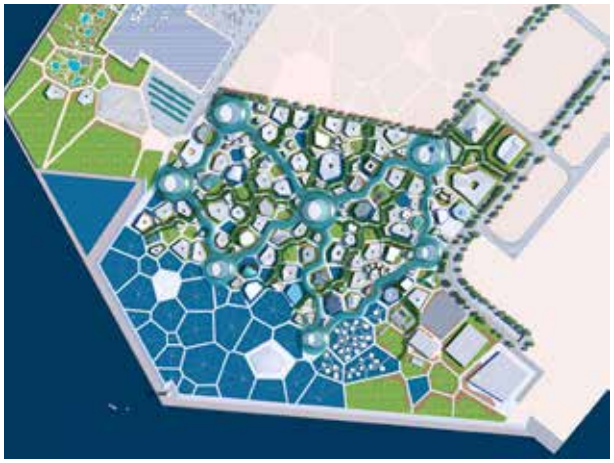
名　称	2017年アスタナ国際博覧会
期　間	2017(H29)年 6月10日～9月10日
開催地	カザフスタン共和国アスタナ市
テーマ	「未来のエネルギー」 (Future Energy)
参加国等	約115か国、22国際機関
入場者数	約400万人
その他	日本館入場者数は約73万人

※経済産業省、ジェトロのHP等記載に基づく

③立候補申請文書(ビッド・ドシエ)提出

国における2025年国際博覧会検討会の検討結果等を踏まえて、経済産業省において、テーマ展開や会場構想、資金計画などを記載した立候補申請文書(ビッド・ドシエ)がとりまとめられました。主な内容は次のとおりです。

- 夢洲の約155haの会場
- 世界中の80億の人々が参加できる国際博覧会
- 未来社会の実験場「People's Living Lab」のコンセプトに基づき、世界中の課題やソリューションを共有できるオンラインプラットフォームを開催前から開設
- あえて中心をつくらず、多様性の中から生まれる調和と共創によって形成される未来社会の姿を表現した「非中心」「離散型」の会場デザイン
- 会場内の5か所に大広場「空」(くう)を設け、AR(拡張現実)やMR(複合現実)技術を活用した展示やイベントにより来場者の交流を図る



(会場イメージ図)　※出典　経済産業省

ビッド・ドシエのBIEへの提出に先立ち、2017(H29)年9月22日に大阪において第5回「『2025年国際博覧会』大阪・関西誘致推進に係る関係省庁連絡会議」が開催され、ビッド・ドシエの内容、及び国内機運醸成に係る取組みについて、関係省庁、地元自治体及び関西の経済界で意見交換・情報共有がなされました。その後、2017(H29)年9月25日に木寺昌人駐フランス大使が、ビッド・ドシエをディミトリ・ケルケンツェスBIE事務局次長に提出しました。

④第162回BIE総会

2017(H29)年11月15日に、パリ市内のOECDカンファレンスセンターで開催されたBIE総会において、6月に続き、2度目のプレゼンテーションが行われました。

(日本のプレゼンテーション内容)

- 水浄化ビジネスに取り組む日本ポリグル社の藤田千恵子氏とルワンダ出身のABEイニシア

ティブ(2013(H25)年6月の第5回アフリカ開発会議(TICAD)において、安倍総理による冒頭スピーチで表明された「アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ」)で学んだジョアキム・ルタイシレ氏の2名よりスピーチ。藤田氏からは、発展途上国における水浄化事業の実体験からSDGs達成への貢献をめざす大阪・関西万博の意義と共創の姿勢を、ルタイシレ氏からは、実際に関西で先端技術を学びSDGsに取り組む外国人の視点から、日本との共創や大阪・関西の魅力について説明。

- 続いて、吉村副会長から、地元自治体として、大阪・関西の官民が開催に向けて準備を整えていること、夢洲が開催地としてふさわしい場所であることを説明し、具体的な会場イメージを紹介。
- また、安倍総理のビデオメッセージを通じて、日本がこれまで諸外国と連携してSDGsの達成に取り組んできたこと、大阪・関西万博は未来社会を各国と共創する場となること、安全な会場や参加国支援策を整え、責任を持って会場やインフラ整備を進めることをアピール。
- 最後に岡本外務大臣政務官、松井・松本両会長代行が登壇、会場に手を振り、クロージング。

日本のプレゼンテーション

⑤競合国の計画(プレゼンテーション)

2017(H29)年11月のBIE総会における、フランス、ロシア及びアゼルバイジャンのプレゼンテーションの概要は次のとおり。

○フランス

世界の国々からの「ユースアンバサダー」というグループと、数学者でフランス国会議員であるセドリック・ヴィラニ氏によるプレゼンテーションが行われました。

ユースアンバサダーは、自分達がフランスでの開催を支持する理由を述べました。

会場の映像が放映され、国際博覧会においては、ホスピタリティが最も重要な価値であるとのメッセージが示されました。

また、ヴィラニ氏は、自国の構想においては、未来の基礎となる知識と、壊れやすい地球環境の保全という2つの視点を反映したこと、これらの2つの視点は、地球環境の保全のため相互に助け合う旨を訴えました。

○ロシア

誘致委員会トップのスベトラナ・サガイダク氏のほか、マントロフ同国産業貿易大臣、ジャーナリスト、ロシア国立バレエスクール創設者によりプレゼンテーションが行われました。

開催予定地であるエカテリンブルクが、ロシアの文化、教育の中心地の一つであり、「現代的でダイナミックな街」であることを示し、国際博覧会といったイベントを開催できることを訴えました。

また、会場は「未来社会のプロトタイプ」であり、「人類の幸福の唯一の到達点」を提供する技術のショーケースとなることや、イノベーションの基礎としての技術の重要性について、技術が生活の簡素化に資するものであることも訴えました。

○アゼルバイジャン

誘致委員会トップで、同国財務大臣のサミール・シャリフォフ氏等によりプレゼンテーションが行われました。

バクー近郊の会場の映像が放映され、その八角形のエリアは、十分な交通インフラを備えた上で、バクー市街の要地に変貌すると述べました。

テーマである「人的資本の発展、よりよい未来の構築」について、経済、コミュニティ、創造性を育てる人々に重点を置いているが、このことは、技術を超えたその先を構想するために必要であること、能力、活力、達成という3つのサブ

テーマを通じて、SDGs達成を目標としている旨を訴えました。

⑥ケルケンツェスBIE事務局次長来日

博覧会国際事務局(BIE)調査団による調査に備えてアドバイスを得ることを目的に、BIE調査団来日に先立つ2017（H29)年12月4日～7日にケルケンツェスBIE事務局次長を招聘しました。

主な行事として、安倍総理大臣への表敬、2025年大阪万国博覧会を実現する国会議員連盟との意見交換、榊原誘致委員会会長への表敬、世耕経済産業大臣への表敬、松井大阪府知事・吉村大阪市長への表敬等を行うとともに、開催計画に係るプレゼンテーション、会場予定地である夢洲の現地視察を行いました。

ケルケンツェス次長からは、表敬・意見交換、プレゼンテーション及び現地視察を踏まえ、BIE調査団を受け入れるにあたっての実質的なアドバイスをいただきました。

夢洲を視察するケルケンツェス次長

⑦フィリップソン元BIE議長(名誉シニアアドバイザー)、セルバン氏(アドバイザー)来日

また、翌週の2017(H29)年12月11日～15日には2025年大阪・関西万博の名誉シニアアドバイザーに就任いただいたオーレ・フィリップソン元BIE議長及び2025年大阪・関西万博アドバイザーのクラウド・セルバン氏を招聘し、BIE調査団来日に向けたアドバイスをいただきました。

フィリップソン元BIE議長からは、BIE調査団訪日時の出迎え対応のあり方や、民間企業と連携した加盟国への働きかけの重要性についてアドバイスがありました。

⑧フランス立候補を取り下げ

2018(H30)年2月、フランス政府は、2025年国際博覧会への立候補を取り下げる旨、BIEへ通知しました。

同国政府は、このプロジェクトで示された経済モデルでは、納税者の財政上のリスクを排除できる必要な保証がないことから、立候補を取り下げる旨をBIEに説明しました。

BIEが、同国政府の決定を受け入れたため、2025年国際博覧会の立候補国は日本、ロシア、アゼルバイジャンの3ヵ国となりました。

⑨BIE調査団来日

2018(H30)年3月、2025年国際博覧会の準備状況、地元の受け入れ体制および会場計画等を調査するために、BIE調査団が来日しました。

[調査団メンバー]

団　長：チェ・ジェチョル
　　BIE執行委員長(駐デンマーク韓国大使)
団　員：
　アルビーナ・ファリア・デ・アスィス・ペレイラ・アフリカーノ　BIEアンゴラ政府代表
　カトリン・タイル　BIEオーストリア政府代表
　アルナルド・ミヌーティBIEイタリア政府代表
BIE事務局員：
　ディミトリ・ケルケンツェス　事務局次長
　アンカ・アンゲル　事務局員
　ワンジャ・カルリーログエズ　事務局員
　サラ・カロシエッロ　事務局員

[調査期間]

2018(H30)年3月6日～3月8日(日本到着は3月5日、出国は9日)

(参　考)

BIEは、次の日程でロシア(エカテリンブルグ)とアゼルバイジャン(バクー)に対する調査を実施しました。

- ロシア(エカテリンブルグ) 4月3日～5日
- アゼルバイジャン(バクー) 4月17日～19日

BIE調査団とは、まず東京において実務協議を行い、2025年大阪・関西万博についてのテーマ、コンセプト、準備状況等に関するプレゼン

テーションを行ったのち、関西(京都～大阪)に案内しました。

なお、全日程を通じて世耕経済産業大臣が調査団をアテンドしました。(3月6日総理表敬から8日昼食会まで)

京都では、裏千家今日庵にて茶の湯を通じて日本文化への理解を深めていただくとともに、大阪・関西で万博を開催する意義について説明を行ったのち、大阪に移動し、会場計画等に関する説明を行いました。大阪府庁(咲洲庁舎)や大阪市役所では、非常に多くの議員や職員がお出迎えし、道頓堀などでは多くの市民が大歓迎するなど、「おもてなし」の意を示しました。

調査団の来日時には、大阪はもちろん、東京や京都でも多くの企業や団体の協力により、誘致ロゴマークによるシティドレッシングや歓迎行事等が幅広く行われました。

【日程概要】

3月5日

非公式昼食会(経団連会館)
非公式夕食会(帝国ホテル)

3月6日

プレゼンテーション(経済産業省)
昼食会(飯倉公館)
プレゼンテーション(経済産業省)
万博議連との会合(議員会館)
総理表敬(総理官邸)
夕食会(迎賓館)

3月7日

昼食会(京都迎賓館)
茶の湯体験(今日庵)
お出迎えウェルカムスピーチ(大阪市役所)
大阪府知事・大阪市長表敬(大阪市役所)
カウントダウンショーケース視察(大阪市役所)
夕食会(ラブセントラル)

3月8日

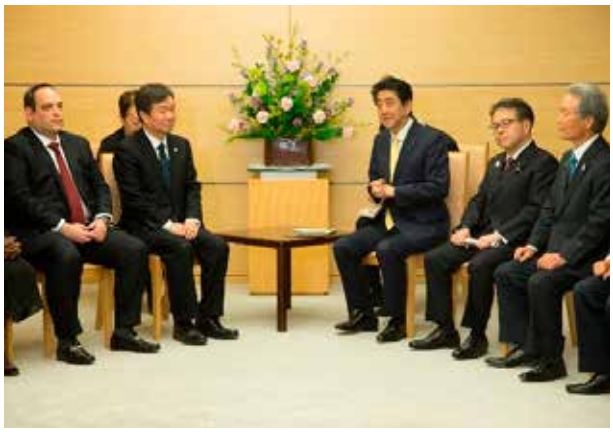
プレゼンテーション(コンラッド大阪)
会場用地視察(大阪府咲洲庁舎展望台)
会場用地視察(夢洲)
昼食会(USJ内レストラン)
プレゼンテーション(コンラッド大阪)
記者会見(コンラッド大阪)
大阪市内中心部視察(道頓堀)
夕食会(太閤園淀川邸)

【東京滞在中の主要行事】

3月6日

○2025年大阪国際博覧会を実現する国会議員連盟との会合
- 超党派で誘致活動を行っていることを示し、万博が国家プロジェクトであることをアピール。

○安倍総理大臣表敬
- 安倍総理大臣が来訪を歓迎するとともに、博覧会国際条約の締約国として、あらゆる面で国際博覧会の開催を保証すると発言。


安倍総理大臣表敬

【大阪・関西滞在中の主要行事】

3月7日

○茶の湯体験(今日庵)
- 裏千家今日庵で、千玄室大宗匠等が歓迎。茶の湯を体験。
  茶の湯を通じて日本文化への理解を深めるとともに、関西の地で国際博覧会を開催する意義を確認。

○お出迎えウェルカムスピーチ
- 大阪市役所到着時、大阪市立咲くやこの花中学校英語部の生徒が英語で歓迎の意を発言。

○大阪府知事・大阪市長表敬
- 知事・市長が歓迎。市民等から集まった署名(署名の現物を会場内に展示)など、地元での誘致機運の盛り上がり等を紹介。

○カウントダウンショーケース視察(大阪市役所)
- 知事・市長表敬後、日本の先端科学技術の一部を見学・体感。
- その後、多くの市民が出迎える中、船に乗り、中之島～大阪城周辺を観覧。

京都迎賓館

知事・市長表敬

3月8日

○会場用地視察（大阪府咲洲庁舎展望台・夢洲）

- 大阪府咲洲庁舎の展望台から、夢洲会場及び大阪～神戸を展望した後、夢洲会場に降り立ち、会場計画の概要を説明。

○調査団による記者会見（コンラッド大阪）

- 記者会見の席上、チェ・ジェチョル団長は、「調査の結果、“positive”と評価しています。東京、京都、大阪の3日間を通じて、2025年大阪・関西万博に対する国の深い関わりや地元自治体であるここ大阪の確かなサポート、大阪そして日本中の人々の熱意を確認できたことをとても嬉しく思います。また、大阪・関西万博は日本のみならず、世界にとって重要なテーマを選択されました。」と述べられた。

○大阪市内中心部視察（道頓堀）

- 大阪桐蔭高等学校吹奏楽部の演奏と多くの市民の出迎える中、大阪随一の繁華街である道頓堀川を船で遊覧（湊町から日本橋までの約1.5キロ）。
- 万博誘致をPRする大型看板や懸垂幕を掲出。
- あいにくの悪天候にもかかわらず、市民による熱気あふれるステージパフォーマンスや3000人にも上る方々が誘致ロゴマークの入った小旗を振って歓迎するなど、BIE調査団に対して万博への非常に強い期待感を示した。

記者会見に臨むチェ調査団長（右）、ケルケンツェス次長（左）

大阪桐蔭高等学校吹奏楽部の演奏による歓迎

道頓堀における市民の歓迎

⑩第163回BIE総会

ｉ）総会

2018（H30）年6月12日～13日に、パリ市内のOECDカンファレンスセンターで、BIE総会が開催されました。

この総会では、本年3月～4月に立候補国3ヵ国で実施されたBIEの調査結果について、執行委員会から、日本、ロシア、アゼルバイジャンの3ヵ国とも、それぞれの計画がBIE規則に従って

実行可能であるとの報告がなされ、総会で承認されました。

また、13日には、3度目のプレゼンテーションが行われました。

（日本のプレゼンテーション内容）

- 豊富な国際博覧会開催経験に裏打ちされた日本だからこそ開催できる、「Human Lives」（いのち）に焦点を当てた新しい国際博覧会であることをアピール。
- 「2025国際博覧会誘致キャラクター特使」であるポケモンによる博覧会会場の案内映像を織り交ぜながら、途上国支援プログラムをはじめ、参加国へのきめ細かなサポート、SDGsの達成に向け、経済界を挙げて既に共創の取組みを進めていることなど日本の計画する国際博覧会の魅力を説明。
- プレゼンターとして、誘致委員会の榊原会長、世耕経済産業大臣、京都大学iPS研究所の山中伸弥所長、サントリーホールディングス（株）の福本ともみ執行役員、京都大学医学部学生の川竹絢子さん、エンディングでのバイオリン演奏で大阪芸術大学の川井郁子教授が登壇。

プレゼンテーションのエンディング

ⅱ）レセプション

2025年の国際博覧会の各立候補国は、一度だけ誘致活動としてのレセプションを開催できることから、同年6月12日夜に駐フランス日本国大使公邸において、BIE加盟各国の政府代表等を招き、レセプションを開催し、SDGs達成につながる日本企業の技術の展示や、日本の文化等の紹介を行い、大阪・関西万博の魅力をアピールしました。

なお、ロシアは翌13日に開催、アゼルバイジャンは2017（H29）年11月のBIE総会時に開催しました。

⑪2025年大阪・関西万博PRボードの設置

開催国決定の約2か月前となる2018（H30）年9月24日には、誘致委員会のオフィシャルパートナーである西日本旅客鉄道（株）にご協力いただき、JR大阪駅構内に誘致機運を盛り上げる誘致PRボードを設置しました。

このPRボードは縦2.1m×横1.8mの大きさで、2025年の国際博覧会の開催国が11月23日に決定することをお知らせするとともに、モニターには、2025年大阪・関西万博の会場イメージ映像や、誘致実現に向けて多くの人々が盛り上がっている様子などの映像を繰り返し放映し、誘致機運を盛り上げました。

PRボードは、JR大阪駅3階の改札口付近に設置し、JR大阪駅を利用する方や、周辺の商業施設へ向かう方など、たくさんの人が行きかう場所であったことから、多くの方々にPRすることができました。

また、11月23日の開催国決定後も、「大阪・関西での開催が決定!応援ありがとうございました!」とタイトルを替え、開催決定を祝うPRボードとして、約1ヵ月間設置しました。

JR大阪駅PRボード

⑫第164回BIE総会

ⅰ）2025年国際博覧会の日本開催決定

2018（H30）年11月23日に、パリ市内のOECDカンファレンスセンターでBIE総会が開催され、2025年の国際博覧会立候補国による最後のプレゼンテーションが行われました。

（日本のプレゼンテーション内容）

- 安倍総理のビデオメッセージや、世耕経済産業大臣等によるスピーチを通じて、日本

の3つの約束として、(1) SDGs達成に貢献する国際博覧会にすること、(2)参加国と「共に創る(Co-creation)」博覧会にすること、(3)安心安全で快適な博覧会にすることを強調するとともに、大阪・関西は世界を歓迎する準備ができていることをアピール。

- プレゼンターとして、世耕経済産業大臣のほか、パナソニック(株)　小川理子執行役員、独立行政法人日本貿易振興機構　中村富安参与、(株)アクティブゲーミングメディア　イバイ・アメストイ社長が登壇し、大阪・関西での開催の優位性を訴えた。

日本プレゼンテーションのフィナーレ

その後、開催国決定の投票が行われ、日本は第1回目の投票では開催国決定に足る3分の2以上には届かなかったものの、過半数を上回る85票を獲得しました。さらに、直後に行われた第2回目の投票では92票を獲得し、2025年国際博覧会の日本での開催が決定しました。

(投票結果)

- 第1回投票　(156票)

日　本	85票
ロシア	48票
アゼルバイジャン	23票

- 第2回投票　(155票)

(第1回投票で最下位のアゼルバイジャンを除いて実施)

日　本	92票
ロシア	61票
棄　権	2票

第2回投票の結果

歓喜の渦に包まれる万博誘致関係者

また、投票後に開催国決定を受けて、OECDカンファレンスセンター内で、日本政府や誘致委員会による記者会見を行いました。

投票後の記者会見　※写真提供:経済産業省

ⅱ)開催決定レセプション

このレセプションは、開催決定国が主催となり、BIE政府代表などBIE総会に参加する各国代表者やBIE事務局を招いて実施するもので、23日夜に、パリ市内のパビヨン ロワイヤルで開催し、世耕経済産業大臣、阿部外務副大臣や誘致委員会の役員などが参加しました。

レセプション会場

⑬開催国決定中継会

2018(H30)年11月23日の開催国決定日には、地元である大阪でも国会議員をはじめ、大阪府議会議員や大阪市会議員、経済界関係者など、これまで誘致活動に関わってきた関係者とともに、開催国決定の瞬間を見守るため、BIE総会会場からインターネットを通じて、開票結果を中継するビューイング会を大阪市内のホテルで開催しました。

現地パリとの時差があるため、開催が深夜に及びましたが、報道陣を含め400名以上が詰めかけ、会場内は瞬く間に熱気に包まれました。

中継会では、当日現地で行われた日本のプレゼンテーションの録画放映などが行われたのち、当初の予定時間から30分程度遅れた24日午前1時前、現地の様子が映し出されました。

ほどなくして、1回目の投票結果がモニターに映し出され、日本が85票を獲得しトップで次の決戦投票を迎えることが確認されました。約5分後、2回目の投票で日本が92票を獲得し、開催国決定を勝ち取ったことが現地パリとリアルタイムで伝わると、中継会場は歓喜の渦に包まれ、会場内では至る所で「万歳」の声が響いていました。

地元自治体・経済界の代表による挨拶が行われたのち、開催国決定を祝うくす玉が各界代表者によって割られ、改めて会場内で万歳三唱が行われました。

リーガロイヤルNCBビューイング会場

開催決定を祝うくす玉

また、当日は「You Tube」を活用し、会場に来られない関係者の方や大阪・関西万博の誘致活動を応援していただいた方々にも、自宅で開催国決定の瞬間などを共有していただけるような取組みも行いました。

【中継会概要】

日　時：2018(H30)年
　　11月23日(金・祝)～24日(土)
　　午後11時30分開会
場　所：リーガロイヤルNCB(中之島)
主　催：2025日本万国博覧会誘致委員会

⑭道頓堀での盛り上がり

2018(H30)年11月23日は道頓堀においても、前述の開催国決定中継会で使用した同じLIVE配信映像を使い、いっとこミナミ実行委員会主催による戎橋パブリックビューイングと万博決定祝賀イベントが地元商店街関係者らのご協力を得て開催されました。(参加者約300人：主催者発表)

寒空のなか、同日22時過ぎから開催国決定までの午前1時ごろまで、通行人が多くの報道陣に気づいて足を止めたこともあり、戎橋南側周辺は、熱気に包まれていきました。

道頓堀トンボリステーション(大型ビジョン)でのYou Tube映像配信が24日午前0時に始まると、一瞬にして、あたりが静まり返るほど、誰もが映像にくぎづけになっていました。

午前１時前、日本での開催決定が映し出された瞬間、戎橋周辺が歓喜の渦に包まれ、「オオサカ！オオサカ！」コールがわき起こりました。

いっとこミナミ実行委員会の上山勝也委員長による挨拶が行われたのち、開催国決定を祝うくす玉が地元商店街関係者らによって割られ、その場

におられた方全員で万歳三唱が行われました。

万博決定祝賀イベント

【パブリックビューイング概要】
日時：2018(H30)年
11月23日(金・祝)～24日(土)
24日午前0時～放映開始
場所：道頓堀トンボリステーション前
主催：いっとこミナミ実行委員会

⑮誘致決定記者会見

誘致決定後の2018(H30)年11月26日、衆議院第1議員会館において、2025年大阪万国博覧会を実現する国会議員連盟の総会における報告、誘致委員会役員会に続き、誘致委員会役員による記者会見が行われました。

日　時：2018(H30)年11月26日
午後4時30分～ 56分
場　所：衆議院第1議員会館多目的ホール
記者会見出席者：
2025日本万国博覧会誘致委員会
会長　榊原定征
会長代行　松井一郎、松本正義
副会長　吉村洋文、黒田章裕、池田博之、古賀信行
副会長代理　古川実
(大阪商工会議所副会頭)
2025年大阪万国博覧会を実現する国会議員連盟事務局長　竹本直一
経済産業省、外務省

榊原会長の冒頭発言：
「先週11月23日にパリで開催されましたBIEの総会において、2025大阪・関西万博の開催が決定いたしました。昨年の3月以来、オールジャパンの体制で誘致活動を進めてまいりましたが、誘致活動にご参加、ご協力いただいた皆さま方にはこの機会にあらためて感謝を申し上げたいと思います。勝因について3つ、私からコメントしたいと思います。勝因の第一は、先ほど申し上げましたように政府、それから国会議員の先生方、それから地元大阪府、大阪市、経済界、国民、まさにオールジャパンの強力な体制で誘致活動を進めてきた、これを世界各国から評価していただいたこと。2番目はわれわれの大会のコンセプト、テーマとして掲げる『いのち輝く未来社会のデザイン』ということでございます。その内容は、現在、官民で進めているSociety 5.0のプロジェクト展開を通じて、国連が掲げる持続的開発目標(SDGs)の達成に向けた姿を、大阪万博の場で世界の方々に見てもらおうと。SDGs達成のための、日本がフロントライナーになるんだと。そういったコンセプトを展開した。これが加盟国から高くご評価いただいた点であると思っています。3点目は、やはり日本の魅力、それから大阪の魅力、関西の魅力に対して世界各国の方が強い関心を示していただいた、ということだろうと思います。こういった日本の総合力を評価いただいた。2025年まであと7年間でございますが、それほど十分な時間であるわけではございませんので、早速新たな体制をつくって、今度は実行体制をつくって進めていくということになりますが、夢と希望あふれる素晴らしい万博にするように、これから頑張っていただきたいと思いますので、記者の方々も引き続きご関心を持って見守っていただきたいと思います。」

誘致決定記者会見

⑯国際博覧会担当大臣の指定と関係閣僚会議の開催

2025年国際博覧会の開催国が、日本に決定したことを受け、官民一体となった準備態勢を構築するため、政府は、2018(H30)年12月21日の閣議において、世耕経済産業大臣を国際博覧会担当大臣に指定するとともに、大阪・関西万博の円滑な準備及び運営に資するため、これに係る重要な問題であって国の施策に関連する事項を協議するため、「2025年に開催する国際博覧会関係閣僚会議」(主宰：内閣官房長官)を開催することを閣議了解し、同日に第1回会議を開催しました。

⑰一般社団法人2025年日本国際博覧会協会の設立

誘致が決定した際には、速やかに事業主体である博覧会協会を設立する必要があることから、誘致委員会では、2018(H30)年4月から大阪府、大阪市、関西経済連合会、大阪商工会議所、関西経済同友会、経済産業省、誘致委員会事務局で協会設立準備検討WGを設置し、協会設立のイメージや課題について検討や協議を進めていました。

万博の開催国が日本に決定したことを受け、誘致委員会では、2018(H30)年11月26日に役員会を開催し、2025年日本国際博覧会協会を設立するため、協会の設立に係る準備を誘致委員会の事業として追加するための規約改正を行い、準備を加速化しました。

2018(H30)年12月19日には、世耕経済産業大臣、尾崎誘致委員会副会長(大阪商工会議所会頭)、竹本直一万博議連事務局長、新井大阪府副知事、八木関西経済連合会副会長が日本経済団体連合会の中西宏明会長を訪れて、近く設立予定の博覧会協会の会長就任を依頼し、中西会長が就任を応諾されました。

2019(H31)年1月30日、大阪府咲洲庁舎で2025年日本国際博覧会協会の設立時社員総会、設立時理事会が、日本経済団体連合会中西会長、関西経済連合会松本会長、関西商工会議所連合会会長・大阪商工会議所尾崎会頭、関西経済同友会黒田代表幹事、大阪府松井知事、大阪市吉村市長、中務公認会計士・税理士事務所中務所長の出席のもと開催され、設立趣意書、定款の確認、役員選任等を行い、中西経団連会長が博覧会協会会長に就任されました。

同日設立登記申請を行い、2025年日本国際博覧会協会が設立されました。

■名　　称：
一般社団法人2025年日本国際博覧会協会
■目　　的：
2025年日本国際博覧会の準備及び開催運営等を行うことをもって、国際連合の掲げる持続可能な開発目標の達成に貢献するとともに、わが国の産業及び文化の発展に寄与することを目的とする。
■設立時期：
2019(H31)年1月30日(事務所開設2月1日)
■主たる事務所の場所：
大阪市内(大阪府咲洲庁舎43階)
■役　　員：
- 会長(代表理事)
  日本経済団体連合会会長　中西　宏明
- 副会長
  関西経済連合会会長　松本　正義
  関西商工会議所連合会会長・大阪商工会議所会頭　尾崎　裕
  関西経済同友会代表幹事　黒田　章裕
  京都商工会議所会頭　立石　義雄
  神戸商工会議所会頭　家次　恒
  日本商工会議所会頭　三村　明夫
  経済同友会代表幹事　小林　喜光
  大阪府知事　松井　一郎
  大阪市長　吉村　洋文
  関西広域連合長　井戸　敏三
- 監　事
  きっかわ法律事務所
  代表弁護士　小原　正敏
  中務公認会計士・税理士事務所
  所長　中務　裕之

2025年日本国際博覧会協会設立

第2部

EXPO 2025

第1章　構想の検討

（1）国際博覧会大阪誘致構想検討会

2015（H27）年8月25日に、構想検討会での検討結果を取りまとめた報告書「国際博覧会大阪誘致の可能性検討状況について」を公表しました（P4「（3）②国際博覧会大阪誘致構想検討会の設置」を参照）。

報告書は「開催の必要性」「開催の意義・テーマ」「開催による効果」「開催可能地区」「府民・企業意識」「今後に向けて」の6章で構成されました。

「開催の必要性」では、国際博覧会の開催は、大阪の成長を強力に後押しするものであると整理されました。

「開催の意義・テーマ」では、有識者から「新しい国際博覧会のモデルを作る」「人類の長寿と調和」「楽しいエイジレス社会」「いのち／LIFE」「地域住民の主体性を作る場に」などの案が示されました。

「開催による効果」では、愛知万博相当の国際博覧会を大阪で開催した場合、約2.9兆円の効果が創出されることが示されました。

「開催可能性地区」は、万博記念公園＋彩都東部地区、服部緑地、花博記念公園鶴見緑地、舞洲、りんくう公園＋りんくうタウン、大泉緑地の6ヵ所を例示しました。

「府民・企業意識」では、大阪府が実施した府民アンケート調査や企業アンケートの結果が示されました。府民アンケートでは、大阪で国際博覧会が開催された場合に訪れたいと回答したのは約76％でした。一方で、企業アンケートでは、大阪で国際博覧会が開催された場合、参加の意向については「わからない」が全体の46％にのぼり、何らかの形で参加したいと回答したのは約18％でした。

「今後に向けて」では、3点の方向性が示されました。1点目は、機運の醸成が必要であること、2点目は、大阪の将来を見据えたコンセプト作りを進めること、3点目は、今後検討を進めるにあたり、将来を担う若者などの声を十分に聴くことが求められました。

（2）「2025日本万国博覧会」～人類の健康・長寿への挑戦～ 基本構想試案（2016（H28）年6月）

ア．基本概要

「健康」を人類にとって根本的な課題と捉え、慢性疾病の増加やグローバル化に伴う新たな感染症の蔓延の可能性拡大という新たな「健康」の問題を人類の存在を脅かす重大な危機として、21世紀が四半世紀を迎える2025年を契機に世界がこの課題への危機感を共有し、解決の糸口を発見するため、大阪において、世界からの知を集め、人類社会に貢献することを基本理念としました。

この基本理念を示すテーマ案には、「人類の健康・長寿への挑戦」を掲げ、サブテーマ案には、「人類の健康」に関連する分野として主な要因を抽出し、広く世界で課題共有できる要因として、「科学と技術の発展」「文化の多様性の尊重」「安定した生活の実現」「地球環境の保全と共生」の4項目を設定しました。

開催概要は過去に開催された2005年日本国際博覧会（愛・地球博）を参考に、開催期間は2025年4月から10月の6ヵ月間とし、会場は夢洲の約100haを想定するとともに、150ヵ国・機関の参加をめざし、目標入場者数は3,000万人以上としました。

イ．事業展開イメージ

「世界から“知”を集め、博覧を超えた『参加・体験』によって“人類の健康・長寿への挑戦”に向けた行動を呼びおこす交流の舞台」を事業展開のコンセプトとしました。

「健康になる博覧会」を会場展開のコンセプトとして、各施設を巡りながら「参加・体験」し、世界中の様々な人々との交流で、心も体も健康になる事業展開を行うこととしました。

具体的な事業展開イメージとしては、公式参加国のナショナルデープログラムを実施する「テーマイベントホール」や企業の技術・サービス力を結集した究極の衣食住を滞在型で体感し健康になれる「滞在型究極健康ハウス」、ウエラブル端末を装着し、日本ゾーン全体で展開する「健康スマートタウン体験」、暮らしを支えるロボットのサービスなど最先端の技術に触れる「国・企業などによる実証実験」などを挙げてい

ます。

ウ．理念の継承

結集された「知」や「参加・体験」、「出会い」により生み出された新たなモノ・行動・モデルは、会期の終了によって途絶えさせるのではなく、開催終了後も継承し、人類共通の課題を解決していかなければならないとし、博覧会開催によって誘発された「人類の健康・長寿への挑戦」のムーブメントを広く世界に、そして後世にいたるまで継続して誘発させるための取組みを残余財産として活かすことが、「理念の継承」につながると掲げました。

エ．事業推進

2005年愛知万博の例を参考に、パビリオンの建設等の会場建設費を1,500億円～1,600億円程度、広告宣伝や会場管理費等の運営費を800億円程度と算定しました。

オ．その他

夢洲を会場候補地として、アクセス面、集客面等から検討を行うこととしました。夢洲は大阪臨海部の中心に位置し、空港、鉄道、道路、海上から多彩なアプローチが可能です。観客輸送計画来場者数を3,000万人のベースとして、1日あたり平均来場者数を24万6,000人としました。また、全国への経済波及効果の試算値として、生産誘発額を約6兆円としました。

(3) 2025年万博基本構想検討会議

〈第1回 全体会議〉

○開 催 日　2016(H28)年6月30日
○開催場所　大阪市内のホテル
○議　　題
- 「2025日本万国博覧会」基本構想試案について
- 意見交換
- 今後の進め方について

○概要

冒頭に松井大阪府知事が基本構想試案に込められた万博誘致に向けた自らの思いを語りました。その後、事務局である大阪府から知事が考える具体的な万博のイメージをまとめた「試案」(テーマ案：人類の健康・長寿への挑戦)と開催地決定までの流れ、今後のスケジュールについて、説明がありました。試案をたたき台に今後、全体会議と理念・事業展開部会(澤田裕二部会長)、整備等部会(橋爪紳也部会長)において、議論を深めていくこととなりました。

〈第1回 理念・事業展開部会〉

○開 催 日　2016(H28)年7月14日
○開催場所　大阪府庁
○議　　題
- 万博について
- 基本理念、名称、テーマ、サブテーマについて
- 事業展開について
- その他

○概　　要

澤田部会長から、万博に関する基礎知識(歴史、国際博覧会条約、社会と博覧会の変換など)、WHOにおける健康の定義等についての説明が行われ、今後の検討にあたっての押さえておくべき知識等について、委員間の理解と共有が図られました。その後、試案をたたき台に、基本理念、名称、テーマ、サブテーマに関して、各委員から意見やアイデアが出され、委員間で意見交換が行われました。委員からは、「国連の開発目標2030年からみれば、2025年は世界では健康への取組みが進んでいない状況にある。世界は日本の対応を注目しており、万博は2025年に向けたプロセスも重要となる」「関西の優位性などからテーマ設定を検討した場合、『Health』は間違いなく適したテーマだ」等の意見が出されました。

〈第1回 整備等部会〉

○開 催 日　2016(H28)年7月22日
○開催場所　大阪府庁
○議　　題
- 会場について(会場要件等、過去の開催地、会場候補地(7ヵ所)の概要)
- その他(会場整備のあり方、府域への広がりや関西各府県との連携方法について)

○概　　要

橋爪部会長から博覧会国際事務局(BIE)が定める国際博覧会の会場要件、過去の開催会場について説明が行われ、会場の選定にあたり留意するべき事項について、認識の共有が図られま

した。事務局から会場候補地(7ヵ所)の概要について説明のうえ、意見交換が行われました。また、会場構成、府内域への広がりや関西各府県との連携について意見交換が行われました。委員からは「丘陵地は余計なコストがかかり、自然破壊にもなる。また、希少生物が生息しているところは絶対に避けるべき。地形も重要で、長細い形状は移動に時間を要する。臨海地区の埋め立て地が一番良い。」「関西が抱えているインフラ課題を整備する機会とするべき。ウォーターフロントの開発は重要であり、これをリンクさせるべき。」「インバウンドの来場者増から、海外からのアクセスは重要。国際空港と都心の間に会場があるのがグローバルスタンダード。」等の意見がありました。

〈第2回 全体会議〉

○開 催 日　2016(H28)年7月29日
○開催場所　大阪府庁
○議　　題
- 理念・事業展開部会及び整備等部会での検討状況について
- 基本理念、名称、テーマ、サブテーマについて
- 事業展開について

○概　　要

これまで開催した会議で出された意見概要をもとに、「若者からお年寄りまで関心をもっていただける基本理念のあり方」や「テーマ・サブテーマ設定のあり方」等について、さらに議論を深めるための意見交換が行われました。委員からは「今、世界では、健康・長寿はホットトピックス。長寿時代の新しい生き方・社会のあり方を日本がリードしていくための万博にできる。例えば、健康となるまちを会場内につくりあげ、国際会議で理念の共有を図るような事業展開を。」等の意見がありました。

〈第2回 整備等部会〉

○開 催 日　2016(H28)年8月12日
○開催場所　大阪府庁
○議　　題
- 会場候補地について
  (視察結果も踏まえた意見交換)
- テーマ展開としての必要施設・施設群・ゾーンの考え方

○概　　要

会場候補地のうち4ヵ所を視察後、会場候補地、必要施設、ゾーンの考え方等について意見交換が行われました。委員からは「跡地利用で描く未来を考えると、課題はあるが最終的には夢洲ではないか」「物理的に100ha確保できる可能性や地形では夢洲だが、コストの問題はある」「大阪の暑さを考えると開催時期の検討が必要。大阪の魅力を最も発信できる時期を総合的に判断すべき」等の意見がありました。

〈第2回 理念・事業展開部会〉

○開 催 日　2016(H28)年9月6日
○開催場所　大阪府庁
○議　　題
- 今後の進め方について
- これまでの検討経過を踏まえた基本構想府案とりまとめに向けて
  (基本理念・テーマ等)

○概　　要

これまでの検討経過を踏まえた基本構想府案のとりまとめに向けて、「基本理念」「テーマ案」「事業展開」など、理念・事業展開部分に係る検討状況を報告し、意見交換が行われました。委員からは「大阪開催の意義として、『人類の進歩と調和』を掲げた70年万博を開催した大阪が2度目の万博を開催する意義を重視し、時代の変化の中で生じた課題を解決できる力を大阪が持っていることを打ち出すことが重要」「企業の良いアイデアなどを万博へ反映させていく方向性を構想の中で打ち出せば、様々な企業が主体的にかかわる前例のない万博となるのではないか」等の意見がありました。

〈第3回 整備等部会・第3回 全体会議〉

○開 催 日　2016(H28)年9月29日
○開催場所　大阪市内のホテル
○議　　題
- これまでの検討経過を踏まえた基本構想府案のとりまとめに向けて(会場等)
- 2025日本万国博覧会基本構想府案の検討状況の中間報告について
- その他

○概　　要

はじめに整備等部会が開かれ、続いて全体会議が開催されました。両会議では、これまでの

検討経過を踏まえた基本構想(府案)のとりまとめに向けて、事務局から基本構想(素案)について説明があり、それに基づき、意見交換を行いました。検討会議の閉会にあたり、今後、基本構想(素案)を基に、これまでに出された委員の意見を踏まえ、最終案を事務局で取りまとめの上、次回の全体会議で報告することで委員の了承を得ました。

また、全体会議で経済産業省からフランス・パリの動きについて報告があり、9月14日のフランス政府の閣議において、数週間以内に立候補することが了承された旨、情報提供がありました。

〈第4回 全体会議〉

○開 催 日　2016(H28)年10月28日
○開催場所　大阪市内のホテル
○議　　題
- 2025日本万国博覧会基本構想(府案)について

○概　　要

これまでの検討会議での意見や議会での議論を踏まえて作成した「2025日本万国博覧会」基本構想(府案)について、事務局から委員への説明があり、本案を国へ提出することについて、異論なく了承されました。

(4) 2025日本万国博覧会基本構想案 (2016(H28)年11月)

これまでの2025年万博基本構想検討会議でとりまとめられた基本構想(府案)をもとに、今後、国の基本構想策定にあたっての大阪府の提案文書として「2025日本万国博覧会基本構想案」を策定しました。

基本構想案では、世界中のあらゆる人がよりよく生きることのできる社会の実現を基本理念として、2025年は国連で採択された「我々の世界を変革する：国連の持続可能な開発のための2030年アジェンダ」の目標年次まであと5年であることから、AIやIoT、ネットワークを活用した「Society5.0」の取組みを進め、人がよりよく生きるための新たなライフスタイルを提案し、社会を変化させるメディアとしての新しい博覧会へと変貌させたいとしました。「健康」の定義について、この万博では「世界中のあらゆる人が、年齢、性別、障がいの有無、生まれた場所、社会的・経済的状況に関わらず、与えられた人生を、その人らしく、楽しくいきいきと過ごすこと」とし、大阪・関西にはライフサイエンス分野をはじめとする健康に密接に関係する分野(食・スポーツ・家電・衣料など)の集積があり、「人類の健康」について、世界に向けて発信する基盤があることを示した上で、テーマ案は、基本構想試案と同じ「人類の健康・長寿への挑戦(英訳：Our Health , Our Future)」としました。

開催場所については、海外をはじめ、日本の各都市からのアクセス性に優れ、大阪市の都心から直線距離にして西へ10kmの大阪臨海部に位置する人工島「夢洲」を想定しました。

開催期日は、訪日外国人が多く訪れる時期を含む5月から10月を核とした6ヵ月間を想定しました。

会場規模としては、2025年までに利用可能となる土地のうち、約100haを想定しました。また、2025年までにはIR(統合型リゾート施設)が進出している可能性があり、このIRを含む夢洲まちづくり構想の進展の状況を踏まえて利用計画を検討するとしました。

入場者想定規模は、過去の国際博覧会の実績、会場候補地の立地条件等を勘案し、約3,000万人としました。

会場内の造成や道路などの基盤施設、展示施設や駐車場など、会場整備に係る建設・整備費用である会場建設費を概算で1,200億円～1,300億円程度と試算し、国や地元自治体、民間(経済界等)が必要な資金を確保することを原則としました。また、開催に係る建設費以外の事業、管理、広告宣伝等に係る運営費については、愛知万博の事例を参考に、概算で690億円～740億円程度と試算しました。その他、地下鉄中央線の延伸等の鉄道整備や橋りょう拡張等の道路改良、埋立追加費用など、関連事業費として、概算で約730億円程度としました。

国際博覧会開催による会場建設費、運営費、宿泊や飲食等のサービス等への消費額は合計で約1.9兆円と見込み、その結果、全国にもたらされる経済波及効果(試算値)は、約2.3兆円としました。その他、国際博覧会開催による新商品の研究開発、開催中または開催後の大規模イベント実施等、間接的な効果は約4.1兆円と試算しました。

(5) 2025年国際博覧会検討会

「基本構想案」では、世界中で健康に関する課題が山積している現状から、「健康・長寿」が人類共通の願いだとして、「人類の健康・長寿への挑戦」をテーマとして設定し、「健康になる万博」をめざすこととしていました。

一方、2016(H28)年12月に経済産業者が設置した「2025年国際博覧会検討会」の議論では、国際博覧会には、世界の国々が共感し、進んで参加したいと思える普遍的なテーマを設定することが必要となる中で、健康や医療の問題は世界の国ごとに様々であり、途上国の国々にも日本がめざす国際博覧会のテーマへの共感や理解を得るためには、単に長生きすることだけではなく、もっと広い視点で「健康・長寿」をとらえることが重要ではないか、という意見が大きくなってきました。

また、国際博覧会の誘致を検討している2025年は、SDGs（持続可能な開発目標）の達成目標年である2030年まで残り5年となり、その時点までの成果を振り返り、SDGs実現に向けた取組みをさらに加速する極めて重要な年であるとの認識も示されました。

こうした経過を踏まえ、テーマを改めて検討した結果、「健康・長寿」を、その重要な要素としつつ、より広い概念として、「いのち輝く未来社会のデザイン」がテーマとして選ばれることになりました。

そして、サブテーマを、「多様で心身ともに健康的な生き方」・「持続可能な社会・経済システム」とすることで、大阪府が提案した「健康」の要素と、「SDGsの達成」の要素を共に含むものとして、国際博覧会を地球規模のさまざまな課題に取り組むために、世界各地から英知を集める場として位置づけ、共感を得られるものとしました。

同検討会では、これらテーマなどコンセプトの検討に加え、会場計画等の検証が行われ、2017(H29)年4月7日に「2025年国際博覧会検討会報告書」がとりまとめられました。その概要は次のとおりです。

第1部　2025年国際博覧会のコンセプトでは、「基本理念」として、2025年の国際博覧会を、様々な課題を克服しながら一人一人のいのちが輝く生き方と、それを可能にする未来の社会・経済システムの未来像を参加者全員で共創する場と位置付けています。

「テーマ・サブテーマ」では、前述のとおり、テーマを「いのち輝く未来社会のデザイン（英訳：Designing Future Society for Our Lives）」に、サブテーマを「多様で心身ともに健康的な生き方」・「持続可能な社会・経済システム」に設定しました。

「実施の方向性」として、事業展開面及び会場計画面から整理しました。事業展開面では、皆で世界を動かす博覧会、常識を超えた博覧会、誰もが参画しやすい博覧会等を、会場計画面では、人々の交流・憩いの場としての会場、環境と調和した会場等を掲げました。

また、第2部　2025年国際博覧会の円滑かつ効果的な開催に向けた考え方では、「開催場所」について夢洲は国際博覧会の開催地域・場所としての諸条件を具備しているとし、「開催期間」について2025年5月3日（土）～11月3日（月）の185日間を想定することとしました。また、「入場者数」はその想定規模として約2,800万人～3,000万人とし、「輸送・宿泊計画」では基本構想案をベースに対応可能との認識が示されました。さらに、「開催経費」として、会場建設費約1,250億円程度、運営事業費約800億円～830億円、関連事業費約730億円以上と想定し、それらに基づく全国への経済波及効果を約1.9兆円と試算しました。

〈第1回〉
○開催日　2016(H28)年12月16日
○開催場所　経済産業省
○議題
- 2025年の国際博覧会検討会のテーマ・基本理念等について

○概要
検討会の事務局である経済産業省（以下「事務局」）より論点提示がなされた後、2025年国際博覧会のテーマ・基本理念等について、委員間で意見交換がなされました。

〈第2回〉
○開催日　2017(H29)年2月15日
○開催場所　経済産業省
○議題
- 「2025 年国際博覧会検討会報告書骨子（案）」

に関する討議
- 「2025年国際博覧会検討会の会場計画等の検証」に関する討議

○概要
報告書骨子(案)、会場計画等検証の事務局説明に基づき、委員間で意見交換がなされました。

＜第3回＞
○開催日　2017（H29)年3月13日
○開催場所　大阪府庁咲洲庁舎
○議題
- 報告書(案)について

○概要
報告書(案)の事務局説明に基づき、委員間で意見交換がなされました。

第2章　Society5.0−SDGs

(1)Society5.0、SDGsとは

①Society5.0

Society5.0とは、人間社会の発展の次のステージに関する日本のビジョンであり、1)狩猟社会、2)農耕社会、3)工業社会、4)情報社会というこれまでの人類の発展における4つの主要なステージに続く5番目の段階と位置付けており、以下のような新たな経済社会のことをいいます。

1)サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させることにより、
2)地域、年齢、性別、言語等による格差なく、多様なニーズ、潜在的なニーズにきめ細かに対応したモノやサービスを提供することで経済的発展と社会的課題の解決を両立し、
3)人々が快適で活力に満ちた質の高い生活を送ることのできる、人間中心の社会

出典:企業行動憲章

②SDGs

SDGsとは、世界が2016年から2030年までに達成すべき17の環境や開発に関する国際目標です。Sustainable Development Goalsの略称で、日本では「持続可能な開発目標」と訳されています。地球環境や気候変動に配慮しながら、持続可能な暮らしや社会を営むための、世界各国の政府や自治体、非政府組織、非営利団体だけでなく、民間企業や個人などにも共通した目標です(発効2016(H28)年1月)。

(2)Society5.0、SDGsと2025年大阪・関西万博

日本は、IoT、AI、ロボット等の革新的技術を最大限活用し、人々が快適に暮らせる未来社会「Society 5.0」の実現を通じて、国連が掲げる持続可能な開発目標(SDGs)達成のフロントランナーとなることで、世界の持続的成長と発展に貢献する万博をめざし、2025年国際博覧会(万博)の開催国に立候補しました。

(3)SDGs関連イベント

誘致活動では、万博の開催理念の柱の1つである「SDGs」への貢献に向けた取組事例の紹介や、大学・民間企業とも連携し、企画提案を行うなど、SDGsについて自らが考え行動につなげていくことを目的とする事業を展開してきました。

外務省(国際協力局 地球規模課題総括課)、JICA(国際協力機構)、JST(科学技術振興機構)などの政府系団体、国連広報センター、国連開発計画、国連大学、GCNJ(グローバルコンパクトネットワークジャパン)などの国連関係団体、SDGs市民社会ネットワーク、日本ユニセフ協会などのNPO、協賛企業などには、各種会議、イベント等での広報活動等にご協力いただきました。

具体的には、JICA関西とコラボレーションした万博・SDGs関連イベントの実施、さらにはJST主催のSDGsに関する団体との連絡会において万博のコンセプト等を紹介していただくとともに、JST主催のイベントにて、万博誘致PRグッズを配布していただくなどの取組みを進めました。

あわせて、ピカチュウなどポケットモンスター（ポケモン）のプロデュースを行っているポケモン社とも協力し、誘致委員会のホームページ上に、SDGsに関連する質問に答えていくと、自分に適したポケモンのタイプが示されるサイト（「ポケモンEXPOタイプ診断」）を開設するなど、子どもから大人まで楽しみながら、SDGsについて理解を深める取組みを進めました（詳細はP42「(1)⑤キャラクターを使ったPR」を参照）。

ポケモンEXPOタイプ診断TOP

また、ノーベル賞受賞者で京都大学iPS研究所所長の山中伸弥教授をはじめ、バイオテクノロジーや再生医療といったライフサイエンス分野で活躍されている方々を講師に招き、「いのち輝く未来社会のデザインシンポジウム」を開催するなど、様々な形でより多くの方々に対して、万博開催理念について理解していただける取組みを行いました。

いのち輝く未来社会のデザインシンポジウム

第3章　国内広報・啓発活動

(1)国内広報・啓発活動のあゆみ

①誘致ロゴマークの策定

ⅰ)暫定ロゴマークの策定

2016(H28)年11月に開催されたBIE総会において、フランスが2025年の万博開催国に立候補を表明したことを受け、日本でも2025年万博への立候補に向けた動きが活発化しました。

年末年始等の外遊などの機会を活用して、日本でも立候補の準備があることをBIE加盟国にアピールするため、政府から(公財)大阪観光局のロゴマークをアレンジして、PRのシンボルとなるロゴマークを制作する案が提示されました。

これを受け、誘致委員会の設立準備を行っていたスタッフが観光局と協議を行い、立候補にむけた暫定ロゴマークが決定しました。

【暫定ロゴマーク】

ⅱ)誘致ロゴマークの選考プロセスの策定

誘致委員会では2017(H29)年3月27日～5月1日までの間、幅広くシンボルマークの公募を行ったところ、1,331件の応募がありました。

専門家による一次審査を行った後、商標権・著作権調査を実施し、最終候補の絞り込みを行いました。

6月1日から5日には最終候補の3作品についてインターネット等による一般投票を実施したところ、6,177件の投票がありました。

【選定委員会委員】

(委員長)

高橋 善丸　大阪芸術大学デザイン学科 学科長

(委員)

高田 雄吉　特定非営利活動法人
日本タイポグラフィ協会 理事

清水 柾行　公益社団法人
日本グラフィックデザイナー協会
運営委員

上田 正尚　一般社団法人
日本経済団体連合会 産業政策本部
本部長

阿部 孝次　公益社団法人関西経済連合会
理事・事務局次長

武田 家明　経済産業省 商務流通保安グループ
博覧会推進室 室長

榮野 正夫　2025日本万国博覧会誘致委員会
事務局長

6月6日、選定委員会がインターネット等による一般投票の結果も踏まえて協議を行い、最優秀作品・優秀作品の2作品を選定しました。

【最優秀賞】

大川 幸秀　(おおかわ ゆきひで)
職業：アートディレクター・デザイナー

【優秀賞】

彦根　正　(ひこね ただし)
職業：デザイナー

翌6月7日には経済産業省で誘致ロゴマークの発表会を開催しました。

誘致ロゴマーク発表会
(経済産業省本館10階記者会見室)

ⅲ）誘致ロゴマークの概要

2025年の大阪・関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」と、多様な個が集まることで問題を解決できるという精神が込められているかどうか、分かりやすさ、開催予定地である大阪が感じられるものという観点から審査が行われ、日本発祥で世界的な文化となった「絵文字」をモチーフに世界からにっこり笑ったヒトが集まってくる花が開いたようなデザインをコンセプトとする候補が選ばれました。

【合成ロゴマークタイプ】　【単体ロゴマークタイプ】

ⅳ)ロゴマークの活用方法

誘致ロゴマークはBIEのビジュアル及びブランドアイデンティに関する規則に沿って作成されたガイドラインに従って積極的に活用することとなりました。

ロゴマークは2025年大阪・関西万博に向けた誘致活動のシンボルとして機能し、国内外での誘致活動のあらゆる場面で展開されることとなりました。

ⅴ）ライセンシング

誘致委員会では、万博誘致ロゴの視覚的イメージを保ちながら、大阪・関西万博に対する認知を広め、様々な分野の個人・企業・団体等と連携して誘致活動を適正かつ効果的に推進できるよう、万博誘致ロゴガイドラインを設定しました。

誘致委員会は2017（H29）年5月31日に特許庁への出願を行い、2018（H30）年3月16日に誘致ロゴマークの商標登録を行いました。

②オフィシャルパートナー、オフィシャルサポーター制度

誘致委員会では関西経済連合会とともにオフィシャルパートナー、オフィシャルサポーター制度を策定し、スポンサーの募集活動を幅広く展開しました。

この制度では、企業の有するリソースを最大限活用して誘致活動を効率的に展開するために、現金に限定せず現物提供（メディア枠提供、警備費用、OA機器リース等）による協賛の仕組みも導入しました。

【スポンサーシッププログラム】
（募集期間：
2017（H29）年6月13日～2018（H30）年11月23日）

■オフィシャルパートナー

〈協賛方法〉
- 現金200万円以上又は現物400万円（税込）相当以上の商品・サービスの無償提供

〈協賛特典〉
- 万博誘致ロゴの使用（広告・商品・ノベルティ等）
- オフィシャルパートナー枠で社名及びロゴの掲出
- 告知メディア：ウェブサイト、ポスター等でのロゴ掲出
- イベント：PRパネル等での社名掲出、配布物等
- その他：誘致活動において、適宜PR機会を設定

■オフィシャルサポーター

〈協賛方法〉
- 現金：50万円以上100万円未満（税込）又は現物100万円相当以上の自社商品・サービスの無償提供

〈協賛特典〉
- 万博誘致ロゴの使用（広告・商品・ノベルティ等）
- オフィシャルサポーター枠で社名のみ掲出
- 告知メディア：ウェブサイト
- イベント等：PRパネルでの社名掲出

関西経済連合会が中心となって企業への様々な提案や問合せ対応に係る事務局業務を担い、他の経済団体だけでなく、大阪府公民戦略連携デスクとも連携して取り組んだ結果、当初40社程度でスタートしましたが、誘致活

動の機運の高まりとともに最終的には290社・団体(※)に協賛いただきました。

※内訳はスペシャルパートナー：1団体
　オフィシャルパートナー：197社・団体
　オフィシャルサポーター：92社・団体

③街中でのシティドレッシング

国内の機運醸成に向けた誘致委員会の取組みとして、2017(H29)年7月から、大阪府庁と大阪市役所に懸垂幕を掲出するとともに、御堂筋に街頭バナーを掲出しました。

また、誘致委員会を構成する関係団体や、オフィシャルパートナー・オフィシャルサポーター等の各主体においても、誘致委員会の取組みと一体となって、様々な広報ツールを用いた効果的なPRを実施いただきました。

大阪府庁での懸垂幕

大阪市役所での懸垂幕

曽根崎地下歩道のポスター

新大阪駅でのデジタルサイネージ(JR西日本)
建築物でのシンボルマーク(野村證券)
街路灯でのバナー(道頓堀商店会)

神戸フラワーロードでの街頭バナー(神戸市)
特産品(タオル)によるバナー(泉佐野市)
駅前看板(泉佐野市)

建築物や工事仮囲い等への誘致ロゴマーク掲出
梅　田：阪神電気鉄道、阪急電鉄、JR西日本　等
御堂筋：竹中工務店、大林組、鹿島建設、野村證券
道頓堀：道頓堀商店会、南海電気鉄道　等
このほか各所で多数掲出

府立高校での横断幕の掲出（港南造形高校、桜塚高校 他）

大阪商工会議所では、誘致ロゴマークをあしらったステッカーを配布し、掲示を呼び掛ける「万博ステッカー・キャンペーン」を2017（H29）年10月から開始しました。

飲食店・小売店や銀行、コンビニエンスストア、鉄道の改札機、バス停留所、物流車両等、企業・団体の賛同のもと、約28万枚のステッカーが京阪神を中心に掲出されました。

万博ステッカー・キャンペーン

④交通事業者による誘致PRの展開

誘致活動を展開していくにつれて、開催候補地である大阪では誘致機運が徐々に高まり、誘致ロゴマークが街中の様々な所で見られるようになってきました。しかし、大阪以外では、依然として万博誘致に対する認知度は低く、誘致機運を全国に波及させることが、課題となっていました。

そのような中、大阪タクシー協会をはじめ、京阪神のタクシー約2.9万台に、前述の誘致ロゴマークが入ったステッカーを貼っていただくとともに、大阪府トラック協会に加盟する事業者が保有する約2万台のトラックに誘致ロゴマークが入ったステッカーを貼ることとなりました。誘致ロゴマークをトラックの荷台に大きくラッピングした車両もあり、「走る広告塔」として全国にPRしました。

ラッピングトラック出発式

鉄道事業者では、阪急電鉄や京阪、近鉄の車両の中吊りやドア横へのポスター掲出などを実施していただきました。また、Osaka Metro（旧

大阪市営地下鉄）による誘致ロゴマークが印刷されたステッカーの車両への貼付や、大阪モノレールや南海電鉄の特急「ラピート」の車両に誘致ロゴマークをラッピングするなどの動きが出てきました。さらには、JR東海・JR西日本・JR九州の協力のもと、東海道・山陽・九州を走行する新幹線の全車両に誘致ロゴマークが入ったステッカーを貼っていただくことになりました。

ラピート万博誘致号出発式

東海道･山陽新幹線誘致ステッカー

このような動きは、航空会社にも拡大しました。成田国際空港を拠点とするジェットスター・ジャパンや関西国際空港を拠点とするpeach（ピーチ）には、国内外を就航する機体に誘致ロゴマークをラッピングしていただきました。

HONA IKOKA!号　出航式

このように交通事業者の協力を得ることで、誘致機運を幅広い地域に波及させるとともに、国内外に向けて誘致に向けた熱意や思いを伝える取組みが広がっていきました。

Osaka Metro(旧大阪市営地下鉄)･阪急電鉄:
　車両への大型ステッカー貼付
　駅でのポスター掲出･デジタルサイネージ放映等
大阪シティバス（旧大阪市営バス）:フロントマスクの装着等
　改札機へのステッカー貼付

⑤キャラクターを使ったPR

経済産業省が協力依頼し、のちに外務省から「2025年国際博覧会誘致キャラクター特使」に任命されたポケットモンスター（ポケモン）、ハローキティに、国内機運醸成にも協力いただくため、2018（H30）年5月16日、「万博誘致スペシャルサポーター」として就任していただきました。同キャラクターがデザインされた万博誘致PRチラシを約200万枚製作し、うち約62万枚を大阪府内の小中学校、高等学校の児童生徒に配付しました。このほかにも、約16万枚のステッカーや約3万枚のクリアファイルを製作し、チラシとあわせて全国各地の各種イベント、全国26ヵ所のポケモンセンター、ポケモンストア、Twitterプレゼント企画などで配布しました。

万博誘致スペシャルサポーターのハローキティとポケモン

グッズ以外では、若年層（概ね30代以下の方々）を対象に、万博やSDGsへの関心を高めていただくソフトコンテンツとして、性格診断

キャンペーンサイト(「ポケモンEXPOタイプ診断」)を2018(H30)年6月に開設し、誘致委員会のホームページ上にアップしました。

同キャンペーンサイトは、万博やポケモンに関する10個の質問に答えることで、18種類あるポケモンタイプになぞらえたEXPOタイプが診断され、タイプ毎に異なるポケモンが記載されたサムネイル(デジタルの写真フレーム)がもらえます(登場するポケモンは全部で54種類)。

診断結果にはEXPOタイプの他、「興味がありそうなSDGsの目標」が掲載され、目標の画像をクリックすると国連開発計画のホームページにリンクするようにしました。設問の回答とSDGs目標の相関は、日本政府のSDGs推進本部(本部長:総理大臣)の事務局を務める外務省 国際協力局 地球規模課題総括課の監修を受け制作しました。

ポケモンEXPOタイプ別診断リリースイベント

SNS等での拡散に加え、ポケモンEXPOタイプ診断を体験した人数を視覚的に表現するため、約10万個のレゴブロックを使用し、1回診断を行うごとに1ブロックを積むことで「ポケモンが万博誘致を応援する壁画」を完成させていく企画を実施しました。

ポケモン壁画　池袋サンシャインシティ

これらの取組みによる最終的なポケモンEXPO診断の体験者数は124ヵ国、約10万人(うち、30代以下の方が約9割)にのぼりました。

さらに、キャラクターと著名人がコラボレーションしたPR動画(ピカチュウと中川翔子さん、ピカチュウと藤田ニコルさん)(P57「(2)③動画を活用したPR」を参照)を制作し、公共交通機関をはじめ航空会社、鉄道会社、銀行、家電量販店などのデジタルサイネージ等で放映しました。

〈イベント実施日〉

2018(H30)年 6月14日
「ポケモンEXPOタイプ診断」リリース
東京ミッドタウン日比谷
2018(H30)年 7月21日
ポケモンセンター／ポケモンストアでのステッカー配布開始
2018(H30)年 7月31日
共同通信PRワイヤーを用いた国内メディアへの情報発信
2018(H30)年 8月22日
レゴ完成記念ロケーション撮影
(テレビ東京「おはスタ」製作スタッフ)

〈レゴ壁画設置場所〉

2018(H30)年 6月14日～ 6月28日
東京ミッドタウン日比谷
2018(H30)年 6月29日～ 7月16日
ダイバーシティ東京(台場)
2018(H30)年 7月17日～ 8月 1日
ららぽーと豊洲
2018(H30)年 8月 2日～ 8月15日　コレド日本橋

2018(H30)年 8月16日～ 8月23日
池袋サンシャインシティ 噴水広場
2018(H30)年 8月25日～ 11月24日
池袋サンシャインシティ アルパ2F

⑥イベント等を活用したPR

万博開催の意義・目的やその可能性、万博で体験できる面白さなどをより直接触れて知っていただくため、2017(H29)年6月のホリエモン祭りから2018(H30)年11月の神戸マラソンまで(※)、大阪のみならず関西一円、さらには首都圏など全国各地で開催されたイベントでのステージやブー

ス出展を通じて、呼びかけを行いました（※詳細はP113参考資料「5.PR事業」を参照）。

（主な活動例）

○大阪マラソンEXPO（2017（H29）年11月）

11月24日～25日にインテックス大阪（大阪市住之江区）で開催された「大阪マラソンEXPO」（主催：大阪マラソン組織委員会）にて、万博誘致のブースを出展しPRを行いました。

11月26日の大阪マラソン当日には、インテックスプラザで会員登録の呼びかけや署名活動を行ったほか、ゴール地点付近では、沿道で声援を送られる方々に、誘致ロゴマークの入った小旗を配布し、マラソンのレースと同じくらい熱く、誘致機運を盛り上げていただきました。

この3日間で、約9,000名もの方から賛同の署名をいただきました。

大阪マラソンEXPO　万博誘致PRブース

○Asia Week 2018（2018（H30）年10月）

10月21日、立命館大学大阪いばらきキャンパス（茨木市）で開催された「Asia Week 2018」（主催：立命館大学）において、2025年大阪・関西万博の誘致PRブースを出展しました。

ブースでは、2025年の誘致を目指している大阪・関西万博のイメージ動画やパネル展示を行うとともに、万博誘致ステッカーや缶バッジ等を配布するなど、来る11月23日の開催国決定に向けて終盤戦に突入した誘致レースへの応援を訴えかけました。

夢洲で開催する万博会場の様子を360° VR映像で一足早く体感いただけるコーナーは、行列ができるほどの盛況ぶりで、世代を超えて多くの方に体験していただきました。

※2017（H29）年10月にも同イベントに出展

Asia Week 万博誘致PRブース

⑦決議・署名等の推進

誘致活動では、国内機運の高まりを数値で示すことにも取り組みました。特に、日本より先に立候補したフランスは、ホームページ上で10万人を超える賛同者が存在することを示していたため、日本での誘致機運の高まりについて、「他国を圧倒するほどの数値」で示すとの方針が立てられました。

この方針のもと、各団体における決議を推進するとともに、誘致委員会の会員登録、署名等による賛同者の獲得に取り組みました。

決議については、大阪府内の市町村だけではなく、全国の都道府県や関西地域の市町村、さらには地方6団体など行政団体への働きかけを行いました。特に、大阪府議会では、正副議長が中心となり、全国の都道府県議会を訪問し、決議の依頼を行いました。

この結果、全ての都道府県、大阪府内全市町村、地方6団体をはじめとする277団体から、決議のほか、請願や意見書の採択、有志議員による決意表明の形で誘致賛同の表明をいただきました。

経済界においても、2017（H29）年9月26日の日本商工会議所「第126回通常会員総会」で、全国各地の商工会議所の会頭ら約900人に賛同の呼びかけを行いました。

日本商工会議所第126回通常会員総会

賛同者の獲得方法については、誘致委員会の会員募集、イベントなどでの署名活動(名刺提供を含む)、企業従業員に対する働きかけ、SNSのフォロワーの拡大を中心に進めました。特に署名活動は、誘致委員会だけでなく、様々な企業・地方公共団体・団体で取り組んでいただきました。なお、署名の代わりに名刺を提供いただく手法については、全国の商工会議所をはじめ経済界を中心に、幅広くご協力いただきました。

また、大阪市では、誘致委員会の会員登録、手書き署名、名刺提供等の賛同者の獲得について、約730の団体等に対して会員登録をお願いしたほか、イベントや会合等の機会を捉えて依頼しました。賛同署名については、2017(H29)年９月からイベント等での活動を開始し、大阪市地域振興会をはじめとする自治会組織や地域団体のご協力を得て約13万7千件の署名が集まりました。

2018(H30)年3月にBIE調査団が来日した際には、賛同者数は107万人を数え、最終的には、134万2,815人にのぼりました。

賛同者数については、誘致委員会の日本語版・外国語版のホームページで随時発信しました。

また、法人・団体における誘致委員会の会員登録件数は、最終的に6,485件となりました。

いただいた署名(一部)

⑧市町村と連携した署名活動

市町村と連携した署名活動では、誘致委員会と大阪府が共同でキャラバン隊を結成して、主に大阪府内で開催されるイベントに出向き、2017(H29)年7月～2018(H30)年10月まで計71回、署名活動を展開しました。

(主な活動例)

○あじさいと軽トラ市

(2018(H30)年6月：羽曳野市)

6月17日に、道の駅・しらとりの郷(羽曳野市)で開催された「あじさいと軽トラ市 in 道の駅・しらとりの郷・羽曳野」において、主催者である羽曳野市のご協力のもと、万博誘致のPRと署名活動を行い、287名の方から万博誘致に対する賛同署名をいただきました。

万博誘致署名活動

⑨子どもの絵画展

国内における万博誘致の認知を高めるとともに、大阪・関西万博開催後の次世代を支える小学生の子どもたちに、未来社会の姿を考えてもらうことで、万博に対する興味・関心を育むた

め、2017(H29)年7月6日～9月30日にかけて「私が考える未来の社会」をテーマとする「私の考える万博絵画展」の作品募集を行いました。

全国から応募のあった2,194点の作品の中から、専門家が審査を行い、24点の受賞作品が選定されました。同年12月28日に、大阪府庁において受賞者24名の全員出席のもと、表彰式を行いました。

誘致委員会では、全国の小学生の皆さんが描いた「万博への夢」や「未来の社会」が描かれた絵画について、できるだけ多くの方に身近でご覧いただけるよう、2018(H30)年1月～11月(万博開催国が決定される直前)まで、大型商業施設、空港、図書館及び府内市町村など計32施設の展示会場を巡回して、すべての応募作品(計35回、延べ8,466作品)を展示しました。

また、誘致委員会のホームページでも電子データ化した24点の受賞作品に加え入賞作品102作品を掲載し、閲覧できるようにしました。

受賞作品表彰式

展示会場

作品募集案内チラシ

⑩WAKAZO等若い世代との連携

「若者の力でヘルスケアの課題を解決すること」を活動の軸に、新しい技術をヘルスケアに応用すること、また地域でリーダーシップを発揮することを通じて若手人材の育成に取り組む学生団体「inochi学生プロジェクト」。2016(H28)年12月、同団体が主催する「inochi学生フォーラム2016」にて、万博誘致に向け、中学生から大学生までの100個のアイデアをまとめた「2025大阪万博誘致 若者100の提言書」を松井知事に提出し、2017(H29)年2月には、国の検討会においてもこの提言書を発表しました(提言書はP107参考資料「3.若者100の提言」を参照)。

この提言書において、「2025日本万国博覧会基本構想案」(P33「(4)2025日本万国博覧会基本構想案」を参照)のテーマである「人類の健康・長寿への挑戦」を考える上で、「万博を通じてこれからの生き方を問いたい」「人々の価値基準を揺さぶるような強烈で根源的な『問い』がこれからの社会に必要だ」という強い信念を持ち、若者から声をあげ、若者の意見が積極的に取り入れられる万博としてほしいと訴えました。

そして、100の提言の中の1つのアイデアとして、若者万博検討会議「WAKAZO(若造)」が提案され、2017(H29)年5月には、若者たちの意見を集約するオンラインプラットフォームとして、「WAKAZO.ONLINE」のサイトが開設されました。

WAKAZO.ONLINE

2025年万博の主役となる世代である若者へのアプローチは誘致委員会としても重要な課題であり、また、若者が万博誘致に積極的に参画していることが、BIE加盟各国に向けても重要なアピールにつながることから、2018(H30)年3月にBIE調査団が大阪を訪れた際に、WAKAZOの活動内容やパビリオンのアイデアなどについてプレゼンテーションを行いました。

BIE調査団からは「海外からもメンバーが集まり、若者の繋がりや熱意に感心した」とのコメントがありました。

2018(H30)年3月　BIE調査団へのプレゼン

こうした活動を進める中で、2018(H30)年6月の第163回BIE総会では、WAKAZOのメンバーである京都大学生の川竹絢子さんが登壇しました。「『いのち輝く未来社会』を共創していくという2025年大阪・関西万博にとても共感しました。この動きを引っ張っていくのは、私たち若者です。」とスピーチし、日本の万博誘致に対する若者の賛同について、BIE加盟各国へアピールしました。

2018(H30)年6月　BIE総会 スピーチ

また、大学との連携を進めるために、73大学を訪問し、機運醸成への協力の依頼や会員登録の呼びかけを行うとともに、誘致実現後の産学連携による取組みに関する意見交換などを行いました。立命館大学や近畿大学では、講義の中で学生に対して誘致活動の取組み状況を説明し、学生自身がSDGsについて考察してもらうワークショップを行いました。

近畿大学でのワークショップ

⑪全国への誘致機運の広がり

誘致委員会では、全国で万博誘致実現に向けた認知から共感への輪を広げるため、首都圏を中心に様々なPR活動を展開しました。

ⅰ)都道府県東京事務所と連携した取組み

オールジャパンでの誘致活動を進めるため、東京事務所長会において、誘致に関する取組状況の報告や意見交換を行うとともに、各都道府県東京事務所の協力を得て、首都圏を中心とした誘致PR活動を展開しました。

- 開催回数：3回(2017(H29)年6月21日、11月13日、2018（H30)年1月16日)

具体的には、万博誘致の実現に向けて、全国

の都道府県が取り組んでいるという一体感を創出するとともに、インパクトのあるPR活動を行うため、東京都千代田区永田町にある都道府県会館に入居しているすべての都道府県において、ポスターの一斉掲示を実施しました。

- 都道府県会館における誘致PR
  実施期間：2018(H30)年1月15日～19日
  場　　所：都道府県会館地下1階
  　　地下鉄連絡通路PRコーナー
  内　　容：47都道府県のPR掲示版すべてに
  　　ポスターを掲示

都道府県会館内でのポスター一斉掲示

また、首都圏で全国の都道府県が主催する郷土色豊かなイベントなどで誘致活動を実施するなど、在住者のみならず旅行者などの多くの方に万博誘致の取組みについて目に触れてもらう機会を創出しました。

- 首都圏でのイベントにおける誘致PR
  実施件数：80件
  内　　容：のぼり、ポスターの掲出、
  　　チラシの配架など

近畿10府県と在阪鉄道事業者が主催するイベント
「かんさい魅力物語」

2万人を超す来場者数を記録した自転車競技イベント
「シクロクロス東京」

さらに、各道府県が地元特産品の販売や観光情報を発信する「アンテナショップ」には、地元にゆかりのある人が多く訪れることから、のぼりやポスターの掲出等を行い、全国各地の人に知っていただく機会を設けました。

- 都内の全国道府県アンテナショップにおける誘致PR
  実施箇所数：34ヵ所
  内　　容：のぼり、ポスターの掲出、
  　　チラシの配架など

各県のアンテナショップ

ⅱ）指定都市東京事務所等と連携した取組み

20市の指定都市東京事務所長が参加する指定都市東京事務所協議会役員会(毎月開催)において、誘致に関する取組み状況の報告を行い、意見交換を実施しました。

また、各指定都市東京事務所において万博誘致PRポスターを掲出するとともに、指定都市が首都圏で開催するイベントに万博誘致PRブースを出展しました。

• 首都圏でのイベントにおける誘致PR実施都市
横浜市・浜松市・京都市・堺市・神戸市

さらに、東京23区の各区役所では、庁舎への万博誘致PRポスターの掲示やチラシの配架をしていただくなど、東京都内での万博の認知度向上・誘致機運の醸成に、開催地決定までご協力いただきました。

ⅲ）首都圏で開催されるイベントへの出展

誘致委員会東京本部では、首都圏で行われている様々な集客イベントとタイアップし、誘致スペシャルサポーターのポケモンや人気お笑い芸人をお招きすることにより、万博の誘致活動を盛り上げました。

（主な活動例）

○お台場みんなの夢大陸2017（2017（H29）年8月）

東京・台場で開催されたフジテレビ主催イベント「お台場みんなの夢大陸2017」のステージにおいて、8月26日、大阪観光局の溝畑宏理事長、2025年大阪万博の検討会委員として構想づくりに携わられた澤田裕二氏、また吉本興業の漫才師「銀シャリ」によるトークイベントを行いました。

ステージでは、万博誘致を全国で盛り上げるため、誘致委員会への会員登録を呼びかけました。銀シャリからは、「大阪で万博をもう一度やってほしい。ぜひ行って見たい。」とのコメントがありました。

みんなの夢大陸　万博PRステージ

○東京味わいフェスタ2018（2018（H30）年10月）

10月6日と7日の2日間、東京都千代田区（丸の内・有楽町・日比谷）で開催された「東京味わいフェスタ2018」（主催：東京都、東京味わいフェスタ2018実行委員会）において、「2025大阪・関西万博誘致ブース」を出展し、万博誘致のPR活動を展開しました。

日比谷公園のPRブースでは、万博会場の雰囲気を体感いただけるVR体験コーナーや、「ポケモンEXPOタイプ診断」を行ってポケモンと一緒に万博誘致を応援いただくコーナーなどを設け、2025年の万博誘致をPRしました。

PRブースの前には、ピカチュウが応援に駆け付け、会場を盛り上げてくれました。

東京味わいフェスタ

○企業合同技術展示会
「COUNTDOWN SHOWCASE」（2018（H30）年9月）

9月26日～27日、東京都内で開催された企業合同技術展示会「COUNTDOWN SHOWCASE」（主催：経済産業省、オリンピック・パラリンピック等経済界協議会）において、万博誘致PRブースを設置し、誘致PRグッズ（チラシ、パンフレット、クリアファイル等）の配布や、プロモーション動画の放映に加え、会場イメージのVR体験会を行いました。

COUNTDOWN SHOWCASE 万博PRブース

○こども霞が関見学デー

毎年霞が関の府省庁が連携して、各種施策に対する理解を深めてもらうことを目的に開催される「こども霞が関見学デー」に、2017（H29）年度、2018（H30）年度の2年間、経済産業省の講堂で誘致PRブースを出展しました。

子どもたちに万博の魅力を伝え、理解を深めてもらうため、会場イメージ映像やBIE総会でのプレゼン映像を流しました。また、大阪を紹介したVRやポケモンタイプ診断などの体験ができるコーナーや、2005年国際博覧会（愛・地球博）で人気を博したモリゾーとキッコロのぬいぐるみを展示し、機運醸成につなげました。

ⅳ）全国キャラバン

誘致委員会では、BIE調査団の来日に向け、さらに全国各地での機運醸成を図るべく、全国を6つのブロックに分け、各地で開催される著名なイベント等に直接誘致委員会スタッフが出向いて誘致PRを行う「全国キャラバン」を2017（H29）年12月～2018（H30）年2月にかけて実施しました。

ブロック	都道府県	イベント等	実施時期
北海道	北海道（札幌市）	Christmas2017	2017（H29）年12月2日
東北	福島県（いわき市）	アクアマリンふくしま（水族館）	2018（H30）年2月4日
	岩手県（雫石市）	いわての雪まつり	2018（H30）年2月17日
東海	愛知県（常滑市）	忍者フェスティバル	2018（H30）年1月27日
北陸	石川県（穴水町）	雪中ジャンボかきまつり	2018（H30）年2月10日
中国	岡山県（岡山市）	おかやまテクノロジー展	2018（H30）年1月17日
九州	長崎県（長崎市）	長崎ランタンフェスティバル	2018（H30）年2月18日

全国キャラバン

⑫BIE調査団来日に向けたシティドレッシングの展開

2018(H30)年3月に行われる、BIE調査団の現地調査に合わせて、開催候補地である大阪・関西を中心に誘致ロゴマークを街中の様々な場所に掲出し、誘致実現への期待感や熱意を調査団に訴えかけました。

誘致委員会では、BIE調査団の訪問受入れのため、①大阪府咲洲庁舎への館内装飾(PRボードなど)の設置、バルーンモニュメントによるPR、②大阪市役所への横断幕の掲出、館内装飾(吊下げバナーなど)の設置、③御堂筋全域に加え、中之島通り、四ツ橋筋、土佐堀通りへの街頭バナー(446枚)の掲出を実施しました(御堂筋の一部では、2018(H30)年11月までバナー掲出を継続)。

その他、調査団の視察ルートであるリバークルーズ(中之島、湊町、道頓堀)の沿道に、「のぼり」(約540本)や横断幕(13枚)を設置するとともに、周辺の企業や商店街の方々などに協力をお願いし、誘致ロゴマークの入った小旗で調査団の来阪を歓迎しました。

首都圏では、調査団の移動ルートにあたる、①丸の内仲通りへのバナーの掲出、②東京国際空港での車用マグネットシートによるPR、③東京電力ビルへの横断幕の掲出を実施しました。

咲洲庁舎での館内装飾

咲洲庁舎でのバルーン設置

大阪市役所での
横断幕掲出、館内装飾

御堂筋での
街頭バナー掲出

中之島通りでの
街頭バナー掲出

四ツ橋筋での
街頭バナー掲出

第二章

土佐堀通りでの
街頭バナー掲出

リバークルーズ沿道での「のぼり」と横断幕の掲出
（八軒家浜／とんぼりリバーウォーク／湊町リバープレイス）

道頓堀でのドレッシング

東京電力ビルでの横断幕掲出

東京丸の内仲通りでのバナー掲出

(2)各種の広報・啓発物の作成と普及

①誘致グッズの作成

ⅰ)誘致ピンバッジ

万博誘致の実現に向けた取組みを効果的に推進するため、万博誘致ロゴマークを使用したピンバッジを製作し、誘致委員会関係者、協賛企業のほか、全国の機運醸成に向け、国会議員をはじめ各都道府県・政令市・関西地域の市町村等に配布しました（一部は、クラウドファンディングの返礼品として使用（詳細はP88「③クラウドファンディング」を参照））。

ピンバッジ
（製作数：約33万個）

ⅱ）缶バッチ

万博誘致の実現に向けた取組みを効果的に推進するため、世代を問わず幅広い方々に付けていただけるよう缶バッジを製作しました。また、全国の機運醸成につながるよう、各都道府県・政令市・関西地域の市町村等で開催された様々なイベントや署名活動で配布しました。

缶バッジ（製作数：約2万個）

ⅲ）ポロシャツ、ウインドブレーカー

万博誘致ロゴマークを使用したポロシャツ、ウインドブレーカーを製作し、誘致委員会の関係者を中心に有償頒布しました（一部は、クラウドファンディングの返礼品として使用）。

ポロシャツ
（製作数：
約6千枚）

ウインドブレーカー（製作数：約3千枚）

ⅳ）広報ツール

大阪・関西万博がめざすテーマやコンセプトなどを効果的に伝え、広く国内外の機運を醸成するため、様々な広報ツールを製作しました。主な製作物は次のとおり。

①ポスター……（約6万枚）
②会員募集チラシ……（約85万枚）
③リーフレット……（約5千枚）
④子どもチラシ【小学生向け・中高生向け】
……（約124万枚）
⑤クリアファイル（ポケモン、ハローキティ）
……（約3万枚）
⑥ステッカー（ポケモン、ハローキティ）
……（約16万枚）
⑦三角POP ……（約12万枚）
⑧ステッカー……（約9万枚）
⑨フラッグ（小旗）……（約7千枚）
⑩のぼり……（約4千枚）
⑪横断幕
⑫パネル
⑬デジタルサイネージ
⑭法被　　（　）は製作数

●ポスター（B1・B2）

第二章

●会員募集チラシ（A4）

●リーフレット（A3二つ折り）

●子どもチラシ（小学生向け／中高生向け）

●クリアファイル（ポケモン）

●クリアファイル（ハローキティ）

●ステッカー（ポケモン）

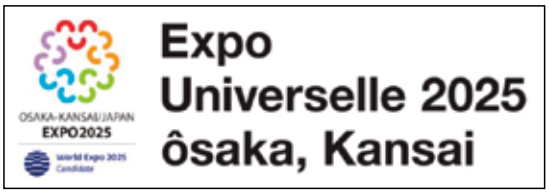
●三角POP

●ステッカー

●フラッグ(小旗)

●のぼり

●横断幕(日本語／英語／仏語)



●パネル「2025年万博会場イメージ」

●デジタルサイネージ

●法被

②ホームページ、SNSによる展開

ⅰ)誘致委員会公式ホームページ

大阪・関西がめざす万博の開催意義や理念、開催計画、著名人からの応援メッセージ、国・誘致委員会及び関係団体等による様々な誘致活動の取組みなどを、広く国内外に発信するため、2017(H29)年4月に誘致委員会の公式ホームページを開設しました。

また、2017(H29)年6月からは、誘致委員会の会員向けに、メールマガジンの発行を開始しました。

・公式ホームページ

https://www.expo2025-osaka-japan.jp/　（日）
https://www.expo2025-osaka-japan.jp/en/（英）
https://www.expo2025-osaka-japan.jp/fr/（仏）

・公式ツイッター

https://twitter.com/expo2025_japan　（日）
https://twitter.com/expo2025japan　（英）

・公式フェイスブック

https://www.facebook.com/expo2025japan/

・ホームページ実績

ユーザー(アクセス)数　約84万件
ページビュー数　約272万件
活動報告数　180件
(2017(H29)年4月～2018(H30)年12月)

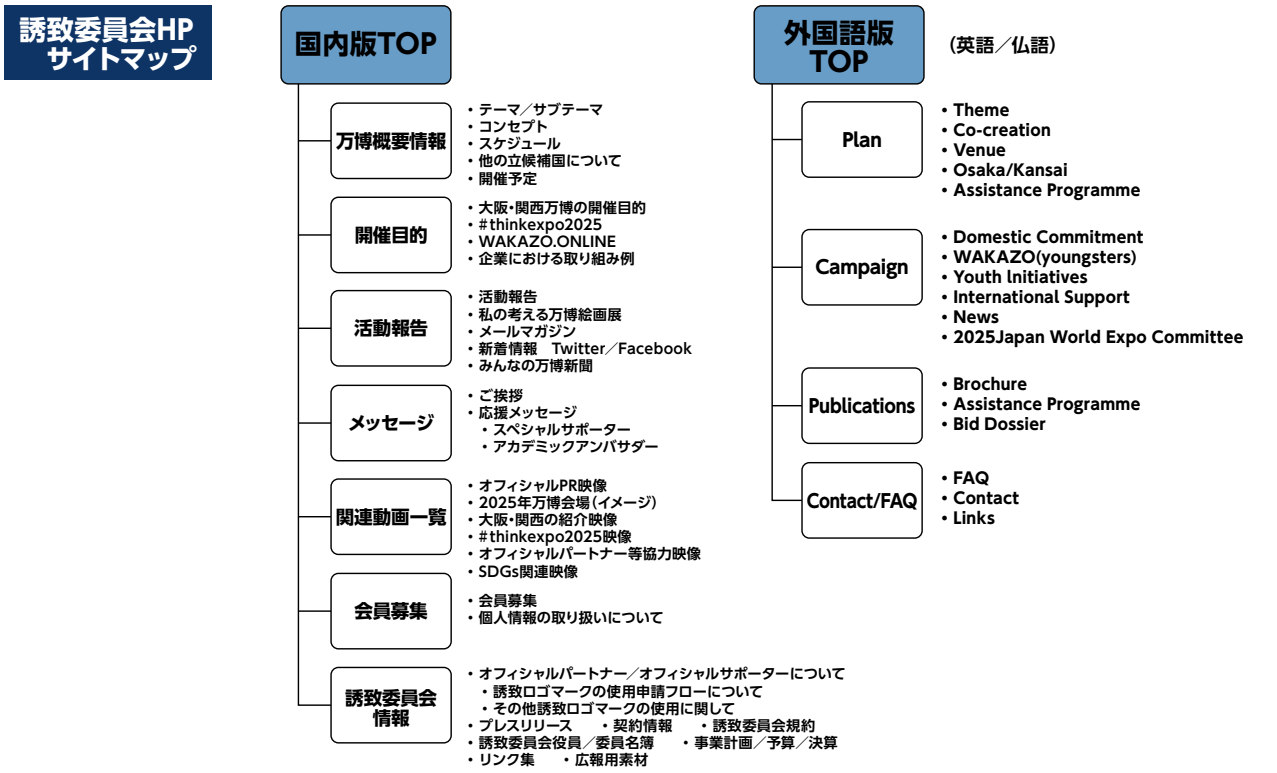
・メールマガジン発行数　49回
(2017(H29)年6月～2018(H30)年11月)

ホームページ画面

（英語版）

（仏語版）

ホームページの構成・コンテンツについては、次ページサイトマップのとおり。



ⅱ）SNSによるPR

2017（H29）年7月にTwitter（日本語）、同年10月にFacebook、2018（H30）年2月にTwitter（英語）を開始しました。Twitter（日本語）は全国の機運醸成を目的に運用し、政府関係者をはじめ文化人やタレントの方々など、多くの方にフォロワーになっていただきました。FacebookやTwitter（英語）は海外向けに英語で運用しました。

海外向けの2媒体は速やかに一定のフォロワー数を獲得するため、有料の記事広告配信を行いました。その結果、Facebookは約12万人、Twitter（英語）は約4,500人のフォロワーを獲得しました。

Twitter（日本語）では、著名人による誘致応援動画の掲載等により、インプレッション（表示件数）が約3,000万件に達しました。また、リツイート等によるプレゼントキャンペーンを実施したことで、1ツイート当たり平均30万件の拡散につながりました。

③動画を活用したPR

誘致委員会では、誘致プロモーションを進める上で、海外に向けて大阪・関西の良さを知っていただくことや、国内に向けて万博誘致の機運を高めることを目的に、大阪・関西の紹介動画や誘致応援動画を制作しました。

2017（H29）年7月には、国内での誘致PRを推進していくため、NMB48のメンバーに出演いただき、万博誘致を応援するPR動画を制作しました。

同年7月下旬～8月に、在阪の各鉄道事業者や関西エアポート（株）等のご協力により、大阪府内の主要駅や関西国際空港、野球場、航空機の機内など、様々な場所のデジタルサイネージ等で集中的にPR動画を放映することで、誘致活動の序盤において、開催候補地である大阪・関西での機運の盛り上げに大きく寄与しました。

甲子園球場（阪急阪神ホールディングス提供）でのデジタルサイネージ

あわせて、大阪・関西を紹介するPR動画を制

作し、誘致委員会のホームページに掲載するとともに、国内外で行う各イベントなどで万博誘致をPRする際に活用しました。

また、2018(H30)年6月には、ポケモンEXPOタイプ診断の制作・発表とあわせて、ポケモンのピカチュウと中川翔子さんや藤田ニコルさんが出演するPR動画を制作しました。

この動画は、タイプ診断の説明編と万博クイズ編の2バージョンを制作し、在阪の各鉄道事業者のデジタルサイネージ等で放映するとともに、全日本空輸(株)や日本航空(株)など航空会社のご協力のもと、国内線の機内モニター等でも放映されました。

同年8月には、誘致委員会が主体となり「2025年万博誘致応援動画をみんなで作ろう！プロジェクト」としてクラウドファンディングを実施し、万博誘致を願う市民等が出演する「万博誘致願掛けチャレンジ」動画を制作しました(詳細はP88「③クラウドファンディング」を参照)。

このような誘致委員会の制作動画とは別に、オフィシャルパートナーが独自に誘致PR動画を制作する動きも広がりを見せました。J:COM（(株)ジュピターテレコム)の「万博、見たいねん！」動画やアカネキカクの「万博ダンス」動画などは、万博誘致を応援する企業・団体が自主的に制作したものです。

誘致委員会では、これらの動画や経済産業省制作のプレゼンテーション動画をホームページ上で掲載するとともに、各イベントでの誘致PRの際に活用することで、万博の開催意義や万博誘致活動の盛り上がりを広く伝えました。

NMB48 EXPO2025PR映像

大阪・関西の紹介映像

ポケモンと万博誘致応援ムービー クイズ編

万博誘致願掛けチャレンジ
（クラウドファンディング制作動画）

万博、みたいねん！（J:COM）

万博ダンス（アカネキカク）

④記念切手の発売

2018（H30）年7月には、日本郵便（株）が幅広い年齢層の方々に対し、万博の誘致活動に興味を持って頂くことを目的に「大阪万博誘致オリジナルフレーム切手」を制作し、発売することになりました。

この切手の制作にあたっては、1970年に開催された大阪万博のファンも数多く存在することから、大阪府日本万国博覧会記念公園事務所の協力も得て、70年万博とコラボレーションしたデザインが採用されました。

（販売概要）

販売日：2018（H30）年7月24日から
販売数：3,000シート（82円切手10枚）
販売額：1シート1,300円（消費税込）
大阪府内の全郵便局（1,080局）で販売

切手シートデザイン

また、発売に先立ち大阪府庁において、日本郵便執行役員の荒若近畿支社長から松井知事（会長代行）に、大阪万博誘致オリジナルフレーム切手が贈呈されました。

大阪万博誘致オリジナルフレーム切手贈呈式

⑤りそなグループ万博応援ファンド

2017（H29）年12月、りそなグループ（（株）りそな銀行、（株）埼玉りそな銀行、（株）近畿大阪銀行）は万博誘致の支援に充てる融資商品「日本万博・SDGs応援ファンド」の取扱いを始めました。

このファンドは、万博支援を選択した借入人の借入額（私募債発行額）の0.1％を、りそなグループの銀行負担で寄附をする仕組み（全国版CSR私募債）です。

2018（H30）年5月までの半年間で、約480社の利用があり、誘致委員会に4,518万円が寄附されました。

寄附金贈呈式

⑥吉本興業による協力

国内での万博誘致に向けた機運を高めるため、吉本興業（株）に所属するタレントの方々にもご協力をいただきました。

とりわけ、ダウンタウンのおふたりには誘致委員会の誘致アンバサダーにご就任いただき、発足式典をはじめ、テレビやイベントに出演された際に誘致PRを積極的に行っていただきました。

また、桂文枝師匠や西川きよし師匠など、多くの所属タレントの方々にも様々な機会を捉えて誘致活動を盛り上げていただきました。

（誘致委員会のイベント等に出演いただいた主なタレント）

- 桂文枝
- 西川きよし
- 河内家菊水丸
- ダウンタウン（浜田雅功、松本人志）
- ハイヒール（リンゴ、モモコ）
- 木村祐一
- アジアン（馬場園梓、隅田美保）
- 銀シャリ（鰻和弘、橋本直）
- パンサー（菅良太郎、向井慧、尾形貴弘）
- NMB48（山本彩、白間美瑠、吉田朱里）

(3)著名人による発信

①著名人等の活用による国内機運の盛り上げ ― 万博誘致アンバサダー、スペシャルサポーター等 ―

万博誘致に向けた機運醸成を強力に進めるため、ダウンタウンや本田圭佑選手、山中伸弥教授など、万博誘致に賛同いただいた著名な芸能人やアーティスト、アスリート、学識経験者等のみなさんに、万博誘致の「アンバサダー」「スペシャルサポーター」「アカデミックアンバサダー」となっていただき、全国的に高い知名度や大きな発信力をもって誘致活動を盛り上げていただきました。

これら著名人のみなさんには、誘致委員会の発足式典や各種イベント、シンポジウムなどに参加いただくとともに、ご自身が出演するテレビ番組やSNS、取材等の様々な機会を通じて、万博誘致に向けた応援メッセージの発信や国民のみなさんに対する協力を呼びかけていただきました。

アンバサダー

- ダウンタウン（浜田雅功、松本人志）漫才師
- 中村鴈治郎　　歌舞伎俳優
- 片岡愛之助　　歌舞伎俳優

スペシャルサポーター

- akane　　振付師
- 赤星憲広　　野球解説者
- 朝原宣治　　北京オリンピック男子4×100mメダリスト、大阪ガス（株）所属
- ET－KING　　ミュージシャン
- 嘉門タツオ　　シンガーソングライター
- shya7　　ミュージシャン、ダンサー
- 瀬名秀明　　作家
- 寺川綾　　ミズノ（株）ミズノスイムコーチ
- 中川翔子　　歌手・女優
- ナタリー・エモンズ　　シンガーソングライター、女優
- 藤田ニコル　　モデル
- 本田圭佑　　サッカーワールドカップロシア大会日本代表
- 増田明美　　スポーツジャーナリスト、大阪芸術大学教授
- 森脇健児　　タレント
- ポケットモンスター
- ハローキティ

アカデミックアンバサダー

- 秋山弘子　　東京大学高齢社会総合研究機構特任教授
- 荒川哲男　　大阪市立大学学長
- 江原規由　　一般財団法人国際貿易投資研究所研究主幹
- 太下義之　　三菱UFJリサーチ＆コンサルティング芸術・文化政策センター主席研究員／センター長
- 嘉名光市　　大阪市立大学大学院工学研究科准教授
- 小泉武夫　　東京農業大学名誉教授
- 渋谷健司　　東京大学大学院医学系研究科保健政策学教室教授
- 田口隆久　　情報通信研究機構脳情報通信融合研究センター副研究センター長
- 中牧弘允　　国立民族学博物館 名誉教授、吹田市立博物館 館長

- 橋爪紳也　大阪府立大学21世紀科学研究機構教授
- 森下竜一　大阪大学大学院医学系研究科教授
- 山崎　亮　コミュニティデザイナー
- 山中伸弥　京都大学iPS細胞研究所所長／教授

アスタナ国際博覧会のジャパンデーを盛り上げる嘉門タツオ氏

みんなの未来フェスティバルのオープニングトークに出演する赤星憲広氏

「いのち輝く未来社会のデザインシンポジウム」にて、講演する山中伸弥教授

②万博誘致アンバサダー ダウンタウンの活動

2017(H29)年3月27日、誘致委員会の設立総会に続き、開催した発足式典では、万博誘致のムーブメントを日本全体に行きわたらせるべく、ダウンタウン(浜田雅功氏、松本人志氏)に万博誘致アンバサダーとして駆け付けていただきました。

翌日には、大阪・関西だけでなく、全国系列のテレビや新聞などで大きく取り上げられ、大阪・関西が万博誘致を進めていることなどを全国的にPRすることができました。

その後も、ダウンタウンの出演する番組に、松井知事(会長代行)や吉村市長(副会長)がゲスト出演した際には、万博誘致の話題に触れていただきました。

また、大阪のメインストリート「御堂筋」で実施された「御堂筋ランウェイ」にも、2年連続でダウンタウンが登場し、ステージでは、松井知事(会長代行)・吉村市長(副会長)ら関係者と息のぴったりあったトークを繰り広げ、会場は大いに盛り上がりました。

2018(H30)年11月4日に開催された御堂筋ランウェイでは、「いよいよ今月23日に開催国が決定します。是非大阪で万博が開催できるよう、皆さんも一緒にがんばっていきましょう！」とこの日集まった約40万人もの大観衆に呼びかけ、多くのメディアにも取り上げられました。

このように、誘致活動の発足時点に始まり、誘致活動の最終盤となる2018(H30)年11月まで、様々な機会を通して万博誘致に向けた国内の機運を大きく盛り上げるなど、誘致活動を強力に後押ししていただきました。

誘致委員会発足式典

御堂筋ランウェイ2017

御堂筋ランウェイ2018

③スペシャルサポーター 本田圭佑選手の協力（サッカー教室を通じた万博誘致PRの実施等）

大阪府出身であるプロサッカー選手の本田圭佑選手から、「万博誘致にぜひ具体的な協力をしたい」とのお話しをいただき、誘致委員会のスペシャルサポーターとして、万博誘致に様々なご協力をいただきました。

具体的な取組みの１つとして、本田選手がプロデュースし、大阪府で32校を展開する「SOLTILO FAMILIA SOCCER SCHOOL（ソルティーロ ファミリア サッカー スクール）」を活用して、万博誘致PRを行うことになりました。

大阪府内の幼稚園や小学校の子どもたちを対象に、ソルティーロ所属のコーチが無料の出張サッカー教室を開催し、スポーツの楽しさを伝えるとともに、誘致委員会のスタッフからは、「万博って何だろう？」や「いつ決まるでしょうか？」といった万博に関する説明やクイズを行いました。

このような活動は2018（H30）年2月から11月までの10か月間随時実施し、実施を希望された幼稚園・小学校（計18園・校）の延べ約1,200人の子どもたちを対象に、万博誘致PRを行いました。

徳庵愛和幼稚園

茨木市立豊川小学校

また、自らが以前訪れたミラノ万博の経験に基づき、「万博は世界中の人々と文化を知る良い機会だ」と発言されている応援メッセージ映像を誘致委員会のホームページに掲載しました。

2018（H30）年7月には、本田選手が大阪府庁を訪れ、松井知事（会長代行）、吉村市長（副会長）を表敬訪問し、6月に発生した大阪府北部の地震を受け、ロシアワールドカップ日本代表メンバーの有志にて集められた義援金と本田選手のユニフォームを贈呈されました。

このユニフォームと本田選手からのメッセージ映像は、多くの方に見ていただけるよう、同年7月から8月の間、大阪府庁や大阪市役所において展示しました。

本田選手表敬訪問

本田選手ユニフォーム展示(大阪府庁)

(4) #thinkexpo2025

大阪・関西万博では、「みんなで作り上げる万博」をスローガンに、一般市民の方々から企業(特に若手)、NPO、NGOさらにはソーシャルイノベーターなど様々な人たちが万博について主体的に捉え、考え、参加してもらうための仕組みとして「#thinkexpo2025」という枠組みをつくり、誘致段階からさまざまなプロジェクトを展開しました。

①未来社会デザイン会議

大阪・関西万博がめざすSDGsの達成に向け、企業の若手(概ね35歳以下)がその目標年である2030年のビジョンを描き、企業間、さらには行政やNGOなどセクターの垣根を越えた協創により、オープンイノベーションを起こす事業アイデアを提案しました。

2018(H30)年度は、アイデアの事業化に向けてより具体的に検討を深めるとともに、日本財団のソーシャルイノベーションアワード2018入賞に向けて取り組み、6チーム中3チームがファイナルステージに進出しました。

【2017(H29)年度】

- オリエンテーション
  11月18日　東京国際フォーラム B5ホール
- プレゼンテーション
  12月18日　経団連会館 国際会議場
- 参加企業(23社)
  大阪ガス(株)、オリックス(株)、
  キリンホールディングス(株)、
  (株)クボタ、コクヨ(株)、
  サントリーホールディングス(株)、
  住友化学(株)、住友商事(株)、
  住友電気工業(株)、
  損害保険ジャパン日本興亜(株)、
  ダイキン工業(株)、大同生命保険(株)、
  田辺三菱製薬(株)、東レ(株)、
  トヨタ自動車(株)、
  日本アイ・ビー・エム(株)、
  野村證券(株)、パナソニック(株)、
  (株)日立製作所、丸一鋼管(株)、
  三菱商事(株)、(株)村田製作所、
  (株)りそな銀行

2017(H29)年度未来社会デザイン会議

【2018（H30）年度】

- 5月31日、6月18日、7月3日、8月10日、9月19日（計5回）
  トラベル・ハブ・ミックス（東京都千代田区）
- 参加企業等（19社・団体）
  サントリーホールディングス（株）、
  田辺三菱製薬（株）、
  日本アイ・ビー・エム（株）、
  （株）村田製作所、（株）りそな銀行、
  （株）パソナグループ、アミタ（株）、
  大日本印刷（株）、
  （株）スマートバリュー、
  野村ホールディングス（株）、
  （株）モブキャストホールディングス、
  外務省、経済産業省、足立区、
  東京大学大学院、
  独立行政法人国際協力機構（JICA）、
  KDDI総合研究所、
  （株）ソーシャルキャピタル総合研究所、
  （株）トモノカイ

※太字は幹事企業
※下線はソーシャルイノベーションアワード2018
ファイナルステージ進出チーム（幹事企業）

2018（H30）年度未来社会デザイン会議２ND

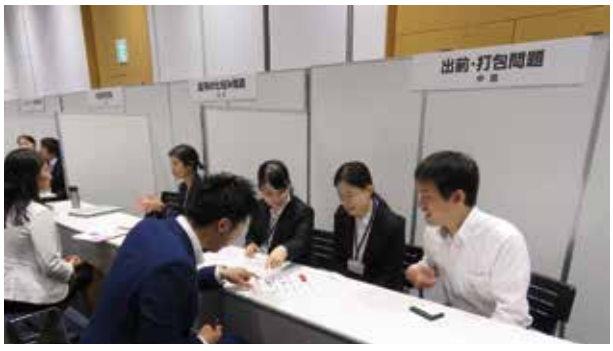
②SUCCESS-Osaka Future Design

関西に在学中の留学生が、母国の社会課題（SDGs）を研究し、それを解決するための事業アイデアを関西の企業のサポートのもとで考え、提案しました。

【2018（H30）年度】

- 留学生セミナー　5月14日、21日、29日
- 企業との連携　6月11日、27日
- 発表・表彰　8月25日
  （みんなの未来フェスティバル内）
- 検討テーマ（留学生の出身国）協力企業
  ○出前・打包問題（中国）
  キリンビール（株）
  ○水道水飲めない問題（台湾）
  西金属（株）
  ○雇用の仕組み問題（台湾）
  （株）パソナ、（株）りそな銀行
  ○農村部貧困問題（中国・四川省）
  ヤンマーホールディングス（株）
  ○大気汚染問題（韓国）
  （株）IDOM
  ○危険野菜同一価格問題（ベトナム）
  （株）アセアン・フォーカス
  ○水不足・汚染問題（中国）
  （株）クボタ

※太字は最優秀作品



SUCCESS-Osaka Future Designキックオフイベント

SUCCESS-Osakaとは

文部科学省委託事業「留学生就職促進プログラム」に採択され、関西大学、大阪大学、大阪府立大学、大阪市立大学を中心に産・官・学・金・地でコンソーシアムを組み、留学生の就職促進や定着を支援。

③みんなの未来フェスティバル

開催国決定の約100日前の万博誘致シンボリックイベントとして、2018(H30)年8月25日・26日の二日間、グランフロント大阪(大阪市北区)において、誘致委員会の主催で「＃think expo2025 みんなの未来フェスティバル」を開催しました。

メイン会場(ナレッジプラザ)では、大阪・関西万博が目指すSDGsの具体的な取組みについて、多くの民間企業・団体等の協力のもと、17のブースを設け、大人から子どもまで幅広い年齢層の方々に楽しく学んでいただける参加・体験型の様々な催しを開催しました。

また、会場中央で行われた2025年の未来に向けた願いや想いをメッセージシールに描いて、SDGsと同じ17色のカラフルな風船に貼って会場内に放つ「未来へ飛ばせ！ EXPO2025風船プロジェクト」には、開催二日間で2,000名を超える方々にご参加いただきました。

会場ステージでは、万博誘致にご協力いただいている個人や団体によるトークセッションやダンスパフォーマンス、プレゼンテーションなどが次々に行われ、観客も一体となって大いに盛り上がりました。またFM OH ！ (エフエム大阪)による公開収録ステージも開催され、オープニングには、松井会長代行と吉村副会長も出演しました。

その他、サブ会場でも、子どもたちによるロボットワークショップや新聞制作ワークショップ(協力：読売新聞)が開催されるなど、グランフロント大阪全体でイベントが展開されました。

また、隣接するうめきたUMEDAIガーデン(うめきた2期開発区域)の野外ステージでは、25日の夕方からダンスパフォーマンスや花火の打ち上げなどを行い、大いに盛り上がりました。

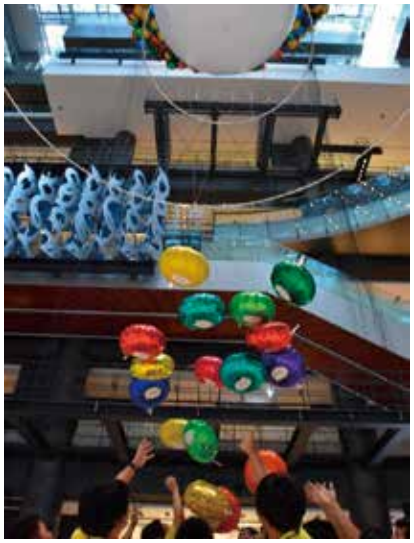
各会場とも、多くの参加者でにぎわい、二日間の来場者数は約1万3千人にのぼりました。

みんなの未来フェスティバル告知チラシ

来場者でにぎわうナレッジプラザ〈メイン会場〉

SDGs体験コーナー〈JICA関西〉

会場に放たれた風船がアートに〈メイン会場吹抜〉


未来へ飛ばせ！
EXPO2025風船
プロジェクト
〈メイン会場中央〉

FM OH! ウェルカモーン！ Special！〈オープニングイベント〉

ダンスのパフォーマンス〈うめきたUMEDAIガーデンステージ〉

④Social Innovator's EXPO for 2025 ～ 2025年の未来社会を考える3日間～

首都圏での万博誘致に向けたシンボリックイベントとして、日本財団の協力のもと、Social Innovation Weekの開催に合わせて、大阪・関西万博がめざすSDGsとソーシャルイノベーションを考えるシンポジウム等を行いました。

また、3日目には伝統河内音頭継承者の河内家菊水丸氏による盆踊りステージ「BON DANCE EXPO for 2025」を開催する予定でしたが、あいにくの雨のため、中止となってしまいました（開始後15分で中止を決定）。

日時：2018（H30）年9月15日～17日
場所：渋谷CAST、国連大学前広場

渋谷CAST GARDENでの誘致PRブース

実施会場・内容

ⅰ）渋谷CAST SPACE

スピーチ／パネルディスカッション

SDGsの目標年である2030年に向けて貢献する「ソーシャルイノベーション」の日本モデルを構築していくには何が必要なのか。その起爆剤としての2025年の万博に期待される可能性と求められる新たな社会の仕組みについて、ソーシャルイノベーターの取り組みを通じて見える課題や可能性などを元に、様々なセクターの視点から議論しました。

○9月15日

テーマ：Digital & Technology技術の進化が関わりを変える。

プログラム

（司会：2018ミス日本「海の日」 山田麗美）

- 基調講演

「SDGsに貢献する2025年万博開催を目指して」

経済産業省商務・サービスグループ
博覧会推進室長　武田家明
• キーノートスピーチ
「私たちはオープンデータで社会を変えられるのか？」
一般社団法人リンクデータ代表理事
下山紗代子
• 事例紹介
一般社団法人tonari　代表理事　川口良
NPO法人Ubdobe
代表理事　岡勇樹a.k.a ゆーく ※web登壇
• パネルディスカッション
一般社団法人リンクデータ
代表理事　下山紗代子
NPO法人Ubdobe
代表理事　岡勇樹a.k.a ゆーく ※web登壇
NPO法人Ubdobe　野呂ゆき乃
一般社団法人tonari　代表理事　川口良
一般社団法人tonari　福垣アリスン
モデレーター
(株)フューチャーセッションズ
代表取締役　野村恭彦

パネルディスカッション

○9月16日
テーマ：Platform新たな仕組みが地域を変える。
プログラム
(司会：2018ミス日本みどりの女神　竹川智世)
• 基調講演
「SDGsに貢献する2025年万博開催を目指して」
経済産業省商務・サービスグループ
博覧会推進室長　武田家明
• キーノートスピーチ
「一人ひとりのチカラが社会問題を解決する
～自走型社会づくりに向けて～」
(株)ボーダレスジャパン
代表取締役副社長　鈴木雅剛
• 事例紹介
Next Commons Lab ファウンダー　林篤志
NPOアスヘノキボウ
代表理事　小松洋介
• パネルディスカッション
(株)ボーダレスジャパン
代表取締役副社長　鈴木雅剛
Next Commons Lab ファウンダー　林篤志
NPOアスヘノキボウ
代表理事　小松洋介
キリン(株)CSV戦略部絆づくり推進室
バリューチェーンチーム主務 兼
BEER EXPERIENCE(株)
取締役副社長　浅井隆平
万博誘致スペシャルサポーター　中川翔子
モデレーター
(株)朝日新聞社
東京社会部記者　丸山ひかり

キーノートスピーチ

○9月17日
テーマ：Education System
教育システムで社会を変える。
プログラム
(司会：2018ミス日本グランプリ　市橋礼衣)
• 基調講演
「SDGsに貢献する2025年万博開催を目指して」
2025日本万国博覧会誘致委員会
事務局次長　永井隆裕
• キーノートスピーチ
「“未来の教室”で描く社会を変える学びの仕組み」
経済産業省商務･サービスグループ
サービス政策課長(兼)教育産業室長
浅野大介
• 事例紹介

学校魅力化プラットフォーム
　共同代表　岩本悠
日本教員多忙化対策委員会代表　浅谷治希
・パネルディスカッション
経済産業省商務・サービスグループ
　サービス政策課長(兼)教育産業室長
　浅野大介
学校魅力化プラットフォーム
　共同代表　岩本悠
日本教員多忙化対策委員会代表　浅谷治希
東京大学先端科学技術研究センター
　特任助教　福本理恵
モデレーター
(株)フューチャーセッションズ
　イノベーションプロデューサー　最上元樹
・総　括
公益財団法人日本財団
　常務理事　笹川順平

パネルディスカッション

ⅱ)渋谷CAST GARDEN

万博誘致PRステージ
○9月15日
ロボホン(RoBoHoN)ステージ
　シャープ(株)によって開発された第4世代移動通信システム対応のスマートロボットであるロボホンがダンスを披露し、万博誘致をPR。

ロボホンダンス

○9月16日
ピカチュウステージ
　万博誘致スペシャルサポーターであるポケモン(ピカチュウ)や中川翔子さんが登場し、万博誘致をPR。また、大阪に在住経験のあるシンガーソングライターで女優のナタリー・エモンズさんも駆けつけていただきました。

ピカチュウステージ

ⅲ)国際連合大学前広場

BON DANCE EXPO for 2025
○9月17日
　櫓/ステージを組み、ダンスや盆踊りのステージを実施。
　またキッチンカーなどの飲食ブース、万博誘致のPRブースなどを展開(雨天のため、ステージは15分で中止)。

BON DANCE EXPO for 2025

第4章　海外での支持要請

2017(H29)年の誘致委員会の発足当初、2025年国際博覧会(万博)の開催国はフランスとの一騎打ちとみられていましたが、その後、ロシア、アゼルバイジャンが立候補したことで、BIE加盟国の支持動向が複雑化しました。

そこで、海外での誘致活動については、国と連携しつつ、自治体、経済界などが有するあらゆるチャンネルや、国内外で開催される国際会議などの機会を効果的に活用し、万博開催テーマの意義や、日本、大阪・関西の魅力について理解を求め、支持を働きかけるという基本的な考え方に沿って展開していきました。

(1)パリにおける各国関係者への働きかけ

①BIE総会の機会を捉えた働きかけ

BIE事務局が置かれ、BIE加盟各国の政府代表等が集まるフランス・パリでの支持要請活動は、誘致活動において非常に重要でした。

パリでは、2017(H29)年4月の立候補表明文書提出から、2018(H30)年11月の開催国決定まで、BIE総会の機会などを捉え支持要請活動を行いました。

第163回、第164回BIE総会時には、1ヵ国でも多くのBIE加盟国に対し日本への支持を訴えるため、総会の数日前から現地入りし、国と連携しながら、行政・経済界出身役員等で構成する複数班での支持要請体制を整え、加盟各国の日本への支持状況や接触状況等に合わせた、戦略的な支持要請活動を行いました。

第163回BIE総会時には、立候補国レセプションを駐フランス日本国大使公邸にて開催し、来場されたBIE加盟各国の政府代表等に向けて個別支持要請を行いました。会場ではSDGs達成や共創につながる企業技術の展示、また日本の音楽家・書家によるパフォーマンスの紹介を通じて、大阪・関西万博の魅力を訴えました。和装された2018年準ミス日本の霜野莉沙(しもの りさ)さん及び誘致キャラクター特使であるハローキティとのフォトコールを設置し、好評を博しました。

フォトコール

企業技術の展示

第164回BIE総会での投票前日には、国、誘致委員会役員を総動員し、最後の支持要請活動を展開しました。

また、第164回BIE総会当日は、報道機関各社とも強い関心を持ち、パリで活動する日本の記者が50人を超えるなど、大規模な取材体制となりました。

(2017(H29)年)

- 立候補表明文書提出時(木寺駐フランス日本国特命全権大使による)
  日　　程：4月23日～27日
  出張役員：榊原会長、松井会長代行
- 第161回BIE総会時
  日　　程：6月12日～17日
  出張役員：榊原会長、松井会長代行、
  松本会長代行、吉村副会長
- 第162回BIE総会時
  日　　程：11月14日～19日
  出張役員：松井会長代行、松本会長代行、
  吉村副会長、尾崎副会長、
  早川副会長
  国会議員：竹本直一議連事務局長

(2018(H30)年)

- 第163回BIE総会時

日　　程：6月11日～16日
経済産業省：世耕弘成大臣
外 務 省：岡本三成大臣政務官
出張役員：榊原会長、松井会長代行、
松本会長代行、吉村副会長、
尾崎副会長、池田副会長
国会議員：竹本直一議連事務局長

- 第164回BIE総会時

日　　程：11月19日～25日
経済産業省：世耕弘成大臣、
磯﨑仁彦副大臣（BIE総会前の
支持要請のみ）
外 務 省：阿部俊子副大臣
出張役員：榊原会長、松井会長代行、
松本会長代行、吉村副会長、
尾崎副会長、黒田副会長、
池田副会長
国会議員：河村建夫議連事務総長、
竹本直一議連事務局長

パリ市内を循環した万博誘致PRバス

②Diplomatique Garden Party2018への参加

フランスの外交誌「La Lettre Diplomatique」の主催で、フランス革命記念日にあたる2018（H30）年7月14日に開催されたイベントに日本政府ブースを出展し、来場された在仏の各国大使館や国際機関の関係者に対して、外務省、経済産業省とともに誘致活動を行いました。

出展ブースでは、誘致パンフレット等を配布するとともに、誘致委員会からはお好み焼、大阪のお菓子、梅酒などを提供し、人気を博しました。中でもお好み焼は大好評であり、リピーターが続出する盛況ぶりで、食を通じて大阪・関西の魅力を来場者に直接伝えることができました。

ブースでのお好み焼の提供

また、経済産業省は、地図の上に立って大阪・京都・夢洲のいずれかを選択すると、それぞれの町並みや会場を実際に移動して観光しているような映像が流れる最先端のサイネージを展示し、体験された方の多くがサイネージに映し出された映像を背景に記念撮影をしていました。

KANSAI ROUND TRIPの展示

出展ブースでは、2018年ミス日本みどりの女神の竹川智世（たけかわ ちせ）さん、準ミス日本の霜野莉沙（しもの りさ）さんにお越しいただき、誘致活動へのご協力をいただきました。

2018年ミス日本みどりの女神・準ミス日本

会場では、誘致ロゴマークと誘致キャラクター特使であるポケモンをあしらった会場図を配したトートバッグに、同じく誘致キャラクター特使であるハローキティ団扇をはじめとした誘致PRグッズを入れて配布していましたが、予想を上回る早さで在庫が尽きるなど、大盛況のまま幕を閉じました。

配布バッグを持ち歩く来場者

③万博誘致フォーラム

日程：2018(H30)年10月8日～14日

10月9日に、パリの日本文化会館において、経済産業省の主催で、日本が提案する万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」に関するフォーラム及びレセプションが開催されました。

会場前では誘致キャラクター特使であるポケモンや、2018年ミス日本海の日の山田麗美(やまだ　れみ)さんに写真撮影等ご対応をいただき、BIE加盟国からの来場者より好評を得ました。

政府から関芳弘経済産業副大臣、阿部俊子外務副大臣が、誘致委員会から松本会長代行、吉村副会長、尾崎副会長が出席しました。

フォーラムでは、元BIE議長をはじめ、ヘルスケア、イノベーション及びSDGｓに関する有識者を交えたパネルディスカッションやWAKAZOによる万博に向けた世界の若者との共創についてのプレゼンテーション、建築家豊田啓介氏による会場構想に続き、尾崎副会長が大阪・関西の紹介を行い、日本が提案するテーマの意義や、万博開催地としての大阪・関西の適性を訴えました。

また、本フォーラムの機会を活用し、BIE加盟国政府関係者等に対する支持要請活動を実施しました。

(参　考)

【フォーラム次第】

- 関芳弘経済産業副大臣スピーチ
- ロセルタレスBIE事務局長スピーチ
- パネルディスカッション
  モデレーター(進行役)：榎原美樹氏(NHK)
  登壇者：
  オーレ・フィリップソン氏(元BIE議長)
  マーシャル・ル＝グリ・ストローム氏
  (FortunaFix(再生医療企業)共同設立者、Phoenix Solutions(株)取締役会会長)
  ダビド・マント氏
  (Skopaiチーフマーケティング・デベロップメントオフィサー、元French Techディレクター)
  ジェームズ・クリア氏
  (デロイトトーマツコンサルティング(株))
- 薬王俊成WAKAZO共同代表スピーチ
- 豊田啓介noizパートナー(建築家)
  会場計画についてのプレゼンテーション
- 尾崎副会長スピーチ

関経済産業副大臣、尾崎副会長によるスピーチ

パネルディスカッション

【日本政府主催レセプション次第】

- 阿部外務副大臣スピーチ
- 松本会長代行スピーチ
- 吉村副会長スピーチ

レセプションでのスピーチ

レセプション

④奈良・関西のつどい

2018(H30)年は日仏友好160周年であり、これを記念してフランスで日本文化を紹介する「ジャポニスム2018」が8か月にわたり、フランス全土で開催されました。

この一環で、奈良県が中心となり春日大社の「春日若宮おん祭」を出展することとなりました。この祭りには、関西経済連合会の松本会長(誘致委員会会長代行)ほか経済界からも多数の方が参加いただき、荒井奈良県知事とともに万博誘致のPRを行いました。

具体的には、10月22日に奈良県と関西経済連合会が、フランス政府関係者や各国BIE政府代表を招待した「奈良・関西の夕べ」において、誘致委員会が万博誘致PRブースを設置しました。このブースでは、SDGsへの貢献をアピールするため、協賛企業から提供いただいた大豆を原料とするチーズやジャーキーを試食いただくとともに、クラウドファンディングで制作した映像を放映しました(P88「③クラウドファンディング」参照)。また、来場者には誘致PRグッズを配布しました。

「奈良・関西の夕べ」会場

誘致PRグッズの配布

さらに、同日の日中にアクリマタシオン公園で開催された「ジャポニスム2018地方の魅力－祭りと文化」では、奈良県のブースにおいて、来場者に誘致PRグッズを配布し、万博誘致を訴えかけました。

⑤関西経済界によるBIE加盟各国への働きかけ

加盟各国の日本への期待として、政府間での貢献はもとより、民間企業等からの投資による貢献が非常に大きいことから、競合国にはない日本の強みとして、政府による働きかけに加えて、民間外交を積極的に行いました。具体的には、直接、海外でのビジネス経験の豊富な企業人2名が外務省の万博誘致特使として任命され、一人は政府代表が多く駐在するパリに常駐し各国大使への支援要請を行ない、もう一人は大票田であるアフリカ、中南米を中心に赴いて直接各国の閣僚等へ働きかけを行いました。

その後、パリ駐在者の交代がありましたが、3名で延べ140ヵ国以上に直接、支援要請を行うなど、民間外交の力を十分に発揮しました。

また、日本商工会議所と大阪商工会議所は連名で69の海外日本人商工会議所に万博誘致に向けた協力を呼びかけました。

⑥Financial Times(関西特集)

2018(H30)年6月のBIE総会を非常に重要なPRの機会と捉え、経済界独自のPR活動の一環とし

て、世界のエグゼクティブ層に最も読まれている「Financial Times（FT）」を活用し、関西の魅力をFT紙が独自取材し紹介する「Doing Business in Kansai」（4ページ）を別刷りし、本紙に挟み込む企画を実施しました。

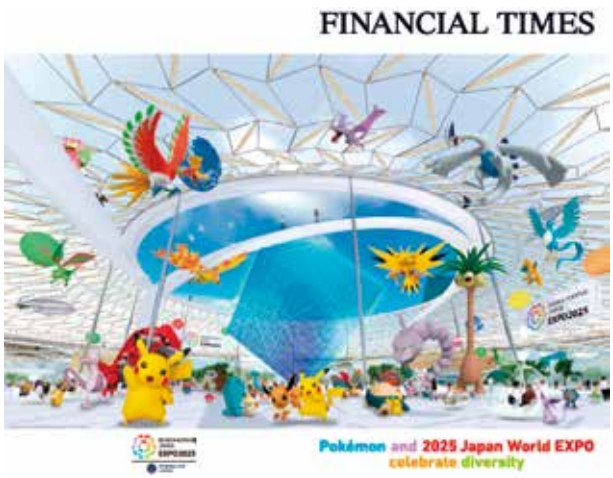
Doing Business in Kansaiの紙面

上記特集紙面の中では、編集記事のほか、日本を代表する企業を含め、数多くの企業が今回、この万博誘致活動を支援、応援していることをアピールするためのビジュアルを制作し掲出しました。さらにこの関西特集を別途増刷し、BIE総会の会場入り口やレセプション会場で配布し、各国政府代表に直接プロモーションを行ないました。

また、BIE総会の初日に合わせ、各国政府代表や関係者等が宿泊するパリ市内の様々な高級ホテルのロビー等に設置されるFT本紙の最も目立つ表紙に、万博会場のイメージ図が描かれた帯状（170㎜×322㎜）のカラー広告（両面）やポケモンが万博会場で楽しんでいるポスター（670㎜×560㎜）を本紙に被せて設置する特別プロモーション（カバーラップ）をFT紙とタイアップして実施し、高い注目を集めました。

Financial Timesカラー広告

Financial Timesカラーラップ



オリジナルポケモンポスター

⑦Euronews

2018（H30）年10月にヨーロッパ、中東、アフリカを中心に世界163ヵ国で放映されている国際ニュースチャンネルであるEuronewsの番組「METROPOLITANS」が、大阪・関西と万博誘致の動きについて特集した番組を特集制作し、フランスをはじめ世界中で放映しました。

ドローンで撮影した夢洲の様子、吉村副会長（大阪市長）や大阪の革新的な企業の１つである

マイクロ波化学(株)へのインタビューのほか、大阪の美しい街並みや、割烹料理など、ステレオタイプではない海外の目線から見た大阪・関西の魅力にフィーチャーした内容となりました。

番組キャプチャ
URL：https://www.euronews.com/2018/10/15/osaka-pulls-out-all-the-stops-to-win-the-2025-world-expo-race

(2)BIE加盟国本国等への働きかけ

①アスタナ国際博覧会の機会を捉えた働きかけ

2017(H29)年6月～9月の3か月間、カザフスタン共和国で開催されたアスタナ国際博覧会では、開催期間中に7回の官民合同ミッションを派遣し、万博の誘致PRを行いました。

ⅰ)開幕時

日　程：6月8日～12日

吉村副会長、尾崎副会長が同国際博覧会開幕式や日本館開館式に参加した機会に、アスタナに集まったBIE加盟各国政府代表等に対し、支持要請活動を行いました。

また、吉村副会長は、同国政府の要人でもある、イセケシェフ・アスタナ市長とも面会し、日本への支持を訴えました。

日本館開館式参加

ⅱ)ジャパンデー

日　程：7月20日～23日

松井会長代行、松本会長代行が、世耕経済産業大臣等とともに、ジャパンデーの機会を捉え、BIE加盟各国への誘致PRやBIE政府代表等に対する支持要請活動を行いました。

22日のジャパンデー当日は、大阪の魅力を発信するために、大阪から参加された多くのボランティアの方々によるパレードが行われ、松井会長代行や松本会長代行は、オープニングセレモニーでのテープカットの後に、パレードの列を先導しました。

その夜のアスタナ市内のホテルで行われたジャパンレセプションでは、会場があふれるほど来場された各国の要人に対して、日本の文化や食を体験いただきながら、大阪・関西の魅力や優位性等をアピールしました。

ジャパンデー・パレード

ⅲ)カリブデー

日　程：7月12日~7月17日

7月14日のカリブ共同体(CARICOM)のナショナルデーに合わせて誘致活動を行うため、誘致委員会の鈴木副会長及び大阪府の新井副知事が出張し、カリブデー式典やレセプションへの出席、アスタナ万博に参加しているBIE加盟国への働きかけ等を行いました。

BIE加盟国との意見交換

ⅳ）各国ナショナルデー

各国ナショナルデーの機会を捉え、国と誘致委員会が一体となって、支持要請活動を展開しました。

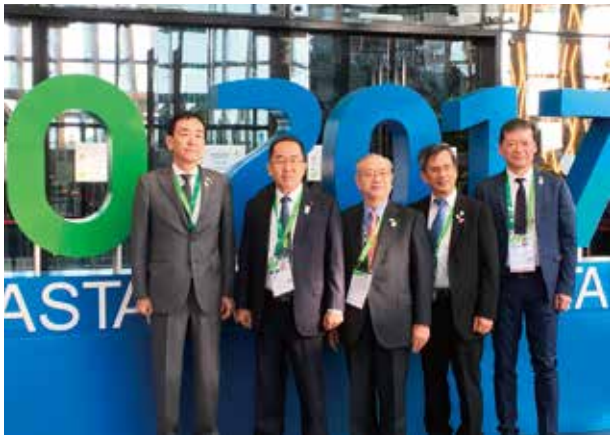
- サウジアラビアデー、マーシャル諸島デー
  日　程：8月19日～23日
  参加者：中根外務副大臣
  牧村関西経済連合会科学・技術イノベーション委員会委員長　ほか
- ケニアデー、ベトナムデー、ナウルデー
  日　程：8月27日～30日
  参加者：平木経済産業大臣政務官
  鈴木副会長　ほか
- ウズベキスタンデー、UAEデー
  日　程：9月4日～7日
  参加者：武藤経済産業副大臣
  横溝(株)東芝執行役常務(関西支社長)
  伊地田関西エアポート(株)専務執行役員・最高商業責任者(非空港担当)　ほか

ⅴ）閉幕式

日　程：9月8日～12日

9月10日の同国際博覧会の閉幕式典の機会を捉え、西銘経済産業副大臣とともに、地元行政・経済界から、新井大阪府副知事、西村貞一大阪商工会議所副会頭、植松弘成関西経済連合会国際委員会副委員長が出張し、誘致PR及び支持要請活動を行いました。

この出張で、6月の開幕から3か月間にわたる、アスタナ国際博覧会における誘致活動が終了しました。



カザフスタン館

②TICAD(アフリカ開発会議)閣僚会合

TICADは、日本政府が主導し、国連や、国連開発計画(UNDP)等と共同で開催される国際会議です。

BIEに加盟する170ヵ国のうち、アフリカ諸国は49ヵ国を占めます。そこで、アフリカ諸国の政府要人等が一堂に会する同会議の機会を捉え、2017(H29)、2018(H30)の各年において、次のとおり誘致PR及び支持要請活動を行いました。

ⅰ）2017(H29)年(モザンビーク共和国)

日　程：8月22日～27日

同閣僚会合には、アフリカ51ヵ国をはじめとする、多くの国や国際機関等が参加しました。

この出張には、吉村副会長のほか、経済界からもアフリカと関係の深い、鴻池一季大阪商工会議所常議員((株)鴻池組名誉会長)と、遠藤建世住友電装(株)執行役員SEWS-Cabind ITALY CEOにも同行いただきました。

8月24日は、同閣僚会合のサイドイベントで、吉村副会長がプレゼンテーションを行い、SDGs達成のフロントランナーとなることで、アフリカや世界の持続的成長と発展に貢献することや、大阪・関西の魅力や優位性等についてアピールしました。あわせて本会合に参加した各国の政府閣僚等への支持要請活動を行いました。

翌25日には、南アフリカ共和国に移動し、同国に駐在するBIE加盟各国政府関係者等に対し、日本への支持を訴えました。

プレゼンテーションを行う吉村副会長

ⅱ）2018（H30）年（東京）

同閣僚会合に外務省、経済産業省とともに参画し、榊原会長及び松井会長代行のプレゼンテーションや、同会合への参加国の閣僚・政府関係者とのバイ会談を通じて日本への支持要請を行うとともに、万博誘致ＰＲブースを設置しました。

プレゼンテーションでは、アフリカ各国からの参加者に対し、日本、大阪・関西の魅力を紹介するとともに、アフリカで活躍する日本企業の実績に触れながら、万博の開催を通じてアフリカの発展とSDGs達成への貢献を目指すことを訴えました。

各国要人とのバイ会談には、鴻池大阪商工会議所常議員にもご出席いただきました。

榊原会長、松井会長代行、鴻池常議員は、「2025年、日本・関西・大阪で、最大級のおもてなしの心をもって、世界中の皆様をお迎えしたい。」と、日本支持を訴えました。

万博誘致ＰＲブースでは、各国要人等にVR技術を体験いただくことで、日本の技術力の高さをPRしました。

日程：2018（H30）年10月6日
場所：東京プリンスホテル

TICAD閣僚会合　※写真提供：JETRO

ブースで説明を受けるTICAD参加者

③日アフリカ官民経済フォーラム（南アフリカ）

日程：2018（H30）年5月1日～6日

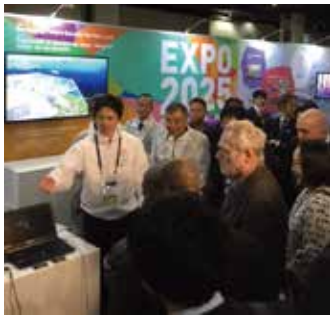
本フォーラムは、日本及びアフリカ各国政府、民間企業、国際機関が集まり、アフリカビジネスの可能性や課題について議論するものです。5月3日～4日、南アフリカ共和国のヨハネスブルクにおいて、日本と南アフリカ政府の共催で初めて開催されました。アフリカ各国政府の閣僚級28人をはじめ、多くの日本、アフリカ企業や国際機関等が参加しました。

TICADと同様に、アフリカ各国の政府要人等が一堂に会する機会であることから、吉村副会長のほか、経済界からアフリカで事業展開を行っている企業から、古川実大阪商工会議所副会頭（日立造船（株）相談役）と、岩倉真樹関西経済連合会会長付特別顧問（2025年国際博覧会誘致特使）が同行し、世耕経済産業大臣や岡本外務政務官などとともに支持要請を行いました。

5月3日に同フォーラムの開会式が行われ、その後の全体会合の場で、吉村副会長が出席者に対しプレゼンテーションを行い、技術移転、雇用創出などアフリカにおける持続可能な社会づくりに日本、関西系企業が貢献していることや、開発途上国が万博に参加できるよう、万博の開催前から開催後に至るまで経済的・技術的に支援を行うことなどを伝え、支持を訴えました。また、フォーラムの合間を縫って、フォーラムに参加したアフリカのBIE加盟各国の政府閣僚等に、日本への支持を要請しました。

このほか、フォーラム会場の中に万博誘致PRブースを設け、ARを活用した会場模型の展示、生け花VR体験、大阪・関西紹介動画の放映や、パンフレット等を配布し、ブースを設置した5月3日～4日の2日間で、約300人に来ていただきました。

プレゼンテーションを行う吉村副会長



ブースで説明を受ける
TICAD参加者

④世界万博ミュージアム開会式

2018(H30)年4月下旬、BIEから5月11日に国際博覧会博物館(WEM)の開館式及びWEM・BIE主催で開かれる「万博遺産―国際博覧会の展覧コレクション」の公開記念式典への招待があり、新井大阪府副知事が経済産業省とともに一連の行事に出席しました。式典には、同館のホン・ハオ理事長、ケルケンツェスBIE事務局次長、上海市政府関係者等が出席しました。

WEMは、国際博覧会に特化した、BIE公認の唯一の公式博物館兼公文書館で、上海市中心部の川沿いに設置されたものです。

(参考：WEMについて)
- 展示施設：8つの展示ホールと3つの臨時展示ホールがある
- 開館時間：9時～ 17時(月曜日休館)
  入館無料
- 各ホールでの主な展示内容
  - 第1 ～第4：1851年から2008年までの万博の歴史を展示
  - 第5 ～第7：2010年開催の上海万博について上海万博の決定から工事、開幕、閉幕までの資料を展示
  - 第8　　：2010年以後に開催された万博のコンセプトや未来の万博の情景などを展示

世界万博ミュージアム

⑤持続可能な開発に関するハイレベル政治フォーラム(ニューヨーク)

日程：2018(H30)年7月15日～ 19日

本フォーラムは、SDGsの実施に関し、2015(H27)年に採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の国際的なフォローアップのため国連において開催されるものです。

このフォーラムの機会を捉え、岡本外務大臣政務官と吉村副会長が同フォーラムにおけるレセプションでプレゼンテーションを行い、出席した国連等の国際機関の関係者や各国代表等に対し、SDGｓ達成に貢献する万博の意義、大阪・関西におけるSDGｓの取組みや、開催地としての適性等について訴えたほか、ニューヨークに駐在するBIE加盟各国の国連代表部関係者等に対し、日本への支持要請を行いました。

また、レセプション会場には、万博誘致PRブースを設置し、パンフレットや誘致PRグッズの配布、自分に合ったSDGsの目標を見つけられるキャンペーンサイト「ポケモンEXPOタイプ診断」の体験も実施しました。

レセプション会場

⑥エグゼクティブアドバイザー

誘致委員会では、BIE加盟各国への働きかけを強力に進めるため、民間人による誘致特使に加えて、世界中にネットワークを形成し、各国とも関係を構築している商社等の協力のもと、各社の駐在代表など50ヵ国68名をExective Adviserとして任命しました。現地日本大使館とも連携しながら、重層的に機会を捉えて日本が官民一体となって取り組んでいることをアピールするなど、様々な角度から万博の日本開催に向けて支持要請活動を行いました。

⑦松井会長代行ミッション

開催国決定の投票が間近に迫り、競合国による攻勢を強める動きが激しさを増す中、BIE加盟国への支持要請活動を目的に、松井会長代行及び黒田経済産業省2025年国際博覧会統括調整官が欧州及びアジアの国々を訪問しました。欧州には、経済界から村尾関西経済連合会副会長が同行しました。

ⅰ）欧州（ハンガリー、デンマーク王国及びイタリア共和国）

日程：2018（H30）年9月9日～16日

・出発時

当初は、発着とも関西国際空港の利用を予定していましたが、9月4日の台風21号の影響により同空港から出発ができなくなる事態が発生しました。しかしながら、開催国決定投票を控えた重要な局面であることから、中部国際空港に移動し、代替便での出発となりました。

・各訪問国での活動

欧州諸国では、政府の決定に際して、自国に貢献している企業などの意見を考慮する傾向にあることから、日本企業の欧州現地法人の方々には、現地滞在中、早朝から夜遅くまで過密なスケジュールにもかかわらずご協力をいただきました。このような後押しもあり、より効果的な支持要請活動に繋がりました。

（参　考）

・各国への訪問日程

月日	行　程
9月 9日	中部国際空港発、ブダペスト着
10日	ハンガリーでの支持要請活動等 （政府関係者との面会等）
11日	ブダペスト発、コペンハーゲン着
12日	デンマークでの支持要請活動等 （政府関係者との面会等）
13日	コペンハーゲン発、ローマ着
14日	イタリアでの支持要請活動等 （政府関係者との面会等）
15日	ローマ発
16日	関西国際空港着

現地で同行いただいた経済界の方々

- ハンガリー：柏原 孝穂 氏
  SEWS-Components and Electronics Europe,Kft社長
- デンマーク：小澤 修 氏
  在大阪デンマーク王国名誉領事館 領事代理
  （サントリーホールディングス㈱大阪秘書室専任課長）
- イタリア：遠藤 建世 氏
  （SEWS-CABIND S.p.A社長）

ⅱ）アジア（マレーシア、パキスタン・イスラム共和国）

日程：2018（H30）年10月29日～11月2日

・各訪問国での活動

当初は、マレーシアでの支持要請活動は10月30日、パキスタンでの活動は11月1日～2日までの予定でした。

しかし、マレーシアからパキスタンに移動する10月31日午後（日本時間）に、同国内で大規模なデモ等が発生する可能性があるとの情報が入りました。

安全を最優先にすれば、帰国すべきとの判断もありましたが、安全面での最大限の配慮を行ったうえで、支持要請活動を続行しました。ただし、予定より1日早い11月１日に現地での活動を終え、帰国の途につきました。

この出張においても、日本企業の現地法人の方々に同行いただき、政府関係者に対して、日本への支持を要請することができました。

（参　考）

• 各国への訪問日程

月日	行　程
10月29日	関西国際空港発、クアラルンプール着
30日	マレーシアでの支持要請活動等（政府関係者との面会等）
31日	クアラルンプール発、イスラマバード着
11月 1日	パキスタンでの支持要請活動等（政府関係者との面会等）イスラマバード発
2日	関西国際空港着

現地で同行いただいた経済界の方々

- マレーシア：
  定元 威一郎 氏（豊田通商マレーシア社長）
  武藤 裕之 氏
  （パナソニックマレーシア（株）副社長）
- パキスタン：
  安藤 公秀 氏
  （三菱商事（株）理事・パキスタン総代表）
  伊藤 慎悟 氏
  （豊田通商（株）カラチ・ラホール事務所長）

⑧経済産業副大臣等による支持要請への同行

政府、地元自治体、経済界の三位一体となった誘致活動をアピールするため、2018（H30）年7月～10月にかけて、経済産業省副大臣、政務官のBIE加盟国への訪問に地元行政、経済界からも同行し、ともに支持要請活動を行いました。

• 同行した支持要請一覧

行先	日程	主なメンバー
アフリカ	2018（H30）年7月	大串 経済産業大臣政務官 柏木 大阪市経済戦略局長　ほか
アフリカ	2018（H30）年8月	武藤 経済産業副大臣 新井 大阪府副知事 岩倉 2025年国際博覧会誘致特使　ほか
カリブ	2018（H30）年9月	平木 経済産業大臣政務官 新井 大阪府副知事 田中 大阪市副市長 ほか
欧州	2018（H30）年10月	関 経済産業副大臣 柏木 大阪市経済戦略局長　ほか
欧州	2018（H30）年11月	石川 経済産業大臣政務官 ほか
欧州	2018（H30）年11月	滝波 経済産業大臣政務官 岩倉 2025年国際博覧会誘致特使　ほか

⑨各国BIE政府代表へのメールマガジン配信

2018（H30）年6月～11月、経済産業省は月に2回程度各国のBIE政府代表にメールマガジンを配信し、大阪・関西万博の内容や、最新情報を伝えました。

号	内　容
1	大阪・関西万博の概要、第163回BIE総会の結果概要
2	テーマについて
3	会場計画について
4	参加国支援について
5	大阪・関西の魅力（歴史、文化）
6	大阪・関西の魅力（ライフサイエンス）
7	WAKAZOからのレター、WAKAZOへのインタビュー
8	過去に日本で開催した万博のレガシー

9	万博誘致フォーラム及びレセプションの結果概要
10	最後のお願いメール（世耕経済産業大臣名で配信）
11	お礼メール（世耕経済産業大臣名で配信）

（3）国内における各国関係者への働きかけ

①ASEAN経済大臣歓迎昼食会

ASEAN設立50周年を祝して、経済産業省主催の「ASEAN経済大臣ロードショー」が2017（H29）年4月6日～9日までの日程で開催されました。

8日には、ASEAN特別経済大臣会合が大阪で開催されることから、この機会を捉え誘致委員会主催の歓迎昼食会を開催しました。

昼食会の場では、松井会長代行がプレゼンテーションを行い、誘致をめざす万博の開催意義や、大阪・関西の魅力などをアピールしました。

日　程：2017（H29）年4月8日
出席者：
ASEAN10ヵ国の経済大臣、ASEAN事務総長
世耕経済産業大臣
松井会長代行、森会長代行、吉村副会長、
蔭山副会長、西村大阪商工会議所副会頭
場　所：帝国ホテル大阪
次　第：
歓迎挨拶（松井会長代行）
挨拶（ASEAN側代表
リム・ジョクセン ブルネイ第二外務貿易大臣）
挨拶・乾杯（森会長代行）
プレゼンテーション（松井会長代行）
挨拶（吉村副会長）
写真撮影

写真撮影

②第8回太平洋・島サミット（PALM8）歓迎レセプションでのPR

2018（H30）年5月17日、東京都内で開催された第8回太平洋・島サミット（PALM8）歓迎レセプションにおいて、経済産業省、外務省と連携して誘致PRブースを設置し、協賛企業から提供いただいたSDGsに貢献する食材をレセプション参加者に試食していただいたほか、万博会場の模型展示や会場のVR体験による誘致PR活動を行いました。

［参考］
レセプションに参加したPALM8参加国・地域の首脳等（出典：外務省HP）

（1）サモア独立国：
　トゥイラエパ・ファティアロファ・ルペソリアイ・サイレレ・マリエレガオイ首相兼外務貿易大臣（PALM8共同議長）
（2）パラオ共和国：
　トミー・E・レメンゲサウ・Jr. 大統領
（3）ナウル共和国：
　ミルトン・ロス・ドゥベ外務・貿易副大臣
（4）ミクロネシア連邦：
　ピーター・マーティン・クリスチャン大統領
（5）マーシャル諸島共和国：
　ヒルダ・C・ハイネ大統領
（6）キリバス共和国：
　ターネス・マーマウ大統領兼外務・移民大臣
（7）フィジー共和国：
　ファイヤズ・コヤ産業・貿易・観光・土地・鉱物資源大臣
（8）クック諸島：
　ヘンリー・プナ首相兼外務・移民大臣

(9) パプアニューギニア独立国：
リムビンク・パト外務貿易大臣
(10) バヌアツ共和国：
シャーロット・サルワイ・タビマスマス首相
(11) ソロモン諸島：
リック・ホウエニプウェラ首相
(12) ニューカレドニア：
フィリップ・ジェルマン自治政府大統領
(13) ニウエ：
ポコトア・ラロトア・シペリ首相代行 兼
インフラ大臣
(14) トンガ王国：
セミシ・キオア・ラフ・シカ副首相 兼
社会基盤・観光大臣
(15) 仏領ポリネシア：
ヘレモアナ・マーマートゥアイアフタプ文化・
環境・手工業大臣兼言語促進・コミュニケー
ション担当大臣

③駐日大使館向け説明会（東京）

各国の駐日外交団は、本国への情報の伝達という役割とともに、その報告が本国政府の意思決定に影響を及ぼすという意味で、重要な存在です。

そのため外務省では、各国大使をはじめとする外交団に、万博の日本誘致に関する理解を深めていただくため、説明会を開催しました。説明会では、経済産業省及び誘致委員会から、日本がめざしている万博の構想や開催候補地である大阪・関西等について説明するとともに、テーマである「いのち輝く未来社会」を各国とともに創造するために協力していきたい旨を訴えかけました。

出席した外交団からは、BIEの選挙プロセスやSociety5.0等、日本が掲げるテーマ及びコンセプトに関する質問がありました。

第1回として開催された駐日アフリカ外交団向け説明会後には、駐日アフリカ外交団長である駐日エリトリア大使をはじめアフリカ外交団を集めたレセプションが行なわれました。

また、第3回は外務省が開催する中南米諸国グループ（GRULAC）在京大使との意見交換会の場を活用し、経済産業省及び誘致委員会から万博の概要及び開催の意義について説明し、中南米諸国外交団への理解獲得を図りました。

（第1回）
日　時：2017（H29）年6月28日
場　所：外務省
出席者：駐日アフリカ外交団長である駐日エリトリア大使をはじめ、36ヵ国の駐日アフリカ外交団

（第2回）
日　時：2017（H29）年7月19日
場　所：外務省
出席者：駐日大使及び外交団約90名

（第3回）
日　時：2017（H29）年11月21日
場　所：外務省
出席者：中南米諸国グループ（GRULAC）16ヵ国の在京外交団

④駐日大使向け説明会（大阪）

日本のめざす万博の姿についてより深く理解していただくため、BIE加盟各国の駐日大使等を大阪に集めて、会場予定地の夢洲で説明を行うとともに、誘致関係者との懇談の機会を提供する場として、外務省と誘致委員会の共催で駐日大使向けの説明会を開催しました。

この説明会では、駐日大使及び代理の駐日各国大使館員を大阪にお招きし、日本がめざす万博の会場構想や、大阪の都市魅力、70年万博のレガシーなどについて説明することで、BIE加盟各国の理解促進を図りました。

（第1回）
日　程：2018（H30）年6月29日
出席者：駐日大使館 30ヵ国、31人
うち大使16人
ホスト：誘致委員会 松井会長代行、
松本会長代行、尾崎副会長、
外務省　岡村誘致特使、石川関西担当大使、中村誘致特使
行　程：会場予定地の夢洲を大阪府咲洲庁舎から見学、会場計画等説明（大阪府咲洲庁舎）
夢洲視察
レセプション（大阪市内ホテル）
クルーズ（道頓堀川～東横堀川～大川）
日本万国博覧会記念公園の太陽の塔の内部見学

（第2回）
日　程：2018（H30）年7月11日
出席者：駐日大使館 29ヵ国、30人
　　うち大使14人
ホスト：誘致委員会 松本会長代行、
　　吉村副会長、古川大商副会頭
　　外務省　石川関西担当大使
行　程：第1回に同じ

駐日大使向け説明会

太陽の塔を視察する駐日大使

⑤在関西領事館への働きかけ

大阪・関西に設けられた60を超える国の（総）領事館と名誉領事館は、本国への現地情報の報告や、日本と当該国との架け橋を担っており、（総）領事、名誉領事からの情報が、本国政府の意思決定に影響を及ぼすという意味で、重要な存在であることから、在関西領事団に対する意見交換や説明の機会を設け、大阪・関西万博についての理解を深めました。

ⅰ）在関西総領事等と大阪府・大阪市との意見交換会

定期的に実施している大阪府・大阪市と在関西（総）領事との意見交換の機会を活用し、誘致にかかる取組みや、第162回BIE総会での日本のプレゼンテーション概要について説明を行いました。引き続き開かれた交流会では、それぞれ活発な質問や意見交換がなされました。

日　程：2017（H29）年11月27日
出席者：13ヵ国の（総）領事、外務省、松井知事（会長代行）、松本関西経済連合会会長（会長代行）、吉村市長（副会長）
場　所：ミライザ大阪城
次　第：
- 主催者開会挨拶（松井知事、吉村市長）
- 来賓挨拶（インドネシア総領事）
- プレゼンテーション「大阪の都市魅力向上のための取組み」（岡本大阪府府民文化部長、柏木大阪市経済戦略局長）
- プレゼンテーション「2025万博誘致にかかる取組み」（柏木大阪市経済戦略局長）
- 大阪の施策・取組みについてのコメント（松本関西経済連合会会長）
- 質疑応答・意見交換
- 交流会

ⅱ）2025年国際博覧会大阪誘致説明会

在関西（総）領事及び名誉領事を対象に、日本が開催をめざす万博について、会場予定地である夢洲の視察に加え、そのコンセプトや官民一体で取り組んでいる誘致活動を説明するとともに、誘致関係者との懇談の場として、外務省主催の説明会を開催しました。

日　程：2018（H30）年3月22日
出席者：約30ヵ国の（総）領事、名誉領事、外務省、経済産業省、誘致委員会、大阪府、大阪市、経済界など
場　所：ハイアットリージェンシー大阪
次　第：
- 夢洲の現地視察、会場計画等説明
- 説明会
  挨拶（鈴木誘致特使）
  2025大阪・関西万博に関するプレゼンテーション（武田経済産業省博覧会推進室長）
  誘致委員会の取組概要の説明
  （櫟誘致委員会事務総長）
- 交流会（石川関西担当大使主催）

⑥各国要人来阪の機会を捉えた働きかけ

各国政府閣僚など要人の来阪の機会を捉えて、大阪・関西万博についてPRするとともに、支持要請活動を行いました。

支持要請に際しては、地元自治体である大阪府、大阪市への表敬のほか、大阪で開催される各国の記念行事等の機会も活用し、大阪府咲洲庁舎でのプレゼンテーション、会場候補地である夢洲の視察などを行いました。

2018(H30)年における働きかけの例としては、次の国があります。

○モロッコ王国
2018(H30)年4月6日
ラシャッド・ブフラル駐日大使

○ウガンダ共和国
2018(H30)年6月7日
サム・カハンバ・クテサ外務大臣

○ラオス人民共和国
2018(H30)年7月12日
ペット・ポムピパック首相府長官兼首相付大臣

○マルタ共和国
2018(H30)年8月1日
※経済ミッション団　約40名

○アルゼンチン共和国
2018(H30)年8月8日
アラン・クラウディオ・ベロー駐日大使

○中華人民共和国
2018(H30)年9月28日
※同国建国69周年祝賀レセプション

○パナマ共和国
2018(H30)年10月18日
マリア・ルイサ・ナバーロ外務次官

○フランス共和国・ヴァルドワーズ県
2018(H30)年11月2日
マリ＝クリスティーヌ・カヴェッキ　同県議会議長

⑦パンフレット、誘致グッズ

海外での支持要請活動等に際し、相手国に対し大阪・関西万博のテーマ、コンセプトなどを分かりやすくアピールするとともに、大阪・関西、日本を知っていただくため、各種のパンフレットやグッズを外務省・経済産業省とともに作成し、主に海外において活用しました。

万博パンフレット
※英･仏･スペイン･アラビア･ロシア･ポルトガルの6か国語

付属シール

クリアホルダー

キャラピンバッジ

カレンダー

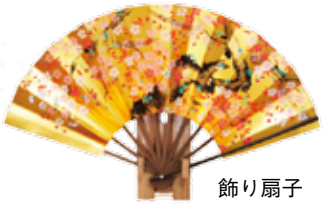
USB

ぬいぐるみ

錫タンブラー

天満切子

ハンドタオル


飾り扇子

紙袋

ポーチ

団扇

フリクションペン

エコバック

トートバッグ

ほか日本各地の伝統工芸品など

第四章

第5章　市民活動

市民活動のあらまし

国際博覧会(万博)の誘致活動において、国内機運の醸成に大きく貢献したのが、市民レベルによる自主的な活動でした。

このことは、万博の誘致活動を厚みのあるものとしただけではなく、万博開催に向けて、その誘致段階における主体的な取組みと実績が活力あふれ、国民の誰もが参加できる万博実現への萌芽となる重要なものです。

具体的には、自主的に万博誘致応援に取り組む団体によるイベントの開催や、高校生やアーティストによる万博ソングの制作・実演、プロのダンス集団による万博ダンスの創作、プロモーションビデオづくりなどそれぞれが得意とする分野でご協力をいただきました。

また、大阪の繁華街である「ミナミ」地区を中心に、イベントでのPRや、モニュメントの製作、開催地決定の中継会の実施など、市民の手で万博を世界に向けて発信していただきました。2018（H30)年3月のBIE調査団来日時には、市民5,000名以上が歓迎を行いました。特に、道頓堀ではあいにくの雨の中にもかかわらず、市民約3,000人が1時間以上も待機し、BIE調査団に向けて万博の誘致ロゴマークの入った旗を振って歓迎しました。

さらに、クラウドファンディングを活用し、「『2025万博誘致応援動画』をみんなで作ろう！」と題して、制作支援サポーターを募集したところ、目標の50万円を遥かに超える195万5千円(支援者294名)が集まりました。

市民活動は、万博誘致委員会の活動に呼応しながら、独自の活動を展開することによって、誘致の実現に大きな役割を果たしました。

①オフィシャルパートナー等による万博関連イベントの開催

「GOTO2025プロジェクト」は、その名のとおり自主的に万博誘致を応援する団体で、「エンターテイメントのチカラで2025年万博を大阪・関西に！」を合言葉に、アーティストとともに、エンターテイメントの力で万博を応援するプロジェクト組織です。

この団体が企画するイベント「ダイヤラッシュフェス」では、2018(H30)年3月のキックオフイベントの後、7月には全国高等学校ダンス部選手権(DCC全国大会)で優勝し、メディア等に多数取り上げられた大阪府立登美丘高等学校ダンス部のOGであるアカネキカクともコラボレーションして万博誘致を盛り上げました。

GOTO2025プロジェクト「ダイヤラッシュフェスVol.2」

「(株)ウェーブリッジ」は、「エンタメ、世のため、人のため」という経営理念を掲げ、「Crazy EXPO」というイベントではヤフー(株)と共催で、2025年大阪万博誘致をテーマに、エンターテイメントの力で課題解決するコレクティブインパクトをめざし、企業、自治体、起業家、NPO、クリエイター、アーティストなど様々なジャンルの参加者が交流し、ソーシャルエンタビジネスを産みだす仕組みの可能性を探るワークショップを実施しました。また、自社が主催するライブイベントを開催し万博誘致をPRするなど、機運醸成を図りました。

ウェーブリッジがキャスティングしたアーティストによるPR

また、道頓堀を中心とする「ミナミ」地区では、万博誘致の応援に地域をあげて取り組んでいただきました。ミナミ地区を中心に大阪市内の活性化を推進する「一般社団法人大阪活性化事業実

行委員会」では、道頓堀周辺で季節ごとに実施する「道頓堀リバーフェスティバル」などのイベントにおいて、万博誘致の応援をタイトルに掲げ、ステージイベントでは応援アーティストによるライブを実施するなど万博誘致のPRを行い、ミナミ一体での盛り上がりを作っていきました。

道頓堀リバーフェスティバル開会式

2018（H30）年3月には、BIE調査団の視察にあわせて道頓堀川でイベントを実施するとともに、大雨の中にもかかわらず、川沿いに集まった市民が調査団に対して、誘致ロゴマークの入った小旗を手に歓迎することで、地元の万博誘致にかける熱気・熱意を伝えていただきました。

また、開催国決定の際には「いっとこミナミ実行委員会」が独自でパブリックビューイングを行いました。開催が決定した瞬間、ミナミをあげて取り組んできた誘致応援が実を結び、一帯は祝福ムードに包まれました。

②さまざまな方による自主的な広報発信

交通事業者等の協力による広報展開やラッピング掲出などの機運醸成の活動が大きく広がっていくのとあわせて、その他のオフィシャルパートナー等の中でも、得意分野やそれぞれの持つ資源を使って、自主的に誘致応援の企画を実施する企業・団体も増えていきました。

ⅰ）万博応援ソング

大阪を拠点とする人気ヒップホップグループ「ET-KING」さん（（株）BARIKI所属）は、誘致活動に協力したいというメンバーの思いで万博誘致の応援ソングを自主的に作られました。この応援ソングの制作には、WAKAZOメンバーをはじめ様々な方々が関わって、ET-KINGのみなさんと、万博誘致の思いや大阪・関西の魅力について話し合いを行いました。ET-KINGのみなさんもこの街に恩返しがしたい、この街に元気を届けたいとの思いで、楽曲を完成させ、プロモーションビデオも大阪で制作されました。

BIE調査団来日時のET-KINGライブ

オフィシャルパートナー等以外でも、様々な方々に応援、協力をいただきました。大阪府立桜塚高校の軽音楽部では、万博を盛り上げようと顧問の教諭が部員に提案したのがきっかけで、オリジナルの万博誘致応援ソング「Yume色（いろ）OSAKA」を制作し、独自でプロモーション動画も作成され、大きな話題となりました。

大阪府立桜塚高校「Yume色OSAKA」

ⅱ）万博ダンス

先述の万博関連イベントを実施した「GOTO 2025プロジェクト」は、2018（H30）年9月には、独自でクラウドファンディングを実施して、アカネキカク（※）とタイアップし、万博ダンス動画を制作しました。制作した動画は、多くのメディアで取り上げられることで、大阪・関西だけではなく、全国に万博誘致の認知度を広める事に大きく貢献しました。

万博ダンス動画の制作

※アカネキカク
府立登美丘高校ダンス部コーチのakane氏が主宰するダンスカンパニー

また、伝統河内音頭の継承者である河内家菊水丸さん(吉本興業所属)は、自ら万博決定音頭を創作し、誘致決定前から各地で披露することで、誘致機運を盛り上げました。

ⅲ)街のデコレーションによるPR

誘致ロゴマークを活用した街中のシティドレッシングと並んで、独自の企画でPR協力をいただいた企業・団体があります。

例えば、阪神高速道路(株)は、中之島エリアなどにおける高速道路の橋脚を、関西電力(株)は本社屋上を誘致ロゴマークカラーへ特別ライトアップし、彩りを添えました。

大阪のシンボルの1つである通天閣では、誘致ロゴマークを表示し、タワー全体もロゴの5色に彩ることで、万博誘致活動を応援していただきました。

大阪湾ベイエリアの天保山においても、海遊館に隣接する大観覧車に「EXPO 2025」のメッセージや誘致ロゴマークを表示し、万博誘致をPRしていただきました。

これらの取組みを含め、大阪・関西の街中のいたるところで万博に関する発信をいただくことで、多くの方の目にとまるとともに、開催国決定に向けた万博誘致の応援ムードが高まっていきました。

関西電力本社屋上特別ライトアップ

通天閣、阪神高速ライトアップ

天保山大観覧車

また、ミナミの商店街等で構成される「いっとこミナミ実行委員会」では、万博応援提灯を制作していただき、2017（H29)年・2018（H30)年の「道頓堀川万灯祭」(毎年7月～8月開催)で設置されました。また、2018(H30)年には、「大阪万博2025誘致PRオブジェ」も制作され、同万灯祭で戎橋上に設置されたあと、大阪市役所前で9月3日～11月23日の間設置し、誘致機運を力強くアピールしていただくとともに、訪れた多くの人に大きなインパクトを与えました。

大阪万博2025誘致PRオブジェ

ⅳ)その他

(株)りそな銀行はATM画面を利用した誘致PR、(株)JTB西日本は関西国際空港のターミナ

ル間を移動するウイングシャトルのラッピング、岩谷産業(株)は空港の旅客ターミナルに設置した大型サイネージでの誘致PR動画の再生など、それぞれが持つリソースを活用して万博誘致をPRしていただきました。

また、各オフィシャルパートナーやオフィシャルサポーターでは、企業ホームページにおける万博誘致特設ページの設置、独自のポスター・チラシ等の作成、社内誌・機関誌等を活用した誘致PR、誘致ロゴマークの入った名刺や企業ノベルティの制作、応援商品の販売など、多岐にわたった取組みを進めていただき、誘致機運の高まりが様々な機会・場所を通じて感じられる重層的なものとなりました。

また、地元のケーブルテレビや地域団体により、万博オリジナル映像や特集番組の制作と放映が行われ、J:COMでは2018(H30)年11月に特集番組を、FM OH!(エフエム大阪)では同年9月～11月に万博誘致応援番組を放送していただきました。

ケーブルテレビ番組「JAPONICA TV」での特集番組／J:COM

トンボリステーション(道頓堀戎橋南側の大型ビジョン)でのPR映像／浮世小路 吉里忠史氏、大阪活性化事業実行委員会

大阪市内では、2018(H30)年3月のBIE調査団来阪を前に、万博誘致応援の思いをもって市民に清掃活動を行っていただきました。(計5回)
実施場所(実施主体)

- 此花区
  (此花区地域振興会高見連合振興町会)
- 北区梅田エリア(梅田東女性会)
- 道頓堀
  (とんぼりリバーウォーク 賑わい創出連絡会)
- 御堂筋
  ((一社)御堂筋まちづくりネットワーク)
- 御堂筋・長堀通
  (NPO法人御堂筋・長堀21世紀の会)

市民による清掃活動

また、大阪市旭区の千林商店街では、2018(H30)年3月3日～4日「2025万博 大阪・関西に来てやプロジェクト」と銘打ち、パレードやEXPO'70＆2025万博・体験パビリオンなどの誘致PRイベントが開催されました。

千林商店街での万博誘致の盛り上がり

これら自主的かつ積極的な活動をされてこられた団体・企業、また、ここに記載しきれなかった団体等においても、誘致委員会主催のイベントへの参加・協力や後援事業の実施など、様々なご協力をいただきました。

③クラウドファンディング

誘致委員会では、万博の誘致活動に協力していただける市民とともに、誘致活動を盛り上げることを目的として、クラウドファンディングを行いました。

具体的には、市民の皆様と一緒に万博誘致応援動画を作るための費用を集めるため、2018(H30)年8月9日から9月27日まで、クラウドファンディングサイトである「マクアケ」(運営：(株)マクアケ)のクラウドファンディングサービスを活用して実施しました。その結果、目標額の50万円に対して、294名の方が賛同し、195万5千円もの寄附金が集まりました。

動画の撮影は、2018(H30)年8月25～26日にグランフロント大阪で開催した「みんなの未来フェスティバル」で実施し、19組40名の方が参加されました。作成した動画は、誘致委員会のホームページで公開したほか、JR大阪駅に設置したPRボードでも放映しました。さらに、フランス・パリで行われた「奈良・関西の夕べ」のブースでも放映しました。

ご支援いただいた方へは、支援金額に応じて、作成した動画を記録したDVDや誘致PRグッズを返礼品としてお送りしました。

クラウドファンディングホームページ画面

動画撮影の様子

第6章　構成団体等の取組み

（1）大阪府市の取組み

①大阪府万博誘致推進本部

大阪府では、2025年国際博覧会大阪誘致の実現に向けて、大阪府施策の総合的推進を図るため、2017（H29）年4月28日に、知事、副知事、全部局長で構成する「大阪府万博誘致推進本部」を設置しました。同本部は、全庁を挙げ、万博誘致に向けた機運醸成に取り組むとともに、万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」の理念を先取りした府施策を総合的に推進することとし、第1回本部会議では、松井知事から、「万博開催の先も見据えた課題解決のアイデアを各部局から出すこと、我々が熱い思いで取り組むことで、他の自治体などにも熱意を伝えたい。全職員の協力が得られるよう、部局長のマネジメントをよろしく。」との指示がありました。

本部会議、及び幹事会においては、誘致戦略や大阪から「いのち輝く未来社会」をめざすビジョン策定に向けた意見交換、誘致活動の到達点を確認し、進捗に応じた取組みの方針が合意されました。

各部局では、庁舎や関係施設、工事塀における誘致PRポスターの掲示、公用車への誘致ロゴマークの掲示、広報誌へのロゴマークやPR記事の掲載、部局が実施する各種イベントにおける万博の誘致PRや署名活動、職員による機運醸成等として、誘致ロゴマーク入りポロシャツの着用、名刺や名札へのロゴマークの貼り付け、職員による誘致委員会の会員登録などの活発な取組みがなされました。

また、BIE調査団の来日時は、調査団に対する歓迎や部局のネットワークを活用したシティドレッシングが実施されました。

大阪府万博誘致推進本部は、2018（H30）年12月11日に大阪府万博推進本部に改組され、松井知事は、誘致活動を振り返って「みなさんのおかげで勝ち取ることができた。ありがとう。」とねぎらいの言葉をかけました。

大阪府万博誘致推進本部

②大阪市万博連絡調整会議

大阪市では、万博誘致を成功に導くため、市内の機運醸成を図ることを目的に、市長、副市長、全所属長で構成する「大阪市万博連絡調整会議」を2017（H29）年4月28日付けで設置しました。この会議のもと、全庁を挙げて万博誘致と機運醸成の取組みを行いました。

各所属が主催するイベント等200件以上で誘致PRを実施しました。特に、区民まつり（24区で毎年夏～秋に開催）では万博クイズやVR、缶バッジ作成体験、SDGsパネル展示等で、万博誘致PRと理解促進を行いました。

そのほか、各庁舎や市民利用施設、公用車、イベントや施策の広報物等への誘致ロゴマークの掲示（例：各区広報紙（約149万部／月発行）、誘致ロゴマーク入りポロシャツの着用等、あらゆる形で誘致PRを行いました。

また、区役所を中心に、市民の皆様の参画やご協力を得ながら、それぞれの地域にあった誘致活動を数多く展開しました。

（主な活動例）

- 市民が70年万博について語る記事を広報紙に掲載
- 市民からの70年万博のグッズ等ご提供による万博展の開催
- 市民参加型SDGsフォーラムの開催
- 市民が参加する誘致PR動画の作成
- 市民が横断幕をもった応援写真の撮影

2018（H30）年3月のBIE調査団の来阪に際しては、市民のみなさんが万博誘致を応援する清掃活動を行いました（計5グループ）。また、BIE調査団の松井知事・吉村市長表敬時には、大阪市立咲くやこの花中学校英語部の生徒5名が心のこもったスピーチで歓迎し調査団の好評を得ました。

さらに、各所属の働きかけにより、地域主催のイベントでの誘致PRや、講演の機会提供、大阪市商店会総連盟や（公社）大阪市工業会連合会等による組織的な広報媒体の掲示等、様々な形で市民・地元企業・団体から力強い応援がありました。

2018（H30）年11月30日の第1回大阪市万博推進連絡会議（第5回大阪市万博連絡調整会議）において、多くの市民の応援をいただき、誘致成功となったことについて、吉村市長は「市民の皆さんの近いところで活動し、接することができる（各所属の）皆のおかげだと思っている。報告と感謝の気持ちを伝えたい。」とのねぎらいの言葉をかけました。

万博展（都島区・天王寺区）

区民まつり（北区）

区民まつり（住之江区）

BIE調査団歓迎スピーチ（咲くやこの花中学校）

市民応援（中央区）

市民応援（東住吉区）

市民応援（都島区）

(2)大阪府議会・大阪市会の取組み

①大阪府議会

ⅰ)「2025日本万国博覧会」の大阪誘致に対する決議を可決

2016(H28)年11月に大阪誘致の実現に向け、全力で取り組むことなどを盛り込んだ「2025日本万国博覧会」の大阪誘致に対する決議を可決しました。

ⅱ)大阪府議会における万博誘致活動の指針

2017(H29)年7月に国内機運醸成など誘致実現に貢献できるよう全力で取り組むため、「大阪府議会における万博誘致活動の指針」を策定しました。高校生等を対象にした出前授業での万博誘致をテーマにした授業をはじめ、テレビ広報では万博誘致PRや万博をテーマにした内容を放送しました。

また、ホームページに府議会の誘致活動の取組み等を掲載し、府議会ポスターへも誘致ロゴマークを掲載しました。

ⅲ)全国都道府県議会への誘致活動に対する協力の働きかけ

日本全体における万博誘致への機運醸成を図るため、2017(H29)年8月～2018(H30)年2月にかけて全都道府県議会に対して万博誘致の決議を依頼し、2017(H29)年9月から2018(H30)年7月までに全都道府県議会において決議が可決されました。同様に大阪府内の全市町村においても決議が可決されました(請願採択・決意表明含む)。

ⅳ)大阪府議会　2025年国際博覧会誘致特別委員会

2017(H29)年9月に設置された「2025年国際博覧会誘致特別委員会」の提案により、2018(H30)年5月に大阪府議会は、万博誘致に成功したイタリア共和国・ミラノ市やサンマリノ共和国に調査団を派遣し、効果的な誘致方策に関するヒアリングや、支持要請を実施しました。この派遣報告を受け、大阪府議会の特別委員会で「人口や経済規模の小さな国等についても、直接訪問して訴えるなど徹底した働きかけを行うこと」等を松井知事に提言しました。

【参考】大阪府議会　2025年国際博覧会誘致特別委員会

設　置　日：2017(H29)年9月27日
委　員　長：森　和臣(維新)
副委員長：吉村　善美(自民)
委　　員：久谷　眞敬(維新)
　　三田　勝久(維新)
　　うるま　譲司(維新)
　　鈴木　憲(維新)
　　花谷　充愉(自民)
　　杉本　太平(自民)
　　八重樫　善幸(公明)
　　山下　浩昭(公明)

【参考】大阪府議会　2025年国際博覧会誘致に関する調査団

団　　長：大橋　一功(維新)
団　　員：森　和臣(維新)
　　花谷　充愉(自民)
　　吉村　善美(自民)
　　八重樫　善幸(公明)
　　加治木　一彦(公明)
　　橋本　和昌(維新)
　　杉本　太平(自民)
　　杉江　友介(維新)

ⅴ)大阪府議会による海外支持要請

松井知事からBIE加盟国への支持要請の依頼を受け、大阪府議会から岩木均議長、三田勝久議員、徳永愼市議員が、2018(H30)年11月にクウェート国政府に対する支持要請を実施しました。

ⅵ)各会派による取組み

大阪府議会各会派における、PT(プロジェクトチーム)等を設置するなどして、誘致状況の現状確認や府内各地における府民向け誘致PR活動及び賛同署名集めなどを精力的に実施しました。

ⅶ)大阪府議会　2025大阪万国博覧会誘致推進議員連盟

大阪・関西をはじめ、日本全体の万博誘致への機運を高めるなどの誘致実現に向けた取組みを強力に推進するため、「2025大阪万国博覧会誘

致推進議員連盟」を2017(H29)年11月8日に設立し、様々な誘致活動を実施しました。

ア)万博誘致セミナー及び大阪・関西決起集会の開催

2018(H30)年3月に大阪府庁(正庁の間)において、第一部は、松尾隆之氏(元通産省国際博覧会推進室長、現NTN(株)執行役員)による講演「未来社会をデザインする万博に向けて～愛知万博の経験を踏まえて～」を開催しました。

第二部の「大阪・関西決起集会」には、誘致委員会をはじめ、府内市町村の首長、議長、そして関西の県議会からも多数の皆様が出席されました。冒頭では同志社香里高等学校ダンス部の力強いパフォーマンスが披露され、参加者全員で万博誘致活動の展開に全力を尽くすことを決議し閉会しました。

大阪･関西決起集会

イ)BIE調査団等の来阪時におけるPR活動

2017(H29)年12月のＢIE事務局次長や、2018(H30)年3月のBIE調査団の来阪時に歓迎の意を表するとともに、横断幕掲示や決議文の手交等を通じ、地元である大阪の熱意を示す誘致PR活動を実施しました。

大阪府咲洲庁舎での歓迎

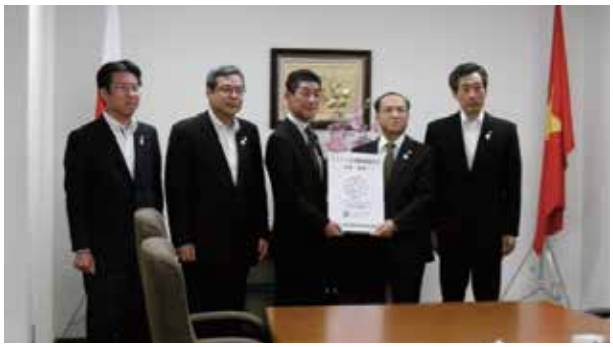
ウ)万博誘致応援への署名活動を実施

京橋駅(2018(H30)年6月)やJR大阪駅アトリウム広場(2018(H30)年9月)での署名活動をはじめ、ライオンズクラブ、ロータリークラブなどの団体へも署名への協力を依頼しました。さらに各々の議員があらゆる機会を捉えた積極的な署名活動を実施した結果、署名数は7万人を超えました。

京橋駅での署名活動

エ)在阪総領事等への協力要請活動

外国からの要人の大阪府議会への表敬訪問時に合わせて万博誘致への協力を要請しました。また、大阪府議会の国際議員連盟懇談会の開催時における在阪総領事等への協力要請や、在阪の総領事館及び名誉総領事館を直接訪問するなどの支持要請活動を実施しました。


在阪領事館訪問

【参考】大阪府議会　2025大阪万国博覧会誘致推進議員連盟

設 立 日：2017(H29)年11月8日
会　　長：大橋　一功(維新)
副 会 長：奴井　和幸(自民)
幹 事 長：三宅　史明(公明)
事務局長：杉江　友介(維新)
幹　　事：中司　宏(維新)

釜中　優次（自民）
大橋　章夫（公明）
会計監事：徳永　愼市（自民）
会計監査：加治木　一彦（公明）
会 員 数：84名
（維新40名、自民26名、公明15名、民主1名、改保1名、創保1名）

②大阪市会

ⅰ）2025日本万国博覧会の大阪誘致に対する決議を可決

2016（H28）年11月に大阪誘致の実現に向けて全力で取り組むことなどを盛り込んだ2025日本万国博覧会の大阪誘致に対する決議を可決しました。

ⅱ）全国市議会議長会指定都市協議会、京都市会、神戸市会へ誘致活動への協力の働きかけ

日本全体における万博誘致への機運醸成を図るため、全国市議会議長会指定都市協議会、京都市会、神戸市会に対して万博誘致の決議を依頼しました。

全国市議会議長会指定都市協議会においては、2017（H29）年11月に「2025日本万国博覧会」の大阪・関西誘致を応援する決議が、京都市会においては、2017（H29）年11月に2025年国際博覧会の誘致に関する決議が、神戸市会においては、2017（H29）年10月に2025年国際博覧会の大阪・関西誘致実現に向けた取組みを推進する決議がそれぞれ可決されました。

ⅲ）在阪総領事等への協力要請活動

2018（H30）年7月から8月にかけて、中華人民共和国、モンゴル国、インドネシア共和国、フィリピン共和国、ドイツ連邦共和国、インド、イタリア共和国、英国の在阪の総領事館及び名誉総領事館へ直接訪問して協力要請を行ったほか、ベトナム社会主義共和国、大韓民国、上海市からの要人の大阪市会への表敬訪問時に合わせて万博誘致への支持要請活動を行いました。

ⅳ）大阪市会　2025大阪万国博覧会誘致推進議員連盟

2018（H30）年2月9日、市会議場において設立総会を開会し、万博誘致の国内機運を醸成するとともに、大阪・関西の魅力を国内外に広く発信することによって2025年国際博覧会の大阪誘致実現に寄与するため、超党派で万博議連を設立し、様々な活動を実施しました。

2025大阪万国博覧会誘致推進議員連盟設立総会

ア）BIE調査団等の来阪時におけるPR活動

2018（H30）年3月のBIE調査団の大阪市役所訪問に際し、本庁舎玄関ホールで横断幕を掲示して、地元大阪市民の万博誘致への熱意を伝えました。

イ）万博誘致ポスターの作製・掲示によるPR活動

セレッソ大阪、オリックス・バファローズ、大阪エヴェッサの人気選手による万博誘致応援ポスターを作製し、議連メンバーの各議員事務所、各スポーツチームの活動場所、大阪市役所・各区役所・スポーツ施設など市内公共施設に掲示したほか、大阪メトロの協力を得て地下鉄全駅に掲示しました。

万博誘致応援ポスター

ウ）開催国決定の投票100日前イベントの開催

大阪天王寺公園エントランスエリア「てんしば」で万博誘致街頭キャンペーンを開催し、家族連れを中心に多くの市民の皆さんに万博の誘致PRパンフレット・缶バッジ、ポケモンのクリアファイルを配布し、アピールを行いました。

てんしば万博誘致街頭キャンペーン

【参考】大阪市会　2025大阪万国博覧会誘致推進議員連盟

設　立　日：2018（H30）年2月9日
会　　長：多賀谷　俊史（自民）
副　会　長：改発　康秀（維新）
※2018（H30）年6月4日まで
山下　昌彦（維新）
※2018（H30）年6月4日から
八尾　進（公明）
幹　事　長：角谷　庄一（維新）
※2018（H30）年6月4日まで
東　貴之（維新）
※2018（H30）年6月4日から
幹　　事：永井　啓介（自民）
山田　正和（公明）
会　　計：西　徳人（公明）
会計監事：大橋　一隆（維新）
川嶋　広稔（自民）
会　員　数：78名
（維新36名、自民21名、公明19名、いくの1名、あべの1名）

（3）2025年大阪万国博覧会を実現する国会議員連盟の取組み

ⅰ）BIE加盟国への支持要請

各国会議員の有する海外のネットワークを活用し、外遊等の機会を通じて、BIE加盟国に対して支持要請活動が実施されました。

また、日本での情報収集、伝達を担うBIE加盟各国の駐日大使館を訪問し、日本での万博開催の意義等について理解を求めるとともに、日本支持に向けた働きかけを行なっていただきました。

ⅱ）決起集会への参加

2017（H29）年12月18日に開催された「2025年万博の誘致実現に向けた決起集会」に国会議員連盟として参加されました。

当日は、外務省の「2025年国際博覧会誘致特使」であるコシノジュンコ氏や、西川きよし師匠も駆けつけ、尾崎副会長の掛け声のもと、その場に参加した全員で万博誘致実現に向けた決意を共有しました。

場所：経団連会館4階ダイアモンドルーム

挨拶する二階会長

誘致実現に向けた決意表明

ⅲ）BIE調査団来日時における意見交換

2018（H30）年3月6日にBIE調査団を国会議員会館にお迎えし、二階会長をはじめ国会議員の多数参加のもと、超党派で万博の誘致を推進していることを訴えました。

場所：衆議院第1議員会館　国際会議室

BIE調査団との意見交換

ⅳ）街宣活動の実施

日本での万博開催に向けた熱い思いを内外に発信し、国家プロジェクトとしての機運を盛り上げるため、東京有数の繁華街であるJR新橋駅前で大阪・関西万博の街宣活動を実施されました。

日時：2018（H30）年6月7日

場所：JR新橋駅前SL広場

街宣活動

【参考】2025年大阪万国博覧会を実現する国会議員連盟

設 立 日：2016（H28）年12月2日
会　　長：二階　俊博（自民）
事務総長：河村　建夫（自民）
幹 事 長：馬場　伸幸（維新）
事務局長：竹本　直一（自民）
事務局長代理：佐藤　茂樹（公明）
副幹事長（総括）：谷　公一（自民）
副幹事長（事務総長補佐）：福井　照（自民）
副幹事長（事務局長補佐）：西村　康稔（自民）
会 員 数：205名（自民156名、維新22名、公明14名、国民9名、立憲1名、無所属3名）

参考資料

EXPO 2025

1．2025日本万国博覧会誘致活動の主な動き（年表）

2014. 8. 6	大阪府議会大阪維新の会・みんなの党都構想推進大阪府議会議員団が2025年に予定されている国際博覧会の大阪への誘致を提案
2014.10.10	大阪府が「国際博覧会誘致検討委員会」を設置（10月10日～12月3日／計4回開催）
2015. 1.21	松井大阪府知事、橋下大阪市長、森関西経済連合会会長、佐藤大阪商工会議所会頭、村尾関西経済同友会代表幹事の意見交換を実施
2015. 4.28	大阪府が「国際博覧会大阪誘致構想検討会」を設置（～7月28日／計4回開催）
2015. 6	大阪府が「国際博覧会の大阪への誘致」を国家要望
2015. 8.25	大阪府が「国際博覧会大阪誘致の可能性検討状況について ― 国際博覧会大阪誘致構想検討会での意見・論点等の整理 ―（平成27年8月報告書）」をとりまとめ公表
2015. 9.10～9.11	松井大阪府知事が2015年ミラノ国際博覧会を視察。博覧会国際事務局（BIE）を訪問し、ロセルタレス事務局長と見交換
2016. 1.14	松井知事が菅内閣官房長官と面会し、国家プロジェクトとしての位置づけを要望
2016. 3.10	松井知事が林経済産業大臣と面会し、国家プロジェクトとしての位置づけを要望
2016. 6.16	松井知事が塩崎厚生労働大臣、林経済産業大臣と面会し、基本構想（府案）策定への協力を依頼
2016. 6.28	大阪府・大阪市が「万博候補地・夢洲についての府市技術検討会」を設置（～9月21日 知事・市長報告）
2016. 6.30	「2025年日本万国博覧会基本構想」試案を公表
2016. 6.30	「2025年万博基本構想検討会議」を設置（～10月28日／計4回開催）
2016. 8.26	松井知事が世耕経産大臣と面会し、大阪での万博開催実現への協力を依頼
2016. 9.22	関西広域連合「2025年日本における国際博覧会（大阪開催）の誘致について」を採択
2016.11. 4	大阪府議会「『2025日本万国博覧会』の大阪誘致に対する決議」を可決
2016.11. 9	「2025日本万国博覧会誘致委員会準備会」発足。「2025日本万国博覧会基本構想案」を菅内閣官房長官、世耕経済産業大臣、塩崎厚生労働大臣へ提出
2016.11.15	大阪市会「2025日本万国博覧会の大阪誘致に対する決議」を可決
2016.11.22	フランスが2025年国際博覧会開催国に立候補
2016.12. 2	「2025年大阪万国博覧会を実現する国会議員連盟」発足
2016.12.16	経済産業省「2025年国際博覧会検討会」設置（第2回：2017年2月15日、第3回：2017年3月13日）
2017. 3.27	「2025日本万国博覧会誘致委員会」設立 誘致アンバサダーに、ダウンタウンが就任

2017. 4. 7	経済産業省が2025年国際博覧会検討会報告書をとりまとめ
2017. 4. 8	ASEAN（東南アジア諸国連合）経済大臣との昼食会でPR（世耕経済産業大臣、松井会長代行、森会長代行、吉村副会長、蔭山副会長、西村大商副会頭）
2017. 4.11	2025年国際博覧会の大阪誘致に向けた立候補及び開催申請について閣議了解
2017. 4.24	BIEに対して立候補表明文書を提出（榊原会長、松井会長代行が同席）
2017. 5.22	2025年国際博覧会の立候補が締め切られ、立候補はフランス、ロシア、アゼルバイジャン、日本の4ヵ国となる。
2017. 6. 7	誘致ロゴマークを発表
2017. 6. 9 ～ 6.10	アスタナ国際博覧会開幕式、日本館開館式出席（吉村副会長、尾崎副会長）
2017. 6.14	BIE総会で榊原会長、松井会長代行がプレゼンテーション
2017. 7	在京大使館に対する万博誘致PR
2017. 7.11	大阪府庁及び大阪市役所に懸垂幕を設置
2017. 7.14	アスタナ国際博覧会カリブデー出席（鈴木副会長、新井大阪府副知事）
2017. 7.22	アスタナ国際博覧会ジャパンデー出席（世耕経済産業大臣、松井会長代行、松本会長代行）
2017. 7.26	2025年大阪万国博覧会を実現する国会議員連盟総会及び万博誘致セミナーを大阪で開催

2017. 8.22	アスタナ国際博覧会サウジアラビア及びマーシャル諸島デー出席（中根外務副大臣、牧村関西経済連合会科学技術・イノベーション委員会委員長）
2017. 8.24 ～ 8.25	アフリカ開発会議（TICAD）閣僚会合等（モザンビーク共和国・南アフリカ共和国）においてPR（吉村副会長、鴻池大阪商工会議所常議員）
2017. 8.26	「お台場みんなの夢大陸2017」において万博誘致をPR
2017. 8.28 ～ 8.29	アスタナ国際博覧会ケニア、ベトナム及びナウルデー出席（平木経済産業政務官、鈴木副会長）
2017. 9. 5 ～ 9. 6	アスタナ国際博覧会ウズベキスタン及びUAEデー出席（武藤経済産業副大臣、出野関西経済連合会常務理事）
2017. 9. 5	誘致アンバサダーに中村鴈治郎さんと片岡愛之助さんが就任
2017. 9.10	アスタナ国際博覧会閉幕式出席（西銘経済産業副大臣、新井大阪府副知事、西村大阪商工会議所副会頭、植松関西経済連合会国際委員会副委員長）
2017. 9.15	大阪商工会議所が大阪タクシー協会及び全大阪個人タクシー協会と連携し、タクシー約1.6万台にステッカーの掲示、「万博ステッカーキャンペーン」を発表
2017. 9.22	松井会長代行、松本会長代行が、「2025年国際博覧会」大阪・関西誘致推進に係る関係省庁連絡会議に出席
2017. 9.25	国が、BIEに対してビッド・ドシエ（立候補申請文書）を提出
2017.10.18	大阪府トラック協会に加盟社の約2万台のトラックに、誘致ロゴマークステッカーを貼り付けていただくこととなり、出発式を実施

1. 2025日本万国博覧会誘致活動の主な動き（年表）

2017.11. 8	大阪府議会「2025大阪万国博覧会誘致推進議員連盟」設立
2017.11.12	「御堂筋ランウェイ」において万博誘致をPR
2017.11.15	BIE総会への出席、各国への支持要請（竹本国会議員連盟事務局長、岡本外務大臣政務官、松井会長代行、松本会長代行、吉村副会長、尾崎副会長、早川副会長）
2017.11.19	神戸マラソンで誘致PR
2017.11.26	大阪マラソンで誘致PR
2017.12. 4 ～ 12. 7	ケルケンツェスBIE事務局次長来日
2017.12.11 ～ 12.15	フィリップソン元BIE議長（2025年大阪・関西万博名誉シニアアドバイザー）等来日
2017.12.18	「2025未来社会デザイン会議」「2025年万博の誘致実現に向けた決起集会」を開催
2017.12.28	私が考える万博絵画展の表彰、2018年1月以降関西一円で応募作品を展示
2018. 1.18	「いのち輝く未来社会のデザイン シンポジウム inおおさか」を開催
2018. 2. 5	大阪モノレールが車体に誘致ロゴマークをラッピングした列車を『2025万博誘致号』として運行開始
2018. 2. 9	大阪市会「2025大阪万国博覧会誘致推進議員連盟」設立
2018. 2.18	京都マラソンで誘致PR
2018. 2.26	南海電鉄が車体にロゴマークをラッピングした空港特急を『空港特急ラピート万博誘致号』として運行開始
2018. 2.28	ジェットスター・ジャパン社が誘致ロゴマークをラッピングした「2025万博誘致ジェット」を運航開始
2018. 3. 2	大阪府議会「2025大阪万国博覧会誘致推進議員連盟」による決起集会
2018. 3. 2 ～ 3.11	「道頓堀グリコサイン」「道頓堀動くかに道楽看板」「くいだおれ太郎」の万博応援サインが登場
2018. 3. 3 ～ 3. 4	大阪市旭区の千林商店街で万博関連ベントを開催
2018. 3. 5 ～ 3. 8	BIE調査団が来日し、現地調査を実施 2025年万博誘致の賛同者が100万を突破
2018. 5. 3 ～ 5. 4	ヨハネスブルグ（南アフリカ共和国）で開催された「日・アフリカ官民経済フォーラム」に吉村副会長、古川大阪商工会議所副会頭が出席し、万博誘致をPR
2018. 5. 9	Peach Aviation社が誘致ロゴマークをラッピングした「万博特別機 Hona Ikoka!号」を運航開始
2018. 5.11	中国上海市でワールド・エキスポ・ミュージアム開幕式典に新井大阪府副知事が出席
2018. 5.16	万博誘致ロゴマークのラッピング車両を描いた近畿宝くじが発売
2018. 5.17	「太平洋・島サミット」の歓迎レセプション（外務大臣夫妻主催）で、万博誘致をPR
2018. 5.31	「未来社会デザイン会議2ND」のキックオフイベント開催
2018. 6. 5	りそな銀行グループから寄附金の贈呈を受ける（松井会長代行）
2018. 6. 7	「2025年大阪万国博覧会を実現する国会議員連盟」による街宣活動

2018. 6.11	外国人留学生と企業がSDGs達成に向けてともに考えるプログラム「SUCCESS-Osaka Future Design」を開催
2018. 6.12	日本主催レセプションを在仏日本大使公邸で開催
2018. 6.12 ～ 6.15	BIE総会への出席、各国への支持要請（榊原会長、松井会長代行、松本会長代行、吉村副会長、尾崎副会長、池田副会長）
2018. 6.14	「EXPO2025の日本誘致を応援しようプロジェクト」発表会
2018. 6.14	中川翔子さん、藤田ニコルさんが万博誘致スペシャルサポーターに就任
2018. 6.14	ポケモンEXPOタイプ診断キャンペーンサイトがオープン
2018. 6.29	在京大使を大阪に招聘し、万博誘致に関する現地説明会を開催（1回目）
2018. 7. 6	万博誘致スペシャルサポーターの本田圭佑選手が、松井会長代行、吉村副会長を表敬訪問
2018. 7.11	在京大使を大阪に招聘し、万博誘致に関する現地説明会を開催（２回目）
2018. 7.14	いっとこミナミ実行委員会が制作した「大阪万博2025誘致PRオブジェ」が序幕（戎橋） 9月には大阪市役所前に移設
2018. 7.14	Diplomatique Garden Party2018に参加し、万博誘致をPR（パリ）
2018. 7.16	ニューヨーク市（米国）の国連本部で開催された「持続可能な開発のための国連ハイレベル政治フォーラム（HLPF）」で岡本外務大臣政務官、吉村副会長ほかが万博誘致をPR

2018. 7.24	万博誘致オリジナルフレーム切手を大阪府内で発売
2018. 8.16	大阪市会2025大阪万国博覧会誘致推進議員連盟」による 街頭キャンペーン活動
2018. 8.22	万博誘致を応援するポケモンのレゴ壁画が完成
2018. 8.25 ～ 8.26	開催国決定の約100日前シンボリックイベントとして、グランフロント大阪で「＃think expo 2025　みんなの未来フェスティバル」を開催
2018. 9. 8、9.15	「読売新聞」で万博特集を全国版朝刊（約832万部）と首都圏版朝刊（約579万部）に掲載
2018. 9.15 ～ 17	「#think expo 2025 Social Innovator's EXPO for 2025 ～ 2025年の未来社会を考える3日間～」を東京で開催
2018. 9.28	大阪府議会「2025大阪万国博覧会誘致推進議員連盟」による街頭キャンペーン活動
2018.10. 6	アフリカ開発会議（TICAD）閣僚会合（東京）において、2025年国際博覧会の大阪誘致を榊原会長、松井会長代行、鴻池大阪商工会議所常議員がアピール
2018.10. 9	政府が、パリ日本文化会館において、万博誘致フォーラムを開催（誘致委員会からは松本会長代行、吉村副会長、尾崎副会長が出席）
2018.10.16	「関西SDGsフォーラム」で万博誘致をPR
2018.10.22	「ジャポニスム2018“奈良・関西の夕べ”」で、万博誘致をPR（誘致委員会からは松本会長代行が出席）
2018.11.23	BIE総会で、2025年国際博覧会（万博）の大阪・関西での開催が決定

2. 関係組織名・名簿等

①国際博覧会大阪誘致構想検討会名簿

	氏　名	所属・役職
行政	植田　浩	大阪府副知事
	辻　宏康	和泉市長、 大阪府市長会 総務文教部会長
	田代　堯	岬町長、 大阪府町村長会 行財政部会長
	鍵田　剛	大阪市政策企画室長
	米澤 博隆	堺市市長公室長
経済界	児玉 達樹	大阪商工会議所 常務理事・事務局長
	齊藤 行巨	一般社団法人 関西経済同友会 常任幹事・事務局長
	出野 精二	公益社団法人 関西経済連合会 常務理事・事務局長
有識者	植田 和弘	京都大学副学長、 京都大学大学院 経済学研究科 教授
	佐野 真由子	大学共同利用機関法人 人間文化研究機構国際日本文化 研究センター准教授
	田口 隆久	国立研究開発法人 情報通信研究機構脳情報通信 融合研究センター 副研究センター長
	中牧 弘允	大学共同利用機関法人人間文化 研究機構国立民族学博物館名誉 教授、吹田市立博物館館長
	橋爪 紳也	大阪府立大学特別教授、 大阪府立大学21世紀科学研究 機構観光産業戦略研究所所長
	山崎　亮	株式会社studio-L代表取締役、 東北芸術工科大学教授

②2025年万博基本構想検討会議名簿

	氏　名	所属・役職
有識者	秋山 弘子 （座長）	東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授
	荒川 哲男	大阪市立大学学長
	江原 規由	一般財団法人 国際貿易投資研究所研究主幹
	太下 義之	三菱UFJリサーチ&コンサルティング 芸術・文化政策センター 主席研究員／センター長
	嘉名 光市	大阪市立大学大学院工学研究科 准教授
	澤田 裕二	株式会社SD代表取締役社長
	渋谷 健司	東京大学大学院医学系研究科 国際保健政策学教室教授
	建畠　哲	多摩美術大学学長
	玉井 博文	マッスル株式会社代表取締役社長
	中谷 比呂樹	慶應義塾大学特任教授、 大阪大学特任教授
	中村 桂子	JT生命誌研究館館長
	橋爪 紳也 （副座長）	大阪府立大学特別教授 大阪府立大学21世紀科学研究 機構観光産業戦略研究所長
	増田 明美	スポーツジャーナリスト、 大阪芸術大学芸術計画学科教授
	溝畑　宏	公益社団法人大阪観光局理事長
	宮田 裕章	慶應義塾大学医学部医療政策・ 管理学教室教授 東京大学大学院医学系研究科 医療品質評価学講座教授
	森下 竜一	大阪大学大学院医学系研究科 臨床遺伝子治療学寄附講座教授
行政	新井　純	大阪府副知事
	辻　宏康	和泉市長、 大阪府市長会総務文教部会長
	田代　堯	岬町長、 大阪府町村長会行財政部会長

行政	田中 清剛	大阪市副市長
	田村 恒一	堺市副市長
	伊吹 英明	経済産業省大臣官房参事官 (商務流通保安グループ担当)
	野﨑 伸一	厚生労働省政策統括官 (総合政策担当)政策企画官
経済界	出野 精二	公益社団法人関西経済連合会 常務理事・事務局長
	児玉 達樹	大阪商工会議所 常務理事・事務局長
	齊藤 行巨	一般社団法人関西経済同友会 常任幹事・事務局長

〈理念・事業展開部会〉

	氏　名	所属・役職
有識者	荒川 哲男	大阪市立大学学長
	江原 規由	一般財団法人 国際貿易投資研究所研究主幹
	澤田 裕二 (部会長)	株式会社SD代表取締役社長
	渋谷 健司 (副部会長)	東京大学大学院医学系研究科 国際保健政策学教室教授
	建畠　哲	多摩美術大学学長
	玉井 博文	マッスル株式会社代表取締役社長
	中谷 比呂樹	慶應義塾大学特任教授、 大阪大学特任教授
	増田 明美	スポーツジャーナリスト、 大阪芸術大学芸術計画学科教授
	宮田 裕章	慶應義塾大学医学部 医療政策・管理学教室教授 東京大学大学院医学系研究科 医療品質評価学講座教授
	森下 竜一	大阪大学大学院医学系研究科 臨床遺伝子治療学寄附講座教授
行政	辻　宏康	和泉市長、 大阪府市長会総務文教部会長
	田代　堯	岬町長、 大阪府町村長会行財政部会長

行政	田中 清剛	大阪市副市長
	田村 恒一	堺市副市長
	伊吹 英明	経済産業省大臣官房参事官 (商務流通保安グループ担当)
	野﨑 伸一	厚生労働省政策統括官 (総合政策担当)政策企画官
経済界	出野 精二	公益社団法人関西経済連合会 常務理事・事務局長
	児玉 達樹	大阪商工会議所 常務理事・事務局長
	齊藤 行巨	一般社団法人関西経済同友会 常任幹事・事務局長

〈整備等部会〉

	氏　名	所属・役職
有識者	江原 規由	一般財団法人国際貿易投資研究 所研究主幹
	太下 義之	三菱UFJリサーチ&コンサルティング 芸術・文化政策センター 主席研究員／センター長
	嘉名 光市 (副部会長)	大阪市立大学大学院工学研究科 准教授
	澤田 裕二	株式会社SD代表取締役社長
	橋爪 紳也 (部会長)	大阪府立大学特別教授 大阪府立大学21世紀科学研究 機構観光産業戦略研究所長
	溝畑　宏	公益社団法人大阪観光局理事長
	森下 竜一	大阪大学大学院医学系研究科 臨床遺伝子治療学寄附講座教授
行政	辻　宏康	和泉市長、 大阪府市長会総務文教部会長
	田代　堯	岬町長、 大阪府町村長会行財政部会長
	田中 清剛	大阪市副市長
	田村 恒一	堺市副市長
	伊吹 英明	経済産業省大臣官房参事官 (商務流通保安グループ担当)
	野﨑 伸一	厚生労働省政策統括官 (総合政策担当)政策企画官

経済界	出野 精二	公益社団法人関西経済連合会 常務理事・事務局長
	児玉 達樹	大阪商工会議所 常務理事・事務局長
	齊藤 行巨	一般社団法人関西経済同友会 常任幹事・事務局長

③2025 年国際博覧会検討会 委員名簿

氏　名	所属・役職
古賀 信行（座長）	一般社団法人日本経済団体連合会 副会長
秋山 弘子	東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授
石毛 博行	独立行政法人日本貿易振興機構 理事長
井戸 敏三	関西広域連合長
大﨑　洋	吉本興業株式会社 代表取締役社長
尾崎　裕	大阪商工会議所会頭
尾山　基	株式会社アシックス 代表取締役社長 CEO
蔭山 秀一	一般社団法人関西経済同友会 代表幹事
樫畑 直尚	一般社団法人和歌山経済同友会 代表幹事
加藤 友康	株式会社カトープレジャーグループ 代表取締役兼 CEO
喜多 恒雄	株式会社日本経済新聞社 代表取締役会長
小泉 武夫	東京農業大学名誉教授
澤田 裕二	株式会社SD代表取締役社長
渋谷 健司	東京大学大学院医学系研究科教授
角　和夫	阪急電鉄株式会社代表取締役会長
瀬名 秀明	作家
土屋 裕弘	田辺三菱製薬株式会社取締役会長
鳥井 信吾	サントリーホールディングス株式会社 代表取締役副会長
橋爪 紳也	大阪府立大学21世紀科学研究機構 教授
福井 澄郎	関西テレビ放送株式会社 代表取締役社長
増田 明美	スポーツジャーナリスト・ 大阪芸術大学教授
松井 一郎	大阪府知事
松下 正幸	パナソニック株式会社 代表取締役副会長
森　詳介	公益社団法人関西経済連合会会長
森下 竜一	大阪大学大学院医学系研究科教授
山田 邦雄	ロート製薬株式会社 代表取締役会長兼 CEO
山田 義仁	オムロン株式会社 代表取締役社長 CEO
山中 伸弥	京都大学iPS細胞研究所 所長／教授
吉村 洋文	大阪市長

④2025年大阪万国博覧会を実現する国会議員連盟名簿　2018(H30)年11月現在

〈自民〉〔156名〕

（衆議院）

大隈 和英、宗清 皇一、宮路 拓馬、山本 有二、
薗浦 健太郎、土屋 品子、和田 義明、
小林 鷹之、野中 厚、田畑 毅、関 芳弘、
宮内 秀樹、岡下 昌平、武田 良太、西村 康稔、
林 幹雄、藤井 比早之、大串 正樹、山田 賢司、
大岡 敏孝、うえの 賢一郎、伊東 良孝、
川崎 二郎、後藤 茂之、松島 みどり、
小倉 將信、大西 宏幸、黄川田 仁志、
高市 早苗、盛山 正仁、福山 守、三原 朝彦、
井林 辰憲、勝俣 孝明、鈴木 俊一、
とかしき なおみ、亀岡 偉民、髙木 毅、
松本 洋平、衛藤 征士郎、塩崎 恭久、
谷川 とむ、渡海 紀三朗、平沢 勝栄、
鈴木 貴子、宮下 一郎、北川 知克、寺田 稔、
中山 泰秀、岸田 文雄、岩田 和親、本田 太郎、
園田 博之、門 博文、鳩山 二郎、伊藤 忠彦、

二階 俊博、河村 建夫、石田 真敏、
田野瀬 太道、大塚 高司、西村 明宏、
中村 裕之、堀内 詔子、堀井 学、金子 恭之、
古屋 圭司、小林 茂樹、細田 博之、甘利 明、
田中 良生、山口 壮、田中 英之、繁本 護、
伊吹 文明、城内 実、吉野 正芳、坂本 哲志、
安藤 裕、北村 誠吾、谷 公一、宮腰 光寛、
佐藤 ゆかり、小渕 優子、竹下 亘、穂坂 泰、
泉田 裕彦、中曽根 康隆、左藤 章、奥野 信亮、
金田 勝年、武部 新、藤原 崇、武井 俊輔、
谷川 弥一、長尾 敬、加藤 寛治、小泉 龍司、
山口 泰明、原田 憲治、福井 照、稲田 朋美、
木原 稔、櫻田 義孝、尾身 朝子、吉川 貴盛、
萩生田 光一、今村 雅弘、塩谷 立、武藤 容治、
神谷 昇、細田 健一、竹本 直一、中谷 元
（参議院）
太田 房江、阿達 雅志、鶴保 庸介、小川 克巳、
松川 るい、堀井 巌、片山 さつき、徳茂 雅之、
足立 敏之、森屋 宏、自見 はなこ、三木 亨、
大家 敏志、岩井 茂樹、三宅 伸吾、長谷川 岳、
中西 祐介、磯﨑 仁彦、平野 達男、佐藤 啓、
石井 浩郎、こやり 隆史、藤川 政人、
進藤 金日子、牧野 たかお、宮沢 洋一、
柳本 卓治、末松 信介、二之湯 智、藤木 眞也、
馬場 成志、世耕 弘成、山本 順三、猪口 邦子、
北村 経夫、西田 昌司、山田 宏、古賀 友一郎、
青山 繁晴、衛藤 晟一、藤井 基之、林 芳正

〈維新〉〔22名〕
（衆議院）
下地 幹郎、井上 英孝、浦野 靖人、杉本 和巳、
遠藤 敬、馬場 伸幸、串田 誠一、森 夏枝、
足立 康史、谷畑 孝、丸山 穂高
（参議院）
髙木 かおり、清水 貴之、片山 虎之助、東 徹、
浅田 均、片山 大介、儀間 光男、藤巻 健史、
石井 苗子、室井 邦彦、石井 章

〈公明〉〔14名〕
（衆議院）
北側 一雄、濱村 進、中野 洋昌、佐藤 茂樹、
太田 昭宏、鰐淵 洋子、伊佐 進一、赤羽 一嘉、
國重 徹、浮島とも子
（参議院）
杉 久武、石川 博崇、山本 香苗、熊野 正士

〈国民〉〔9名〕
（衆議院）
原口 一博、山井 和則、前原 誠司、泉 健太、
平野 博文、岸本 周平
（参議院）
浜野 喜史、増子 輝彦、矢田 わか子

〈立憲〉〔1名〕
（衆議院） 山本 和嘉子

〈無所属〉〔3名〕
（衆議院） 樽床 伸二、中川 正春
（参議院） 渡辺 喜美

〔計205名〕

⑤自由民主党2025年大阪万博誘致推進本部 名簿 2018(H30)年11月現在

（衆議院）
川崎 二郎、岸田 文雄、細田 博之、甘利 明、
伊吹 文明、額賀 福志郎、二階 俊博、
山本 有二、林 幹雄、高市 早苗、髙木 毅、
衛藤 征士郎、渡海 紀三朗、石田 真敏、
古屋 圭司、竹下 亘、金田 勝年、山口 泰明、
吉川 貴盛、塩谷 立、逢沢 一郎、石原 伸晃、
遠藤 利明、鴨下 一郎、馳 浩、船田 元、
平井 卓也、村上 誠一郎、森山 裕、松本 剛明、
河村 建夫、中山 泰秀、関 芳弘、伊東 良孝、
盛山 正仁、北川 知克、大塚 高司、山口 壮、
城内 実、谷 公一、佐藤 ゆかり、原田 憲治、
萩生田 光一、永岡 桂子、橋本 岳、義家 弘介、
大隈 和英、宗清 皇一、岡下 昌平、
藤井 比早之、山田 賢司、大岡 敏孝、
大西 宏幸、谷川 とむ、本田 太郎、門 博文、
田野瀬 太道、小林 茂樹、田中 英之、繁本 護、
安藤 裕、長尾 敬、神谷 昇、木村 弥生、
小寺 裕雄、武村 展英、竹本 直一、左藤 章、
福井 照
（参議院）
鴻池 祥肇、中曽根 弘文、山崎 正昭、
鶴保 庸介、柳本 卓治、阿達 雅志、末松 信介、
二之湯 智、北村 経夫、西田 昌司、赤池 誠章、
有村 治子、野村 哲郎、足立 敏之、佐藤 啓、
こやり 隆史、二之湯 武史、太田 房江、
松川 るい、自見 はなこ、今井 絵理子

〔計90名〕

⑥大阪府議会2025大阪万国博覧会誘致推進議員連盟名簿
2018(H30)年11月現在

〈維新〉〔40名〕
池下 卓、今井 豊、いらはら 勉、岩木 均、
上島 一彦、上田 健二、植田 正裕、
うるま 譲司、大橋 一功、岡沢 健二、
河崎 大樹、金城 克典、久谷 眞敬、坂上 敏也、
笹川 理、杉江 友介、鈴木 憲、土井 達也、
徳村 さとる、富田 武彦、永井 公大、
中川 あきひと、中谷 恭典、中司 宏、
中野 稔子、西田 薫、西林 克敏、橋本 和昌、
広野 瑞穂、前田 洋輔、松浪 武久、松本 利明、
三田 勝久、森 和臣、泰江 まさき、
やまのは 創、山本 大、横倉 廉幸、横山 英幸、
和田 賢治

〈自民〉〔26名〕
朝倉 秀実、今西 かずき、岩見 星光、
うらべ 走馬、奥田 悦雄、釜中 優次、
しかた 松男、杉本 太平、田中 一範、
徳永 愼市、冨田 忠泰、冨山 勝成、豊田 稔、
中井 もとき、西 惠司、西川 のりふみ、
西野 しげる、奴井 和幸、橋本 邦寿、
花谷 充愉、原田 こうじ、原田 亮、松本 直高、
みつぎ 浩明、吉田 利幸、吉村 善美

〈公明〉〔15名〕
内海 久子、大橋 章夫、大山 明彦、
垣見 大志朗、加治木 一彦、川岡 栄一、
中野 剛、中村 広美、林 啓二、肥後 洋一朗、
藤村 昌隆、三浦 寿子、三宅 史明、
八重樫 善幸、山下 浩昭

〈民主〉〔1名〕 中村 哲之助

〈改革保守〉〔1名〕 西野 弘一

〈創生保守〉〔1名〕 西野 修平

〔計84名〕

⑦大阪市会2025大阪万国博覧会誘致推進議員連盟名簿

〈大阪維新の会〉〔36名〕
高山 美佳、井戸 正利、広田 和美、大内 啓治、
不破 忠幸、東 貴之、藤田 あきら、出雲 輝英、
金子 恵美、竹下 隆、徳田 勝、市位 謙太、
山下 昌彦、杉山 幹人、宮脇 希、守島 正、
岡崎 太、角谷 庄一、木下 誠、奥野 康俊、
飯田 哲史、ホンダ リエ、今井 アツシ、
大橋 一隆、丹野 壮治、片山 一歩、
佐々木 りえ、伊藤 良夏、上田 智隆、高見 亮、
田辺 信広、改発 康秀、杉村 幸太郎、
岡田 妥知、辻 淳子、藤岡 寛和

〈自由民主党・市民クラブ〉〔21名〕
前田 和彦、荒木 肇、太田 晶也、有本 純子、
永井 啓介、山本 長助、足髙 將司、
森山 よしひさ、荒木 幹男、北野 妙子、
床田 正勝、川嶋 広稔、黒田 當士、福田 武洋、
西川 ひろじ、福島 真治、木下 吉信、
髙野 伸生、多賀谷 俊史、加藤 仁子、新田 孝

〈公明党〉〔19名〕
山本 智子、八尾 進、西 徳人、金沢 一博、
佐々木 哲夫、杉田 忠裕、小笹 正博、
則清 ナヲミ、山田 正和、西﨑 照明、
明石 直樹、土岐 恭生、島田 まり、岸本 栄、
髙山 仁、辻 義隆、永井 広幸、永田 典子、
前田 修身

〈OSAKAいくの〉〔1名〕 武 直樹

〈大阪あべの〉〔1名〕 梅園 周

〔計78名〕

3. 若者100の提言

「若者100の提言書」とは、「inochi学生プロジェクト」がとりまとめた、2025年の万博実施に向けて「若者」が考える100の提案・提言であり、2016(H28)年12月23日に開催されたinochi学生フォーラム2016において発表され、松井大阪府知事に手交されました。

夢をもう一度、ではない。私たちは、万博でこれからの生き方を問いたい。

なぜ、万博を誘致したいのか。私たちの答えは、「問いたい」からである。
数年後の未来さえ予想することが難しくなってしまった時代。高度経済成長時代の思想の延長線上に、これからの幸せは見つかりそうにない。

府が提案する万博のテーマは「人類の健康・長寿への挑戦」。「健康」「長寿」と聞くと、医療業界のための万博、お年寄りのための万博といったイメージが先行する。しかし、健康は病気を治すだけでは達成されないし、万人に共通するテーマであるはずだ。

人類の健康を考えるには、まず人類の理解が根底にくるであろう。そして、生物としてのヒトから、社会的な人へと理解を進め、真の豊かさ、多様性について再考する必要がある。最後に、健康を実現するための未来を協創していくことが求められる。

万博を、ただの技術展示会にしてはいけない。安易な答えが適用する時代ではない。人々の価値基準を揺さぶるような強烈で根源的な「問い」が必要だ。そして、子供たちがワクワクし、若者が熱狂できる万博をつくるための、具体的な「アイデア」に落とし込めるか。

私たちは、議論を重ね、5つの「問い」を決めました。そして、そのテーマを問うための「アイデア」を計100個発案し、提言書にまとめました。コンパクトにまとめながらも、抽象的な理念だけではなく、できるだけ具体的な内容まで書くように努めました。

「2025大阪万博誘致　若者100の提言書」が、万博誘致に向けての検討会に使用され、若者の意見が、誘致案に積極的に取り入れられることを願います。

2025大阪万博誘致　若者100の提言書
inochi学生プロジェクト

■私たちの向き合う「これから」

○超高齢社会、日本

日本は世界でも類を見ない超高齢社会を迎えている。推計によると日本の人口は2020年には1億2,410万人となり、2050年には1億人、2060年には9,000万人を割ることが予想されている。その一方、高齢化率は年々上昇。2025年には30％、2060年には40％を超えると見込まれている。さらに、万博開催の2025年までには、団塊の世代が後期高齢者(75歳以上)に達するため、介護・医療等社会保障費の急増が予想されており「2025年問題」として警鐘が鳴らされている。

○世界でも進む高齢化

高齢化は日本だけの問題ではない。これは世界規模で起こっており、世界の高齢化率は2010年の7.6％から、2060年には18.3％になると予想されている。中でも、アジア諸国、特に中国や韓国は日本を上回るほどの著しい速さで高齢化が進むと見られており、高齢化の中でいかに健康長寿を達成するか、という問いは世界規模で見つめるべき課題なのである。
その点において、日本はいわば“高齢化先進国”。一足先にその課題を前にした私たちだからこそできる万博があるはずだ。

○若者が考える必要性

去る12月16日に開かれた第1回2025年国際博覧会検討会において委員から「若者や新興国の人々に、わくわくする感じを持ってもらえるテーマにしてほしい」という意見があがるなど、中高年向けというイメージが喚起されるテーマ「健康・長寿」に対して、未来へのワクワク感不足が指摘されている。中高年だけではない、皆に意義ある万博とするためには、私たち若者が参加したい、創り上げたい、と思える万博を自分自身で

デザインしていくことが不可欠である。
　超高齢社会、それを支えるべき私たち若者。それをテーマにした万博案に、今、声を上げずになんかいられない。
　世界の未来を描く万博。2025年、私たちの描きたい未来を、世界に問いかけよう。

■若者提言5つのテーマ
①人類とは何かを問う万博
②生とは何かを問う万博
③真の豊かさを問う万博
④多様性に感動する万博
⑤世代を超えて共創する万博

4. 決議等の経緯

①決議

団体名	決議等日
関西広域連合	2016/ 9/22
大阪府議会	2016/11/ 4
大阪市会(大阪府)	2016/11/15
大東市議会(大阪府)	2017/ 3/24
堺市議会(大阪府)	2017/ 3/30
大阪府市長会	2017/ 5/ 9
大阪府町村長会	2017/ 5/16
近畿市長会	2017/ 5/18
吹田市議会(大阪府)	2017/ 5/31
河南町議会(大阪府)	2017/ 6/ 7
豊能町議会(大阪府)	2017/ 6/14
太子町議会(大阪府)	2017/ 6/16
能勢町議会(大阪府)	2017/ 6/19
田尻町議会(大阪府)	2017/ 6/20
茨木市議会(大阪府)	2017/ 6/21
熊取町議会(大阪府)	2017/ 6/21
箕面市議会(大阪府)	2017/ 6/22
門真市議会(大阪府)	2017/ 6/22
四條畷市議会(大阪府)	2017/ 6/22
忠岡町議会(大阪府)	2017/ 6/22
千早赤阪村議会(大阪府)	2017/ 6/22
高槻市議会(大阪府)	2017/ 6/23
貝塚市議会(大阪府)	2017/ 6/23
岬町議会(大阪府)	2017/ 6/23
豊中市議会(大阪府)	2017/ 6/26
枚方市議会(大阪府)	2017/ 6/26
池田市議会(大阪府)	2017/ 6/27
泉南市議会(大阪府)	2017/ 6/27
阪南市議会(大阪府)	2017/ 6/27
泉佐野市議会(大阪府)	2017/ 6/28
羽曳野市議会(大阪府)	2017/ 6/28
摂津市議会(大阪府)	2017/ 6/28
交野市議会(大阪府)	2017/ 6/28
泉大津市議会(大阪府)	2017/ 6/30
寝屋川市議会(大阪府)	2017/ 7/ 4
指定都市市長会	2017/ 7/11
島本町議会(大阪府)	2017/ 7/14
和泉市議会(大阪府)	2017/ 7/21
全国都道府県議会議長会	2017/ 7/25
全国知事会	2017/ 7/28
兵庫県町村会	2017/ 8/ 4
関西広域連合議会	2017/ 8/24
近畿府県町村会	2017/ 9/20
高石市議会(大阪府)	2017/ 9/21
守口市議会(大阪府)	2017/ 9/28
和歌山県議会	2017/ 9/28
福井県議会	2017/ 9/28
富田林市議会(大阪府)	2017/ 9/29
大阪府町村議長会	2017/10/ 2
神戸市会(兵庫県)	2017/10/ 5
徳島県議会	2017/10/ 6
鳥取県議会	2017/10/11
奈良県議会	2017/10/20
兵庫県議会	2017/10/25
近畿町村議会議長会	2017/10/26
京都府議会	2017/10/30
近畿ブロック知事会	2017/10/31
京都市会(京都府)	2017/11/ 2
全国市議会議長会指定都市協議会	2017/11/ 7
全国市長会	2017/11/16
全国町村会	2017/11/28
宮城県議会	2017/12/14
山口県議会	2017/12/15
福岡県議会	2017/12/20
滋賀県議会	2017/12/21
茨城県議会	2017/12/21
静岡県議会	2017/12/21
岸和田市議会(大阪府)	2017/12/26
篠山市議会(兵庫県)	2017/12/26
神河町議会(兵庫県)	2017/12/26
大阪狭山市議会(大阪府)	2018/ 1/29
全国町村議会議長会	2018/ 2/ 8
石川県議会	2018/ 2/16
柏原市議会(大阪府)	2018/ 2/21
高知県議会	2018/ 2/22
東大阪市議会(大阪府)	2018/ 2/28
河内長野市議会(大阪府)	2018/ 3/ 1
長野県議会	2018/ 3/ 2
海南市議会(和歌山県)	2018/ 3/ 2
島根県議会	2018/ 3/ 7
橋本市議会(和歌山県)	2018/ 3/ 8
多可町議会(兵庫県)	2018/ 3/12
山形県議会	2018/ 3/15

団体名	決議等日
千葉県議会	2018/ 3/15
熊本県議会	2018/ 3/16
岩出市議会(和歌山県)	2018/ 3/19
北海道議会	2018/ 3/20
岩手県議会	2018/ 3/20
秋田県議会	2018/ 3/20
福島県議会	2018/ 3/20
群馬県議会	2018/ 3/20
岡山県議会	2018/ 3/20
香川県議会	2018/ 3/20
愛媛県議会	2018/ 3/20
宮崎県議会	2018/ 3/20
鹿児島県議会	2018/ 3/20
香美町議会(兵庫県)	2018/ 3/20
栃木県議会	2018/ 3/22
岐阜県議会	2018/ 3/22
三重県議会	2018/ 3/22
和歌山市議会(和歌山県)	2018/ 3/22
紀美野町議会(和歌山県)	2018/ 3/22
藤井寺市議会(大阪府)	2018/ 3/23
青森県議会	2018/ 3/23
神奈川県議会	2018/ 3/23
新潟県議会	2018/ 3/23
富山県議会	2018/ 3/23
山梨県議会	2018/ 3/23
佐賀県議会	2018/ 3/23
猪名川町議会(兵庫県)	2018/ 3/23
新温泉町議会(兵庫県)	2018/ 3/23
有田市議会(和歌山県)	2018/ 3/23
串本町議会(和歌山県)	2018/ 3/23
八尾市議会(大阪府)	2018/ 3/26
松原市議会(大阪府)	2018/ 3/26
愛知県議会	2018/ 3/26
丹波市議会(兵庫県)	2018/ 3/26
福崎町議会(兵庫県)	2018/ 3/26
上郡町議会(兵庫県)	2018/ 3/26
埼玉県議会	2018/ 3/27
市川町議会(兵庫県)	2018/ 3/27
長崎県議会	2018/ 3/28
東京都議会	2018/ 3/29
大分県議会	2018/ 3/29
明石市議会(兵庫県)	2018/ 5/16

団体名	決議等日
みなべ町議会(和歌山県)	2018/ 5/25
洲本市議会(兵庫県)	2018/ 5/28
印南町議会(和歌山県)	2018/ 6/ 7
徳島県町村議会議長会	2018/ 6/ 7
徳島県町村会	2018/ 6/ 8
佐用町議会(兵庫県)	2018/ 6/11
広川町議会(和歌山県)	2018/ 6/12
播磨町議会(兵庫県)	2018/ 6/13
太子町議会(兵庫県)	2018/ 6/13
那智勝浦町議会(和歌山県)	2018/ 6/13
太地町議会(和歌山県)	2018/ 6/13
岩美町議会(鳥取県)	2018/ 6/14
江府町議会(鳥取県)	2018/ 6/14
かつらぎ町議会(和歌山県)	2018/ 6/15
美浜町議会(和歌山県)	2018/ 6/15
由良町議会(和歌山県)	2018/ 6/15
上富田町議会(和歌山県)	2018/ 6/15
湯梨浜町議会(鳥取県)	2018/ 6/15
三朝町議会(鳥取県)	2018/ 6/15
徳島県市長会	2018/ 6/15
北山村議会(和歌山県)	2018/ 6/18
有田川町議会(和歌山県)	2018/ 6/19
日高町議会(和歌山県)	2018/ 6/19
御坊市議会(和歌山県)	2018/ 6/20
湯浅町議会(和歌山県)	2018/ 6/20
白浜町議会(和歌山県)	2018/ 6/20
すさみ町議会(和歌山県)	2018/ 6/20
八頭町議会(鳥取県)	2018/ 6/20
大山町議会(鳥取県)	2018/ 6/20
南丹市議会(京都府)	2018/ 6/21
芦屋市議会(兵庫県)	2018/ 6/21
相生市議会(兵庫県)	2018/ 6/21
古座川町議会(和歌山県)	2018/ 6/21
日野町議会(鳥取県)	2018/ 6/21
亀岡市議会(京都府)	2018/ 6/22
長岡京市議会(京都府)	2018/ 6/22
九度山町議会(和歌山県)	2018/ 6/22
日高川町議会(和歌山県)	2018/ 6/22
若桜町議会(鳥取県)	2018/ 6/22
智頭町議会(鳥取県)	2018/ 6/22
日吉津村議会(鳥取県)	2018/ 6/22
南部町議会(鳥取県)	2018/ 6/22

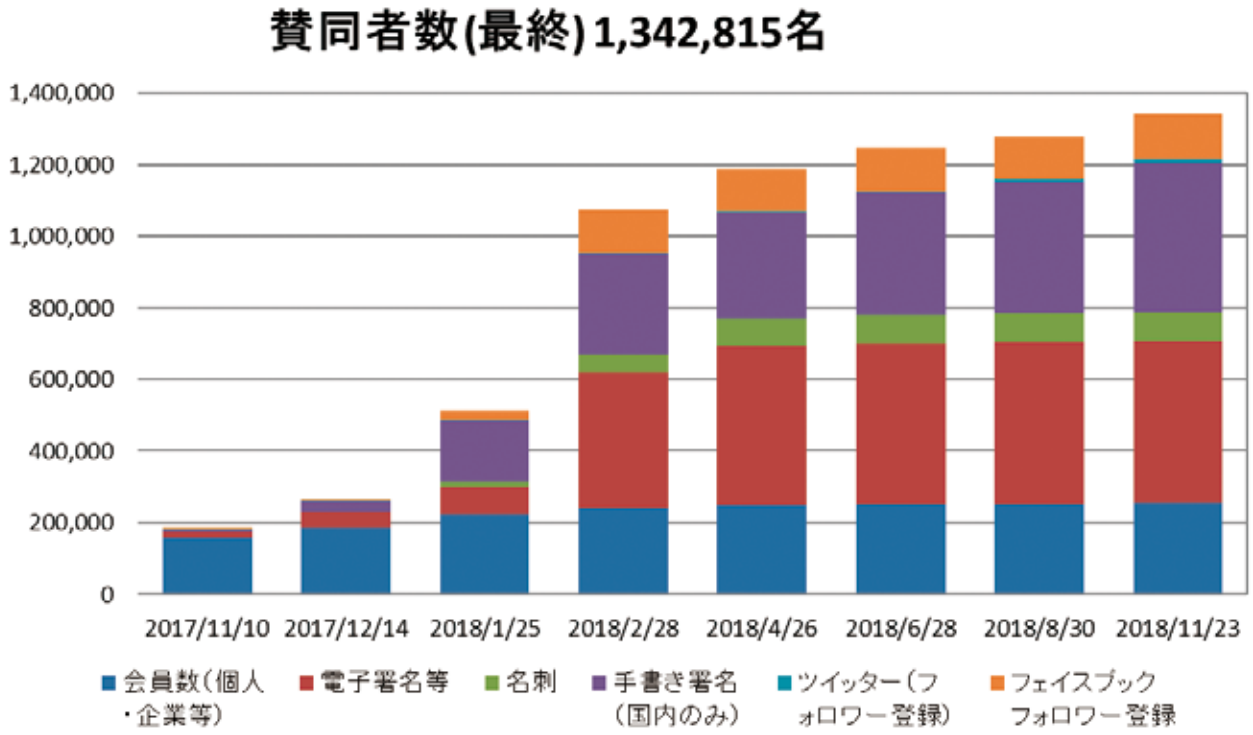
団体名	決議等日
日南町議会(鳥取県)	2018/ 6/22
稲美町議会(兵庫県)	2018/ 6/25
鳥取市議会(鳥取県)	2018/ 6/25
姫路市議会(兵庫県)	2018/ 6/26
赤穂市議会(兵庫県)	2018/ 6/26
加東市議会(兵庫県)	2018/ 6/26
宇治市議会(京都府)	2018/ 6/27
豊岡市議会(兵庫県)	2018/ 6/27
養父市議会(兵庫県)	2018/ 6/27
鳥取県町村会	2018/ 6/27
舞鶴市議会(京都府)	2018/ 6/28
城陽市議会(京都府)	2018/ 6/28
八幡市議会(京都府)	2018/ 6/28
京田辺市議会(京都府)	2018/ 6/28
木津川市議会(京都府)	2018/ 6/28
南あわじ市議会(兵庫県)	2018/ 6/28
たつの市議会(兵庫県)	2018/ 6/28
新宮市議会(和歌山県)	2018/ 6/28
高野町議会(和歌山県)	2018/ 6/28
滋賀県町村会	2018/ 6/28
徳島県市議会議長会	2018/ 6/28
綾部市議会(京都府)	2018/ 6/29
紀の川市議会(和歌山県)	2018/ 6/29
境港市議会(鳥取県)	2018/ 6/29
広島県議会	2018/ 7/ 2
倉吉市議会(鳥取県)	2018/ 7/ 2
沖縄県議会	2018/ 7/ 6
田辺市議会(和歌山県)	2018/ 7/ 6
和歌山県町村議会議長会	2018/ 7/12
滋賀県市長会	2018/ 7/18
京都府町村会	2018/ 7/19
鳥取県市長会	2018/ 7/20
京都府市長会	2018/ 7/23
和歌山県町村会	2018/ 7/24
奈良県市長会	2018/ 7/27
兵庫県市長会	2018/ 7/30
米子市議会(鳥取県)	2018/ 8/ 2
京都府町村議会議長会	2018/ 8/ 2
和歌山県市長会	2018/ 8/ 9
大阪府市議会議長会	2018/ 8/21
奈良県町村会	2018/ 8/24
滋賀県町村議会議長会	2018/ 8/28

団体名	決議等日
和歌山県市議会議長会	2018/ 8/28
米原市議会(滋賀県)	2018/ 8/31
安堵町議会(奈良県)	2018/ 8/31
田原本町議会(奈良県)	2018/ 9/ 3
三宅町議会(奈良県)	2018/ 9/ 5
御杖村議会(奈良県)	2018/ 9/ 6
久御山町議会(京都府)	2018/ 9/ 7
上牧町議会(奈良県)	2018/ 9/10
下市町議会(奈良県)	2018/ 9/10
川上村議会(奈良県)	2018/ 9/10
愛荘町議会(滋賀県)	2018/ 9/11
高取町議会(奈良県)	2018/ 9/11
十津川村議会(奈良県)	2018/ 9/11
下北山村議会(奈良県)	2018/ 9/11
上北山村議会(奈良県)	2018/ 9/12
東吉野村議会(奈良県)	2018/ 9/12
桜井市議会(奈良県)	2018/ 9/13
王寺町議会(奈良県)	2018/ 9/13
吉野町議会(奈良県)	2018/ 9/13
野迫川村議会(奈良県)	2018/ 9/13
笠置町議会(京都府)	2018/ 9/14
三郷町議会(奈良県)	2018/ 9/14
黒滝村議会(奈良県)	2018/ 9/14
天川村議会(奈良県)	2018/ 9/14
向日市議会(京都府)	2018/ 9/18
大淀町議会(奈良県)	2018/ 9/18
和束町議会(京都府)	2018/ 9/20
伊根町議会(京都府)	2018/ 9/20
大和高田市議会(奈良県)	2018/ 9/20
曽爾村議会(奈良県)	2018/ 9/20
河合町議会(奈良県)	2018/ 9/20
琴浦町議会(鳥取県)	2018/ 9/20
甲良町議会(滋賀県)	2018/ 9/21
大山崎町議会(京都府)	2018/ 9/21
天理市議会(奈良県)	2018/ 9/21
川西町議会(奈良県)	2018/ 9/21
広陵町議会(奈良県)	2018/ 9/21
伯耆町議会(鳥取県)	2018/ 9/21
近江八幡市議会(滋賀県)	2018/ 9/26
竜王町議会(滋賀県)	2018/ 9/26
豊郷町議会(滋賀県)	2018/ 9/26
京丹波町議会(京都府)	2018/ 9/26

団体名	決議等日
加西市議会(兵庫県)	2018/ 9/26
葛城市議会(奈良県)	2018/ 9/26
湖南市議会(滋賀県)	2018/ 9/27
日野町議会(滋賀県)	2018/ 9/27
多賀町議会(滋賀県)	2018/ 9/27
井手町議会(京都府)	2018/ 9/27
南山城村議会(京都府)	2018/ 9/27
与謝野町議会(京都府)	2018/ 9/27
三木市議会(兵庫県)	2018/ 9/27
守山市議会(滋賀県)	2018/ 9/28
甲賀市議会(滋賀県)	2018/ 9/28
東近江市議会(滋賀県)	2018/ 9/28
福知山市議会(京都府)	2018/ 9/28

団体名	決議等日
宇治田原町議会(京都府)	2018/ 9/28
精華町議会(京都府)	2018/ 9/28
大津市議会(滋賀県)	2018/10/ 2
長浜市議会(滋賀県)	2018/10/ 2
草津市議会(滋賀県)	2018/10/ 2
栗東市議会(滋賀県)	2018/10/ 2
京丹後市議会(京都府)	2018/10/ 3
宮津市議会(京都府)	2018/10/ 4
高島市議会(滋賀県)	2018/10/ 5
彦根市議会(滋賀県)	2018/10/11
近畿市議会議長会	2018/10/19
宇陀市議会(奈良県)	2018/11/ 5
全国市議会議長会	2018/11/ 7

②賛同者数の推移



5. PR事業

①イベント等でのPR

ｉ）主催イベント

【2017（H29）年度】

開催日	イベント名称	開催場所
6月 7日	誘致シンボルマーク発表会	経済産業省
11月18日	第1回未来社会デザイン会議（オリエンテーション）	東京国際フォーラム（東京都千代田区）
12月18日	第2回未来社会デザイン会議（プレゼンテーション）	経団連会館（東京都千代田区）

【2018（H30）年度】

開催日	イベント名称	開催場所
5月31日	未来社会デザイン会議2ND	TRAVEL HUB MIX（東京都千代田区）
6月18日		
7月 3日		
8月10日		
（ 9月 9日）	日本財団　ソーシャルイノベーションアワード2018で発表（選考通過チームのみ）	青山学院大学
9月19日	未来社会デザイン会議2ND	TRAVEL HUB MIX（東京都千代田区）
5月14日	SUCCESS-Osaka Future Design	関西大学　梅田キャンパス
5月21日		
5月29日		
6月11日		
6月27日		
8月25日	プレゼンテーション（みんなの未来フェスティバル内）	グランフロント大阪
（ 1月 9日）	優秀チーム表彰（SUCCESS-Osaka AWARD内）	関西大学　梅田キャンパス
6月14日	「EXPO2025の日本誘致を応援しようプロジェクト」発表会	東京ミッドタウン日比谷（東京都千代田区）
8月25日	みんなの未来フェスティバル	グランフロント大阪 うめきたUMEDAIガーデン（うめきた2期区域）
8月26日		
9月15日	Social Innovator's EXPO for 2025	渋谷CAST 国連大学前広場（17日のみ） （東京都渋谷区）
9月16日		
9月17日		

ⅱ）万博誘致関連イベント・PRブースの出展等

【2017（H29）年度】

開催日	イベント名称	開催場所
4月28日 ～ 5月 7日	17食博覧会・大阪	インテックス大阪
6月 8日 ～ 9日	建築材料・住宅設備総合展 KENTEN2017	インテックス大阪
6月25日	ホリエモン祭りin大阪	大阪市中央公会堂（大阪市北区）
7月 9日 ～11日	大阪まるかじりフェア	東京都庁
7月26日	万博誘致セミナー	大阪府咲洲庁舎
8月 2日 ～ 3日	こども霞が関見学デー	経済産業省
8月12日 ～13日	道頓堀盆踊りインターナショナル2017	とんぼりリバーウォーク（大阪市中央区）
8月26日	お台場みんなの夢大陸2017	フジテレビ本社前（東京都港区）
9月 2日	セーフティドライブフェスタ	万博記念公園
9月 2日 ～ 3日	マチミラOSAKA2017	うめきたサザンパーク（うめきた2期区域）
9月22日 ～23日	かんさい魅力物語2017　関西の魅力発信イベント	KITTE（東京都千代田区）
9月23日	おおさか交通安全ファミリーフェスティバル	浜寺公園（堺市西区）
9月23日 ～24日	ツーリズムEXPOジャパン	東京ビックサイト（東京都江東区）
9月28日 ～29日	京都スマートシティエキスポ2017	けいはんな学研都市（京都府精華町）
10月 4日	YBCルヴァンカップ準決勝　セレッソ大阪VSガンバ大阪（大阪ダービー）	ヤンマースタジアム長居（長居陸上競技場）（大阪市東住吉区）
10月 7日 ～ 8日	中秋明月祭 大阪2017	史跡難波宮跡（大阪市中央区）
10月10日	欧州のライフサイエンス企業との商談会 in 大阪2017	グランフロント大阪
10月11日 ～13日	BioJapan ／再生医療JAPAN2017	パシフィコ横浜（横浜市西区）
10月18日	万博誘致ロゴマークステッカートラック出発式	大阪府庁
10月21日	ニコニコ町会議 in 大阪文化芸術フェス2017	万博記念公園
10月21日 ～22日	道頓堀リバーフェスティバル2017	湊町リバープレイス、とんぼりリバーウォーク（大阪市中央区）
10月22日	Asia Week 2017	立命館大学　大阪いばらきキャンパス
10月26日 ～28日	けいはんな情報通信フェア2017	けいはんなプラザ

10月27日 ～30日	第2回関西産業観光博覧会	関西国際空港
10月28日	日本青年会議所建設部会・全国部会員大会・大阪大会	ハイアットリージェンシー大阪(大阪市住之江区)
10月28日 ～29日	大阪文化芸術ミックスステージ タレントミーツスクエア	万博記念公園
11月 3日	大阪府立大学大学祭(第69回白鷺祭)	大阪府立大学中百舌鳥キャンパス
11月 3日 ～ 5日	咲洲こどもフェスタ2017	大阪府咲洲庁舎
11月 3日 ～ 5日	Koyabu Sonic 2017	インテックス大阪
11月 8日 ～ 9日	ビジネス・エンカレッジ・フェア2017	マイドームおおさか(大阪市中央区)
11月10日	万博誘致ロゴマーク・ラッピングトラック出発式	大阪府庁
11月12日	御堂筋オータムパーティ 2017　御堂筋ランウェイ	御堂筋
11月17日 ～19日	神戸マラソン2017	神戸国際展示場、市民広場(神戸市中央区)
11月19日	地域の魅力発信＆移住交流フェア	東京国際フォーラム(東京都千代田区)
11月19日	ABCラジオまつり2017	万博記念公園
11月23日	inochi学生・未来フォーラム2017	梅田スカイビル(大阪市北区)
11月24日 ～25日	大阪マラソンEXPO2017	インテックス大阪
11月26日	第７回大阪マラソン	インテックス大阪ほか
12月 3日	第３回 OSAKAシティランニングフェスタ 2017	花博記念公園鶴見緑地
12月 3日	第８回食の都・大阪グランプリ	辻調理師専門学校(大阪市阿倍野区)
12月12日 ～13日	ヘルスケアビジネス エキスポ in おおさか	大阪国際会議場
1月18日	いのち輝く未来社会のデザイン シンポジウム inおおさか	大阪国際会議場
1月20日	上田学園コレクション2018	グランフロント大阪
1月21日	大阪ミュージアム　ええとこ新春ご利益ウォーク	末広公園(大東市)
1月23日 ～2月4日	SDGsってなんやろ？　－万博とSDGsの関係ってなんやろ－	大阪府立中央図書館(東大阪市)
1月28日	第37回大阪国際女子マラソン	ヤンマースタジアム長居(長居陸上競技場)(大阪市東住吉区)
1月28日	池田教育フェスタ	池田市民文化会館
2月1日 ～3日	ほんまにええとこ関西観光展	横浜新都市プラザ(横浜市西区)
2月 3日 ～ 4日	第25回ワン・ワールドフェスティバル	扇町公園、カンテレ扇町スクエア(大阪市北区)
2月 5日	大阪モノレール「2025万博誘致号」出発式	大阪空港駅
2月10日	くまもんファン感謝祭2018 in OSAKA	大阪城公園

2月10日	JCB会長杯　第33回全日本年齢別ボーリング選手権大会	イーグルボウル(大阪市淀川区)
2月11日	バスケットボール・Bリーグ　大阪エベッサVS栃木ブレックス	府民共済SUPERアリーナ(大阪市此花区)
2月15日	Crazy Expo Vol.0	グランフロント大阪
2月16日	第15回 Business Link 商売繁盛 at INTEX OSAKA	インテックス大阪
2月16日 ～17日	京都マラソン2018	みやこめっせおこしやす広場(京都市左京区)
2月21日 ～23日	第4回医療・介護 総合EXPO大阪(メディカルジャパン2018大阪)	インテックス大阪
2月24日	第21回 JR京都駅ビル 大階段駆け上がり大会	JR京都駅ビル
2月25日	RUNRUNRUN 2018	万博記念公園
2月28日	ジェットスター航空特別塗装機「2025万博誘致ジェット」就航記念イベント	成田国際空港
3月 1日	全日本不動産協会セミナー	大阪国際会議場
3月 2日	福島県観光展	ディアモール大阪(大阪市北区)
3月 2日 ～9日	SDGsってなんやろ？　－万博とSDGsの関係ってなんやろ－	大阪府咲洲庁舎
3月 3日 ～ 4日	わくわく大阪！春の観光・物産PRイベント in JR大宮駅	JR大宮駅
3月 3日 ～ 4日	CYCLE MODE RIDE OSAKA2018	万博記念公園
3月 3日 ～ 4日	2025万博 大阪・関西にきてやプロジェクトin千林商店街	千林商店街(大阪市旭区)
3月 4日	第73回びわ湖毎日マラソン大会	皇子山陸上競技場(大津市)
3月12日 ～13日	大阪観光フェア～博多の陣～	JR博多駅
3月13日 ～15日	情報処理学会第80回全国大会	早稲田大学　西早稲田キャンパス
3月18日	竹内街道・横大路(大道)まつり	まつばらテラス(輝)(松原市)
3月18日	太陽の塔内部公開記念イベント	万博記念公園

【2018(H30)年度】

開催日	イベント名称	開催場所
4月 3日	平成30年春巡業大相撲堺場所	金岡公園体育館(堺市北区)
4月21日	ガンバ大阪×セレッソ大阪	パナソニックスタジアム吹田
4月28日	クロスメディアイベント「078」	神戸ポートオアシス、メリケンパーク(神戸市中央区)
5月 3日 ～6日	道頓堀春フェス2018	とんぼりリバーウォーク(大阪市中央区)
5月 4日 ～ 5日	ほたるまち水都にぎわい2DAYS!	大阪福島ほたるまち港前遊歩道
5月 6日	中之島リバーフェスタ2018	中之島バンクス(大阪市北区)

5月 9日	Peach万博特別ラッピング機の披露式典	関西国際空港
5月17日	全日本不動産協会大阪府本部総会	ホテルニューオータニ大阪（大阪市中央区）
5月19日	METRO ROCK 2018	海とのふれあい広場（堺市堺区）
5月20日	2018ツアー・オブ・ジャパン堺ステージ	大仙公園（堺市堺区）
5月20日	いばらき×立命館DAY 2018	立命館大学　大阪いばらきキャンパス
5月20日	神戸まつり	JR三宮駅前
5月23日～25日	JECA FAIR 2018 ～第66回電設工業展	インテックス大阪
5月26日～27日	大阪府立大学　第57回友好祭	大阪府立大学　中百舌鳥キャンパス
5月26日～27日	日本アンチエイジング歯科学会	グランフロント大阪
6月 7日～ 8日	建築材料・住宅設備総合展 KENTEN2018	インテックス大阪
6月 8日	防犯防災総合展inKANSAI2018	インテックス大阪
6月29日～30日	ハードロックカフェ大阪　万博誘致応援２夜連続スペシャルライブ	ハードロックカフェ大阪（大阪市中央区）
7月 1日	ダイヤラッシュフェスVol.2	味園ユニバース（大阪市中央区）
7月 9日～8月18日	SDGs ってなんやろ？　－'70年万博×2025年万博誘致－	大阪府立中之島図書館（大阪市北区）
7月11日	Crazy Expo Vol.1	グランフロント大阪
7月13日	第89回都市対抗野球大会	東京ドーム（東京都文京区）
7月13日	NEC　iEXPO　KANSAI　2018	グランフロント大阪
7月14日～15日	大阪ミナミ夏祭り2018	とんぼりリバーウォーク（大阪市中央区）
7月16日	神戸港ボート天国	メリケンパーク東護岸、中突堤・かもめりあ周辺（神戸市中央区）
7月24日～25日	天神祭	桜ノ宮公園、造幣局ほか
8月 1日～ 2日	こども霞が関見学デー	経済産業省
8月 2日～3日、8月 9日～10日、8月23日～24日	ファイアーイリュージョン	生駒山上遊園地
8月 4日	第30回記念大会　なにわ淀川花火大会	淀川河川敷（大阪市淀川区）
8月 4日	第48回みなとこうべ海上花火大会	神戸港
8月 7日～ 8日	文紙MESSE	マイドームおおさか（大阪市中央区）
8月11日～12日	“2025大阪万博いらっしゃい”道頓堀盆踊りインターナショナル2018	とんぼりリバーウォーク（大阪市中央区）

8月25日 ～ 26日	大阪万博誘致応援 逸品縁日 in UMEDAIガーデン	うめきたUMEDAIガーデン（うめきた２期区域）
9月 2日	第37回全日本空手道選手権	エディオンアリーナ（大阪府立体育会館）（大阪市浪速区）
9月 8日 ～ 9日	BREAK THROUGH OSAKA 2018 EXPO	グランフロント大阪
9月 9日	第29回JBCF舞洲クリテリウム	舞洲スポーツアイランド
9月13日	たまゆらフェスタ2018	大阪国際会議場
9月16日	第33回全関西空手道選手権大会	守口市民体育館
9月26日 ～ 27日	企業合同技術展示会「COUNTDOWN SHOWCASE」	三井住友銀行東館ライジングスクエア（東京都千代田区）
9月28日	大阪・関西が切り拓く“いのち輝く未来社会”シンポジウム	中之島フェスティバルタワー・ウエスト（大阪市北区）
9月29日	東京・さかい交流会	都市センターホテル（東京都千代田区）
9月29日 ～ 30日	グローバルフェスタJAPAN2018	お台場センタープロムナード（東京都江東区）
10月 1日	全日本不動産協会大阪府本部PR	なんば駅
10月 3日	近畿イオン会	ホテル日航大阪（大阪市中央区）
10月 6日	グリーンフェスタこうべ2018	神戸総合運動公園（神戸市須磨区）
10月 6日 ～ 7日	東京味わいフェスタ2018	日比谷公園（東京都千代田区）
10月 9日	欧州のライフサイエンス企業との商談会　in　大阪2018	グランフロント大阪
10月13日 ～ 14日	道頓堀リバーフェスティバル	とんぼりリバーウォーク（大阪市中央区）
10月16日	関西SDGsフォーラム	ドーンセンター（大阪府立男女共同参画・青少年センター）（大阪市中央区）
10月16日 ～ 17日	不動産ソリューションフェア	東京ビックサイト（東京都江東区）
10月21日	Asia Week 2018	立命館大学　大阪いばらきキャンパス
10月26日	大阪・花園開催ラグビーファンゾーン	花園中央公園（東大阪市）
10月27日	大阪JAPAN市	ヤンマースタジアム長居（長居陸上競技場）（大阪市東住吉区）
10月31日	ICTビジネスフォーラム2018	グランフロント大阪
11月 1日 ～ 11日	「大阪万博1970 ～ 2025」展	枚方T-SITE（枚方市）
11月 3日 ～ 4日	咲洲こどもフェスタ2018	大阪府咲洲庁舎
11月 4日	御堂筋オータムパーティー 2018　御堂筋ランウェイ	御堂筋

11月 8日	ITシンポジウムインフォテック2018	大阪国際会議場
11月10日	セーフティドライブフェスタ	万博記念公園
11月16日 ～17日	神戸マラソンEXPO2018	神戸国際展示場（神戸市中央区）
11月22日	万博開催地決定前夜祭 GOTO2025	フラミンゴ・ジ・アルーシャ（大阪市浪速区）
11月22日	WORLD ONE in OSAKA ～元気な大阪を世界に！～	阿倍野ROCK TOWN（大阪市阿倍野区）
11月23日	想いよ届け!! メッセージ花火	夢洲
11月23日	戎橋パブリックビューイング・万博決定祝賀イベント	道頓堀（大阪市中央区）

ⅲ）全国キャラバン
【2017（H29）年度】

開催日	イベント名称	開催場所
12月 2日	Christmas2017	北海道札幌市
1月17日	おかやまテクノロジー展	岡山県岡山市
1月27日	忍者フェスティバル	愛知県常滑市
2月 4日	アクアマリンふくしま	福島県いわき市
2月10日	雪中ジャンボかきまつり	石川県穴水町
2月17日	いわて雪まつり	岩手県雫石市
2月18日	長崎ランタンフェスティバル	長崎県長崎市

ⅳ）大阪府内市町村との連携イベント
【2017（H29）年度】

開催日	イベント名称	開催場所	連携市町村名
7月 1日	道頓堀万灯祭点灯式	道頓堀川船上	大阪市
7月 9日	住之江まつり	住之江区役所ほか	大阪市
7月14日	大阪港開港150年記念式典	ハイアットリージェンシー大阪	大阪市
8月 6日	東成区民まつり	東中本公園	大阪市
8月26日	旭区民まつり	旭区民センターほか	大阪市
8月26日	城東まつり	蒲生公園ほか	大阪市
9月10日	鶴見区民まつり	花博記念公園	大阪市
9月10日	天王寺区民まつり	五条公園グラウンド	大阪市
9月10日	ナニワ区民まつり	浪速公園	大阪市
9月16日	西淀川区民まつり	西淀公園	大阪市
9月16日	淀川区民まつり	淀川区民センター	大阪市
9月23日	都島区民まつり	毛馬桜之宮公園	大阪市

10月 8日	港区民まつり	八幡屋公園	大阪市
10月 9日	あべのカーニバル	市立工芸高校ほか	大阪市
10月13日 ～14日	なにわリバーサイド夜市2017	なんばHatch	大阪市
10月15日	中央区民まつり	難波宮跡公園	大阪市
10月15日	大正区民まつり	千島公園	大阪市
10月15日	高石商工フェスティバル	鴨公園	高石市
10月28日	水都大阪フェス2017	中之島公園	大阪市
10月28日	すみよし区民まつり	沢之町運動場ほか	大阪市
10月28日	平野区民まつり	出戸池グランドほか	大阪市
10月28日	かたのにぎわいフェスタ	いきいきランド交野	交野市
10月29日	第10回え～やん！天保山まつり	天保山周辺	大阪市
11月 4日	ECO縁日2017	花博記念公園鶴見緑地	大阪市
11月 4日	熊取町民文化祭	熊取交流センター煉瓦館	熊取町
11月 5日	第67回銀杏祭	大阪市立大学　杉本キャンパス	大阪市
11月 5日	西区民まつり「文化のつどい」	西区民センターほか	大阪市
11月 5日	守口市市民まつり	京阪守口市駅前	守口市
11月 8日 ～10日	第1回ウェルネスライフEXPO	インテックス大阪	大阪市
11月11日	多民族フェスティバル	小野原公園	箕面市
11月12日	UP FESTA 2017	てんしば	大阪市
11月12日	スマイルサイクルフェスタin大阪 2017	中之島公園	大阪市
11月12日	摂津市農業祭	摂津市役所庁舎前駐車場	摂津市
11月12日	ふれあいTAISHI 2017	太子・和みの広場	太子町
11月12日	忠岡町商工カーニバル	忠岡町民グラウンド	忠岡町
11月19日	おおさか市営交通フェスティバル	緑木車両工場	大阪市
11月19日	カタシモワイン祭り	カタシモワイナリー	柏原市
11月19日	近畿高等学校駅伝競走大会	浄瑠璃シアター前	能勢町
11月19日	河南フェスティバル	近つ飛鳥博物館	河南町
11月20日	御堂筋完成80周年記念シンポジウム	中央公会堂	大阪市
11月23日	高石健幸フェスティバル	南海本線高石駅前	高石市
11月23日	富田林市農業祭	石川河川敷西グランド	富田林市

11月26日	ガンバ大阪公式戦(対北海道コンサドーレ札幌)	市立吹田サッカースタジアム	寝屋川市、大東市、門真市
12月 2日	しまもと手づくりコミュニティ市	阪急水無瀬駅前	島本町
12月 3日	田尻町朝市	田尻漁港	田尻町
12月14日～25日	OSAKA光のルネサンス2017	大阪市役所	大阪市
1月 7日	熊取町成人式	ひまわりドーム	熊取町
1月 8日	藤井寺市成人式	パープルホール	藤井寺市
1月 8日	高石市成人式	アプラ高石	高石市
1月 8日	千早赤阪村成人式	くすのきホール	千早赤阪村
1月25日	NPO法人ステップアップセミナー	ドーンセンター(大阪府立男女共同参画・青少年センター)	大阪市
1月28日	いけだ教育フェスタ	池田市文化会館	池田市
2月17日	環境広場	くずはモール	枚方市
2月18日	茨木アクティブシニアフェスタ2018	高齢者活動支援センターシニアプラザいばらき	茨木市
2月24日	出張なんでも鑑定団in枚方	枚方市民会館	枚方市
3月15日～22日	クルーズ・カーニバル	大阪港天保山岸壁周辺	大阪市
3月17日	参地直笑 祭 in 住之江区	すみのえ舞昆ホール	大阪市
3月21日	久保惣"大でき"美術館イベント	和泉市久保惣記念美術館	和泉市
3月23日	大阪ベイエリアセミナー	ATC	大阪市
3月25日	来ちょ～え！貝塚みずま春フェスタ～お夏清十郎の恋～	水間公園	貝塚市

【2018(H30)年度】

開催日	イベント名称	開催場所	連携市町村名
5月 5日	メルボルン大阪カップ2018ダブルハンドヨットレース表彰式	大阪天満宮	大阪市
5月13日	第4回東大阪市民ふれあい祭り	花園中央公園会場	東大阪市
5月16日～17日	イベントツールウエストジャパン2018	ATCホール	大阪市
5月20日	セイコーゴールデングランプリ陸上2018大阪	ヤンマースタジアム長居	大阪市
6月10日	OSAKAスポーツパーク2018	大阪城公園	大阪市
6月17日	あじさいと軽トラ市 in 道の駅・しらとりの郷・羽曳野	道の駅・しらとりの郷	羽曳野市

7月14日	大阪万博2025誘致PRオブジェ除幕式	道頓堀戎橋	大阪市
7月15日	住之江まつり	住之江区役所ほか	大阪市
7月21日	ふるさと門真祭り	門真市立総合体育館	門真市
7月27日	なんばエコプロジェクト2018	南海・難波駅前広場	大阪市
8月 3日	けんこうマルシェ	イオンモール鶴見緑地	大阪市
8月 5日	東成区民まつり	東中本公園	大阪市
8月 7日	福島区食育展　食育なつまつり	福島区役所	大阪市
8月 8日	西淀川区食育展　食育なつまつり	西淀川区役所	大阪市
8月25日	旭区民まつり	旭区民センターほか	大阪市
8月25日	城東まつり	蒲生公園ほか	大阪市
9月 9日	天王寺区民まつり	天王寺区民センター	大阪市
9月 9日	ナニワ区民まつり	浪速区民センター	大阪市
9月15日	西淀川区民まつり	西淀公園	大阪市
9月15日	淀川区民まつり	淀川区民センターほか	大阪市
9月16日	第39回だいとう市民まつり	末広公園	大東市
9月22日	都島区民まつり	毛馬桜之宮公園	大阪市
10月 5日	船場まつり2018	船場地区一帯	大阪市
10月 7日	港区民まつり	八幡屋公園	大阪市
10月 8日	あべのカーニバル	市立工芸高校ほか	大阪市
10月20日	福島区民まつり	下福島公園	大阪市
10月21日	北区民カーニバル	扇町公園ほか	大阪市
10月21日	中央区民まつり	難波宮跡公園	大阪市
10月21日	大正区民まつり	千島公園	大阪市
10月21日	生野区民まつり	巽公園	大阪市
10月21日	東住吉区民まつり	長居公園	大阪市
10月27日	すみよし区民まつり	沢之町運動場ほか	大阪市
10月27日	平野区民まつり	出戸池グラウンドほか	大阪市
10月28日	このはな区民まつり	西九条コミュニティ広場	大阪市
11月 3日	エコ縁日2018	花博記念公園鶴見緑地	大阪市
11月 4日	西区民まつり「文化のつどい」	西区民センターほか	大阪市
11月18日	西成区民まつり	西成区民センターほか	大阪市

ⅴ）都道府県協力によるPR協力イベント
【2017（H29）年度】

協力都道府県	イベント名称	開催月
北海道	地域おこし協力隊合同募集フェア	2月
北海道	ひやま「食・観光フェア」	2月
北海道	FOODEXJAPAN2018	3月
北海道	北海道プロモーション事業	3月
秋田県	ハタハタフェスティバル	12月
秋田県	県内市町村と首都圏企業との懇談会	1月
福島県	FUKU FES 2017　－福島県大交流フェスタ－	12月
東京都	東京文化財ウィーク2017参加企画展「東京府・東京市行政文書の世界」	10月~12月
東京都	都民計量のひろば	11月
東京都	東京ラグビーファンゾーン2017 in 日比谷	11月
東京都	2017味の素スタジアム6時間耐久リレーマラソン	11月
東京都	産業交流展2017 スポーツ産業見本市	11月
東京都	葛西市場まつり2017	11月
東京都	TOKYOウオーク2017	12月
東京都	歴史的建造物見学会2017	12月
東京都	NIPPON IT チャリティ駅伝	12月
東京都	特殊詐欺根絶イベントin 港	12月
東京都	シクロクロス東京2017	2月
東京都	特殊詐欺根絶イベントin 調布・狛江	2月
東京都	歴史的建造物の保存のためのチャリティイベント	2月
東京都	マラソン祭り	2月
東京都	体験記事業表彰式	3月
東京都	ニュースポーツEXPO in 多摩2018	3月
東京都	特殊詐欺根絶イベントin 新宿	3月
東京都	RUNRUNRUN	3月
栃木県	とちまるショップリニューアルオープニングイベント	12月
栃木県	スーパーマーケットトレードショー 2018	2月
栃木県	フーデックスジャパン2018	3月
茨城県、栃木県、群馬県	近くて便利！いばらき・とちぎ・ぐんま展	11月
千葉県	千葉 MICE Day	11月
千葉県	千葉港ポートセミナー	11月

千葉県	麻薬・覚醒剤乱用防止運動千葉大会	11月
千葉県	男女共同参画推進連携会議全体会・女性活躍推進特別部会合同シンポジウム	1月
千葉県	国の登録有形文化財(建造物)登録記念イベント	2月
神奈川県	ベトナムフェスタ in 神奈川2017	9月
神奈川県	ジャパンラグビートップリーグ2017-2018	12月
神奈川県	松田町寄ロウバイまつり	1月
神奈川県	海老名いちごフェア	1月
神奈川県	健康応援フェアin湘南・茅ケ崎	2月
神奈川県	開成瀬戸屋敷ひなまつり	2月
神奈川県	ME-BYOフェスタ	3月
神奈川県	平塚ルネッサンスまつり	3月
神奈川県	花菜ガーデン未病改善・スポーツイベント	3月
神奈川県	小田原かまぼこ桜まつり	3月
山梨県	山梨ワイナリーズフェア2017	12月
愛知県	ディスカバー愛知フェア	2月
三重県	三重の”宝”トーク	1月
福井県	福井祭り東京2017	10月
福井県	2017物産展	11月
福井県	東京・福井産業懇話会	1月
京都府	日本文化の展望～文化庁移転を機に考える～	11月
大阪府	大阪まるかじりフェア	7月
大阪府	かんさい魅力物語	9月
大阪府	近畿6府県観光情報交換会	10月
大阪府	なにわうまいもん市	10月
大阪府	地方銀行フードセレクション	11月
大阪府	大阪を語る東京の会	11月
大阪府	キャプテン翼CUP2018	1月
大阪府	大阪立地プロモーションセミナー in 東京	1月
大阪府	大阪を語る東京の会(第2回)	2月
大阪府	東京インターナショナルギフトショー	2月
大阪府	東京スカイツリーにおける大阪観光PR	2月
奈良県	ふるさと奈良の集い	11月
和歌山県	熊野那智大社御創建1700年記念シンポジウム	11月

和歌山県	「みなべ・田辺の梅システム」世界農業遺産フォーラムin 東京	11月
和歌山県	和歌山県 偉人顕彰シンポジウム（和田勇シンポジウム）	2月
兵庫県	東京兵庫県人会総会交流会	11月
岡山県	第36回吉備クラブ	11月
岡山県	第37回吉備クラブ	1月
岡山県	中国５県観光物産フェア	2月
岡山県	水島港セミナー	3月
愛媛県	日吉東急愛媛のこだわりフェア	11月
愛媛県	玉川高島屋愛媛フェア	1月
高知県	原宿表参道ハローハロウイーンパンプキンパレード	10月
高知県	高知家ふるさとミーティング	2月
大分県	東京海上日動本店大分フェア	2月
熊本県	くまモンファン感謝祭	1月
宮崎県	焼酎ノンジョルノ宮崎 in 東京	2月
宮崎県	ひなたフェア in 下北沢大学	3月
鹿児島県	鹿児島本格焼酎祭り	10月~11月

②動画を活用したPR

【誘致委員会作成動画】4テーマ：計8本

○NMB48 EXPO2025PR映像（2017（H29）年7月）
- 誘致応援呼びかけ編
- テーマロゴマーク編

〈山本彩、白間美瑠、吉田朱里〉

○大阪・関西の紹介映像　（2017（H29）年12月）

○ポケモンと万博誘致応援ムービー
（2018（H30）年6月）
- ポケモンEXPOタイプ診断編
- 万博誘致クイズ編

〈中川翔子、藤田ニコル〉

○「万博誘致願掛けチャレンジ」動画
（2018（H30）年8月）

【オフィシャルパートナー等作成動画】

○J：COM「万博、見たいねん！」
（2018（H30）年4月）

○GOTO2025×アカネキカク
「夢、再び『万博ダンス』こんにちは」
（2018（H30）年4月）

○2025大阪万博誘致応援15秒CM
（2018（H30）年11月）

（岩谷産業（株）、上新電機（株）、住友電気工業（株）、田辺三菱製薬（株）、（株）ハークスレイ
＊社名あいうえお順）

③国際会議等でのPR

国際会議等	日　程	場　所
2017（H29）年		
ASEAN経済大臣歓迎昼食会	4月 7日	大阪市
アフリカ開発会議（TICAD）閣僚会合	8月22日～27日	マプト市・プレトリア市
2018（H30）年		
日アフリカ官民経済フォーラム	5月 1日～ 6日	ヨハネスブルグ市
太平洋・島サミット（PALM8）歓迎レセプション	5月17日	東京都
持続可能な開発に関するハイレベル政治フォーラム	7月15日～19日	ニューヨーク

アフリカ開発会議（TICAD）閣僚会合	10月6日	東京都

※日程は出張期間であり、当該国際会議等の日程と一致しないことがあります

④私の考える万博絵画展展示場所一覧

No	展示場所	展示期間	展示数
1	イオンモール茨木	1月6日 ～ 1月10日	139作品
2	イオンモール大和郡山	1月6日 ～ 1月10日	153作品
3	イオンモール KYOTO	1月12日 ～ 1月17日	100作品
4	イオンモール鶴見緑地	1月12日 ～ 1月17日	254作品
5	イオンモール伊丹	1月19日 ～ 1月21日	156作品
6	イオンモール堺北花田	1月19日 ～ 1月24日	184作品
7	イオンモール りんくう泉南	1月26日 ～ 1月31日	174作品
8	イオンモール草津	1月26日 ～ 1月31日	126作品
9	大阪府立 中央図書館	2月6日 ～ 2月16日	831作品
10	エコール・いずみ	2月14日 ～ 3月6日	248作品
11	伊丹空港	2月24日 ～ 3月18日	74作品
12	大阪市役所	3月7日	24作品
13	エコール・ロゼ	3月10日 ～ 3月19日	114作品
14	関西国際空港	4月10日 ～ 5月8日	91作品
15	堺市役所	4月28日 ～ 5月6日	132作品
16	東大阪市役所	5月16日 ～ 5月29日	760作品
17	守口市役所	6月1日 ～ 6月28日	52作品
18	河南町立総合体育館	6月2日 ～ 6月29日	274作品
19	大東市立文化ホール	6月20日 ～ 7月1日	614作品
20	大東市・来ぶらり南郷	7月5日 ～ 7月16日	118作品
21	大阪府立 中之島図書館	7月9日 ～ 8月18日	272作品
22	吹田市役所	7月17日 ～ 7月30日	109作品
23	あべのキューズモール	7月20日 ～ 8月2日	397作品
24	大阪狭山市立公民館	7月23日 ～ 8月6日	446作品
25	藤井寺市役所	8月1日 ～ 8月17日	159作品
26	門真市民文化会館	8月2日 ～ 8月22日	172作品
27	柏原市民文化会館	8月5日 ～ 8月19日	394作品
28	大阪府立中央図書館	8月21日 ～ 9月17日	448作品
29	あべのキューズモール	8月30日 ～ 9月7日	244作品
30	八尾市役所	9月4日 ～ 9月14日	274作品
31	河内長野市KICCS	9月14日 ～ 9月28日	103作品
32	あべのキューズモール	9月20日 ～ 9月28日	254作品
33	あまがさき キューズモール	10月05日 ～ 10月31日	125作品
34	クリスタ長堀	10月29日 ～ 11月21日	287作品
35	千早赤阪村 くすのきホール	11月01日 ～ 11月14日	164作品
合　計			8,466作品

6. 2025年国際博覧会誘致特使

i)2025年国際博覧会誘致特使

（所属・役職は2018（H30）年10月時点）

- コシノジュンコ　デザイナー
- 千　玄室　茶道裏千家前家元
- 本田　圭佑　サッカーワールドカップロシア大会日本代表
- 山中　伸弥　京都大学iPS細胞研究所長／教授
- 山崎　直子　宇宙飛行士
- 横倉　義武　日本医師会会長／世界医師会会長

（外務省）

- 岡村　善文　TICAD担当／国連安保理改革兼人権担当大使
- 島内　憲　国連安保理改革・日カリブ交流担当大使
- 三輪　昭　元関西担当大使
- 白石　和子　元女性・人権人道担当兼北極担当大使
- 遠藤　茂　湾岸協力会議（GCC）担当大使
- 鈴木　庸一　国際貿易・経済担当大使

（民間）

- 中村　富安　ジェトロ参与／経済産業省国際博覧会交渉官／2017年アスタナ国際博覧会日本政府代表
- 岩倉　真樹　2025日本万国博覧会誘致委員会東京本部事務局次長／住友商事国内業務企画部参事
- 吉田　直正　宏輝株式会社常務取締役

ii)2025年国際博覧会誘致キャラクター特使

- ポケットモンスター
- ハローキティ

7. 大阪府政策企画部万博担当者名簿

（誘致委員会設立前大阪府担当者）

【2014（H26）年（11月1日）から】

企画室政策課	参事	森　栄子
	課長補佐	長畑 敬延

【2015（H27）年（4月1日）から】

企画室政策課	副理事	露口 正夫

【2016（H28）年（4月1日）から】

企画室政策課	参事	長町 憲一
	課長補佐	勝見 友一
	主査	山田 貴寛
	主査	内田 知子
	主事	森本 真由

【2016（H28）年（8月16日）から】

企画室政策課	参事	山野 光昭
	参事	仲谷 元伸
	課長補佐	伊吹 善仁
	課長補佐	瀬藤 威夫

※2016（H28）年8月16日万博誘致プロジェクトチームが発足

【2016（H28）年（11月21日）から】

万博誘致推進室	参事	平野　剛
	課長補佐	田中 博之
	主査	新谷 信満

※2016（H28）年11月21日企画室から万博誘致推進室が独立し、室長に露口、課長に森、山野が就任

8. 2025日本万国博覧会誘致委員会規約

2025日本万国博覧会誘致委員会規約

（名称）
第1条　本会は、2025日本万国博覧会誘致委員会（以下「委員会」という。）と称する。
（目的）
第2条　委員会は、行政、経済界、各種団体等が協力し、オールジャパン体制で国の内外に向けて積極的に訴えかけることにより、2025年に大阪・関西における国際博覧会の誘致を実現することを目的とする。
（事業）
第3条　委員会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。
(1) 博覧会国際事務局及び国際博覧会条約加盟国に対する誘致プロモーション事業
(2) 国内における開催機運の醸成に関する事業
(3) 前2号に掲げるもののほか、前条の目的を達成するために必要な事業
2　委員会は、前項に掲げるもののほか、誘致結果を受けて、2025年日本国際博覧会協会設立にかかる準備事業を行う。
（会員）
第4条　委員会は、次に掲げるもののうち、第2条の目的に賛同し、所定の手続きを経たもの（以下「会員」という。）をもって構成する。
(1) 各種団体、企業等（以下「団体等」という。）
(2) 行政機関
(3) 個人
（会員の報酬）
第5条　会員は、無報酬とする。
（役員）
第6条　委員会に、次の役員を置く。
(1) 会長　　1名
(2) 会長代行　　若干名
(3) 副会長　　若干名
(4) 顧問　　若干名
2　会長は、2025日本万国博覧会誘致委員会準備会が選出した者をもって充てる。
3　会長代行、副会長及び顧問は、会長が指名する者をもって充てる。
（役員の職務）
第7条　会長は、委員会を代表し、会務を総理する。
2　会長代行は、会長を補佐する。
3　副会長は、会長及び会長代行を補佐する。
4　会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、あらかじめ会長に指名された者がその職務を代理する。なお、前条第2項の規定にかかわらず、新たに会長を選出する必要が生じたときは、第13条に定める役員会において決定するものとする。
（役員の任期）
第8条　役員の任期は、委員会の解散の日までとする。
（委員）
第9条　委員会に、誘致に関する事業及び取組みを推進し、支援する委員を置く。
2　委員は、会長が指名する。
（監事）
第10条　委員会に、監事を置く。
2　監事は、会長が委嘱する。
3　監事の任期については、第8条の規定を準用する。
4　監事は、委員会の会計を監査し、役員会に報告する。
（国の関与）
第11条　経済産業大臣は、オブザーバーとして、委員会の活動について助言を行う。
（総会）
第12条　委員会の総会は、会長が招集し、及びその議長となる。
2　議長は、委員会の総会において、会計年度における事業計画、予算、決算その他の委員会の運営に係る重要事項を報告する。
3　前2項に定めるもののほか、委員会の総会の構成その他当該総会に関し必要な事項は、別に定める。
（役員会）
第13条　会務の円滑な執行を図るため、委員会に役員会を置く。
2　役員会は、第6条第1項各号に掲げる役員をもって構成し、会計年度における事業計画、予算、決算その他の委員会の運営に関し会長が特に必要と認める事項について審議し、及び決定する。
3　役員会は、会長が招集し、及びその議長となる。
4　役員会は、役員の過半数が出席しなけれ

ば、会議を開くことができない。
5　役員会の議事は、役員の出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。
6　会長は、必要に応じて、役員会の会議の議事に関係のある者の出席を求め、その意見若しくは説明を聴き、又は資料の提出を求めることができる。
7　やむを得ない理由のため、役員会の会議に出席できない役員は、あらかじめ書面で表決し、又は他の出席する役員を代理人として表決を委任することができる。この場合において、第4項及び第5項の規定の適用については、その役員は出席したものとみなす。
8　会長は、役員会を招集する暇のない場合及び議事が軽易である場合は、役員会の会議に付議すべき事案を記載した書面を役員に回付し、その賛否を問うことにより役員会の会議に変えることができる。

（事務局）
第14条　委員会の事務を処理するため、事務局を東京都千代田区及び大阪府大阪市に置く。
2　事務局に会長を補佐し、事務局を代表、指揮する事務総長を置くことができる。
3　事務総長は、会長が指名する。
4　事務局を統括するため、事務局長を置く。
5　事務局長を補佐するため、事務局参与を置く。
6　前各項に規定するもののほか、事務局の構成、会計事務及び運営に関し必要な事項は、事務局長が定める。

（部会）
第15条　第2条の目的を達成するために必要な事項について検討を行うため、必要に応じて委員会に部会を置くことができる。
2　部会に部会長及び副部会長を置き、それぞれ委員等の中から会長が指名する。
3　部会の構成員は、部会長が指名する。
4　部会は、会長の命を受け、必要な事項を調査検討し、委員会に報告する。

（費用負担）
第16条　委員会の運営及び事業に要する経費は、大阪府、大阪市及び会員である団体等（以下「会員企業等」という。）からの分担金その他の収入をもって充てる。
2　委員会の運営及び事業に要する経費に係る分担金については、原則として大阪府、大阪市及び会員企業等の三者に同額を割り当てる。ただし、やむを得ない事由により割り当てられた分担金を負担することができないときは、三者間で別途協議することとする。

（寄附）
第17条　委員会は、各種団体、企業、個人等からの寄附を受け付けることができる。

（会計年度）
第18条　委員会の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。ただし、委員会設立初年度は、設立の日からその日以降最初に到達する3月31日までとする。

（出納閉鎖）
第19条　出納は、会計年度の翌年度の5月31日をもって閉鎖する。

（解散）
第20条　委員会は、役員会の議決を経て解散する。

（残余金）
第21条　決算に残余金が生じた場合は、役員会において審議し、その取扱いを決定する。

（残余財産）
第22条　委員会が解散するときに有する残余財産については、役員会において審議し、その取扱いを決定する。

（補則）
第23条　この規約に定めるもののほか、委員会に関し必要な事項は、会長が定める。

附　則

（施行期日）
1　この規約は、平成29年3月27日から施行する。

（経過措置）
2　委員会設立時においては、本則の規定に関わらず、事業計画及び予算については、総会における承認をもって決定する。

（2025日本万国博覧会誘致委員会準備会関係）
3　2025日本万国博覧会誘致委員会準備会会長が行った予約及び契約は、委員会会長へ引継ぐものとする。

附　則

この規約は、平成29年9月4日から施行する。

附　則

この規約は、平成30年3月1日から施行する。

附　則

1　この規約は、平成30年11月26日から施行する。

2　2025年日本国際博覧会協会（以下「協会」という。）が設立されたときは、協会に第３条第２項の事業に係る契約その他の権利及び財産を承継することとする。

9. 2025日本万国博覧会誘致委員会名簿等

①2025日本万国博覧会誘致委員会（準備会）役員名簿（役職名は就任時点）

会　長

松井 一郎	大阪府知事
森　詳介	公益社団法人関西経済連合会会長
吉村 洋文	大阪市長
井戸 敏三	関西広域連合長
尾崎　裕	大阪商工会議所会頭
蔭山 秀一	一般社団法人関西経済同友会代表幹事
鈴木 博之	一般社団法人関西経済同友会代表幹事

②2025日本万国博覧会誘致委員会

ⅰ）役員（役職名は就任時点）

会　長

榊原 定征	一般社団法人日本経済団体連合会会長

会長代行

松井 一郎	大阪府知事
森　詳介	公益社団法人関西経済連合会会長　～2017（H29）年6月1日
松本 正義	公益社団法人関西経済連合会会長　2017（H29）年6月1日～

副会長

吉村 洋文	大阪市長
井戸 敏三	関西広域連合長
尾崎　裕	大阪商工会議所会頭
蔭山 秀一	一般社団法人関西経済同友会代表幹事　～2017（H29）年6月1日
鈴木 博之	一般社団法人関西経済同友会代表幹事　～2018（H30）年5月15日
黒田 章裕	一般社団法人関西経済同友会代表幹事　2017（H29）年6月1日～
池田 博之	一般社団法人関西経済同友会代表幹事　2018（H30）年5月15日～
立石 義雄	京都商工会議所会頭
家次　恒	神戸商工会議所会頭
森　詳介	公益社団法人関西経済連合会相談役　2017（H29）年6月1日～
古賀 信行	一般社団法人日本経済団体連合会副会長　2017（H29）年6月1日～
早川　茂	一般社団法人日本経済団体連合会副会長　2017（H29）年6月1日～

ⅱ）顧問、相談役、委員及び監事（社名・役職名は就任時点）

顧　問

中西 宏明	一般社団法人日本経済団体連合会会長　2018（H30）年5月31日～
三村 明夫	日本商工会議所会頭　2017（H29）年9月4日～
小林 喜光	公益社団法人経済同友会代表幹事　2017（H29）年9月4日～

相談役

鈴木　博之	丸一鋼管株式会社代表取締役会長兼CEO　2018（H30）年5月15日～（前　一般社団法人関西経済同友会 代表幹事）

委　員

アートコーポレーション株式会社
代表取締役社長　寺田 千代乃
株式会社IHI
代表取締役会長　斎藤　保
株式会社アシックス
代表取締役会長兼社長CEO　尾山　基
味の素株式会社
代表取締役　取締役会長　伊藤 雅俊
株式会社池田泉州銀行
代表取締役頭取　藤田 博久
伊藤忠商事株式会社
代表取締役社長COO　鈴木 義久
岩谷産業株式会社
代表取締役会長兼CEO　牧野 明次
AIGジャパン・ホールディングス株式会社
代表取締役社長兼CEO
ロバート・L・ノディン

ANAホールディングス株式会社
代表取締役社長　片野坂 真哉
王子ホールディングス株式会社
代表取締役会長　進藤 清貴
大阪ガス株式会社
代表取締役会長　尾崎　裕
大阪信用金庫
会長　樋野 征治
株式会社大林組
代表取締役会長　大林 剛郎
オムロン株式会社
取締役会長　立石 文雄
オリックス株式会社
取締役兼代表執行役社長・グループCEO
井上　亮
がんこフードサービス株式会社
代表取締役会長　小嶋 淳司
関西エアポート株式会社
代表取締役社長　山谷 佳之
関西電力株式会社
代表取締役会長　八木　誠
キヤノン株式会社
代表取締役会長CEO　御手洗 冨士夫
株式会社京都銀行
取締役相談役　柏原 康夫
近鉄グループホールディングス株式会社
代表取締役会長　小林 哲也
株式会社クボタ
代表取締役社長　木股 昌俊
KNT-CTホールディングス株式会社
代表取締役社長　丸山 隆司
株式会社神戸製鋼所
相談役　佐藤 廣士
コクヨ株式会社
代表取締役会長　黒田 章裕
株式会社小松製作所
取締役会長　野路 國夫
株式会社サクラクレパス
代表取締役会長　西村 貞一
サントリーホールディングス株式会社
代表取締役副会長　鳥井 信吾
JXTGホールディングス株式会社
代表取締役社長　杉森　務
株式会社JTB
代表取締役社長　髙橋 広行
塩野義製薬株式会社
代表取締役社長　手代木 功
シスメックス株式会社
代表取締役会長兼社長　家次　恒
清水建設株式会社
代表取締役会長　宮本 洋一
昭和電工株式会社
代表取締役会長　市川 秀夫
新日鐵住金株式会社
代表取締役社長　進藤 孝生
新日本有限責任監査法人
マネージング・ディレクター　松村 直季
住友化学株式会社
代表取締役社長兼社長執行役員　十倉 雅和
住友商事株式会社
取締役会長　中村 邦晴
住友生命保険相互会社
取締役会長 代表執行役　佐藤 義雄
住友電気工業株式会社
取締役会長　松本 正義
双日株式会社
代表取締役会長　佐藤 洋二
ソニー株式会社
代表執行役社長兼CEO　平井 一夫
ダイキン工業株式会社
取締役会長兼グローバルグループ代表執行役員
井上 礼之
大成建設株式会社
代表取締役会長　山内 隆司
大同生命保険株式会社
代表取締役社長　工藤　稔
大日本印刷株式会社
代表取締役社長　北島 義俊
株式会社竹中工務店
取締役会長　竹中 統一
田辺三菱製薬株式会社
相談役　土屋 裕弘
千代田化工建設株式会社
代表取締役会長　長坂 勝男
帝人株式会社
相談役　大八木 成男
東京海上ホールディングス株式会社
取締役会長　隅　修三
東洋テック株式会社
代表取締役社長　田中　卓
東洋紡株式会社
代表取締役会長　坂元 龍三

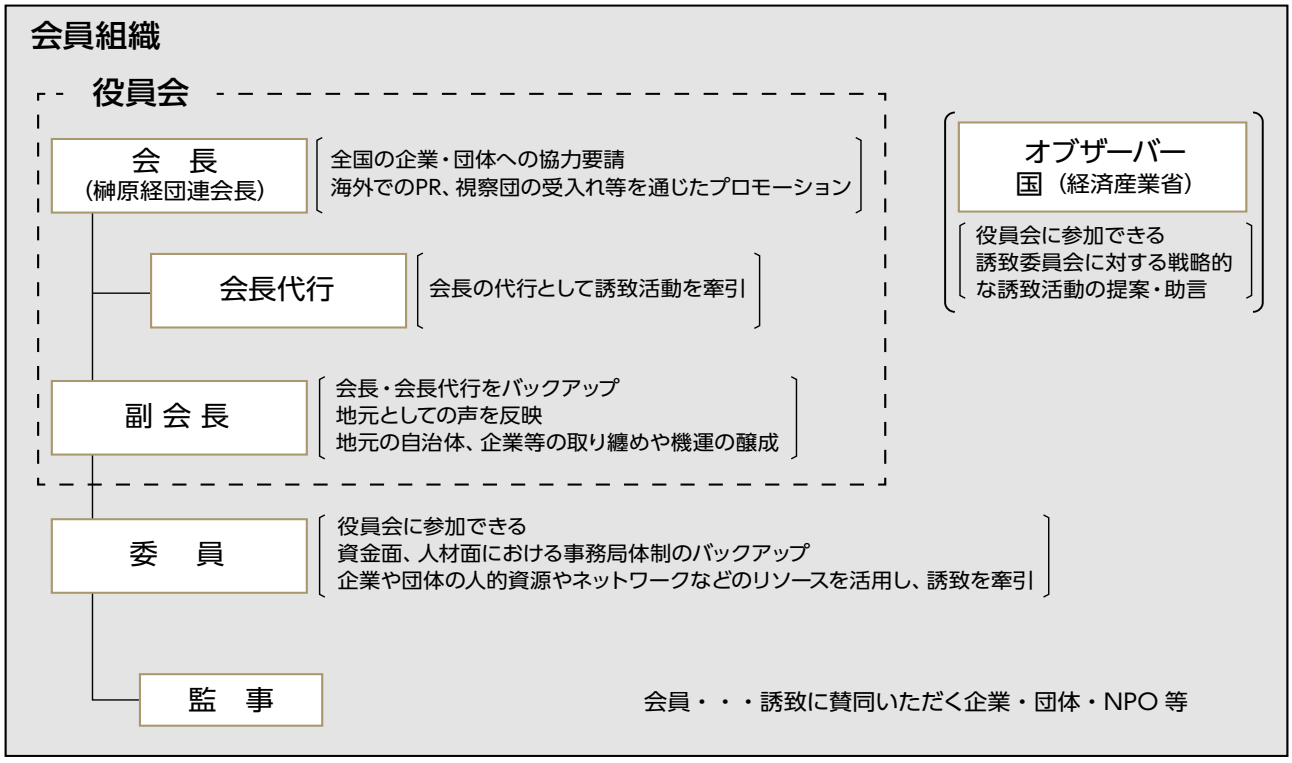
凸版印刷株式会社
代表取締役社長　金子 眞吾
豊田通商株式会社
相談役　小澤　哲
南海電気鉄道株式会社
取締役相談役　山中　諄
西日本電信電話株式会社
代表取締役社長　村尾 和俊
西日本旅客鉄道株式会社
取締役会長　真鍋 精志
日揮株式会社
代表取締役会長兼CEO　佐藤 雅之
日本郵船株式会社
代表取締役会長・会長経営委員　工藤 泰三
日本郵便株式会社
代表取締役社長　横山 邦男
日本航空株式会社
代表取締役会長　植木 義晴
日本生命保険相互会社
代表取締役会長　筒井 義信
日本電信電話株式会社　～2018(H30)年5月31日
代表取締役社長　鵜浦 博夫
パナソニック株式会社
取締役副会長　松下 正幸
阪急電鉄株式会社
代表取締役会長　角　和夫
阪神電気鉄道株式会社
代表取締役会長　藤原 崇起
株式会社日立製作所　～2018(H30)年5月31日
取締役会長兼代表執行役　中西 宏明
日立造船株式会社
相談役　古川　実
丸一鋼管株式会社
代表取締役会長兼CEO　鈴木 博之
丸紅株式会社
取締役会長　朝田 照男
三井住友海上火災保険株式会社
常任顧問　江頭 敏明
株式会社三井住友銀行
副会長　伊藤 雄二郎
三井物産株式会社
代表取締役会長　飯島 彰己
株式会社三越伊勢丹ホールディングス
特別顧問　石塚 邦雄
株式会社三菱ケミカルホールディングス
代表執行役社長　越智　仁
三菱重工業株式会社
取締役社長・CEO　宮永 俊一
三菱商事株式会社
取締役会長　小林　健
三菱電機株式会社
相談役　山西 健一郎
株式会社三菱東京UFJ銀行
取締役副会長執行役員　園　潔
ヤマト運輸株式会社関西支社
常務執行役員 関西支社長　北村　稔
吉本興業株式会社
代表取締役社長　大﨑　洋
株式会社りそな銀行
代表取締役社長　東　和浩
レンゴー株式会社
代表取締役会長兼社長　大坪　清
ロート製薬株式会社
代表取締役会長兼CEO　山田 邦雄
大阪府議会
議長　岩木　均
大阪市会
議長　角谷 庄一
大阪府市長会
会長　阪口 伸六
大阪府町村長会
会長　松本 昌親
大阪府市議会議長会
会長　嶋野 浩一朗
大阪府町村議長会
会長　川嶋 玲子

監　事
公認会計士　石橋正紀事務所　　石橋　正紀

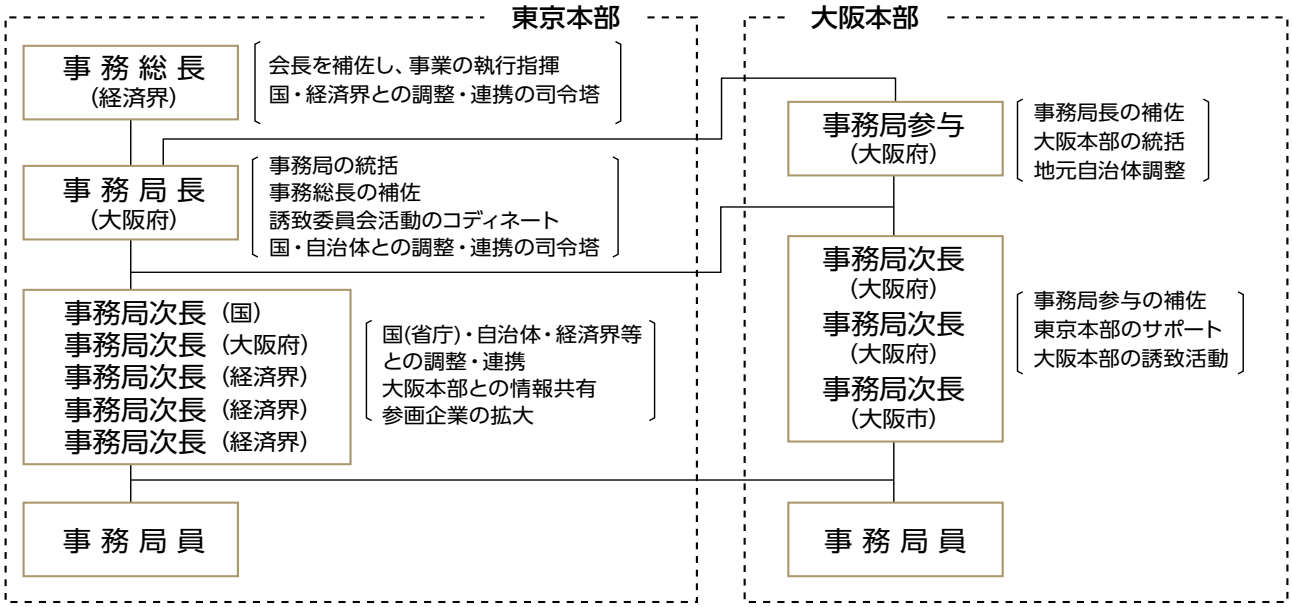
iii）2025日本万国博覧会誘致委員会関係者会議メンバー

- 大阪府政策企画部長　山口 信彦
- 公益社団法人関西経済連合会専務理事　関 総一郎
- 大阪市経済戦略局長　柏木 陸照
- 関西広域連合本部事務局事務局長
  （～ 2018（H30）3.31）　中塚 則男
  （2018（H30）4.1 ～）　村上 元伸
- 大阪商工会議所専務理事　宮城　勉
- 一般社団法人関西経済同友会常任幹事事務局長　廣瀬 茂夫
- 京都商工会議所専務理事　奥原 恒興
- 神戸商工会議所専務理事　中林 志郎

iv）誘致委員会組織図



事務局体制



v）役員会の開催日時・総会の取扱い

依頼	決定	内　容	備考
H30. 7. 7	H30. 9. 4	1. 2025日本万国博覧会誘致委員会規約の一部改正 • 役員体制における顧問の設置	書面開催
H30. 2.14	H30. 3. 1	1. 2025日本万国博覧会誘致委員会規約の一部改正 • 監事の役割及び役員会へ監査報告を行うことを追加 • 誘致委員会総会の構成員等を別に定めることを追加 • 役員会における書面決議に関する定めを追加 2. 2025日本万国博覧会誘致委員会における招聘等の費用負担に関する規程の制定 3. 2017年度補正予算	書面開催
H30. 5.11	H30. 5.29	1. 2025日本万国博覧会誘致委員会2018年度事業計画 2. 2018年度予算	書面開催
H30. 9.28	H30. 10.26	1. 2017年度決算（案）及び2017年度事業報告（案） 2. 2016年度決算（案）及び2016年度事業報告（案） 3. 上記1及び2等のホームページ掲載によって総会の開催に代えることについて	書面開催
H30. 10.29	H30. 11.15	1. 2018年度補正予算の編成について	書面開催
H30. 11.26	H30. 11.26	1. 2025日本万国博覧会誘致委員会規約の一部改正について •「協会設立に係る準備事業」を誘致委員会の事業に追加	招集
H31. 3.12	H31. 3.28	1. 2018年度決算（案）及び2018年度事業報告（案） 2. 2025日本万国博覧会誘致委員会の解散について 3. 残余財産の取扱いについて 4. 清算人の選定について	書面開催

vi）予算・決算

ア）2016（H28）年度

（予算）

●収支予算

2016（H28）年度事業費

歳入予算　（単位：千円）

科　目	予算額
分担金	12,541
その他収入	0
合　計	12,541

歳出予算　（単位：千円）

科　目	予算額
海外プロモーション費	4,500
国内機運醸成費	3,500
事務費	4,541
合　計	12,541

• 海外プロモーション費

○BIE加盟国に対するプロモーションやPR活動を行うために必要な広報・啓発物の作成・購入

○立候補申請後に実施が見込まれるBIE調査項目等について、適切な把握等を行うための準備

〈主な内容〉

・誘致PRピンバッジの作成

・他言語言語パンフレットデザイン等の作成

・プロモーション用ノベルティグッズ、贈答用品の購入

・BIE調査項目等の翻訳

• 国内機運醸成費

○2025日本万国博覧会の誘致実現に向けた活動を本格化するための機運醸成運動の実施

○万博誘致のシンボルとなるロゴマークの作成

〈主な内容〉

・2025日本万国博覧会誘致委員会総会の開催

・万博誘致ロゴマークの公募にかかるPRポスター等の作成

• 事務事業

○誘致委員会事務局の東京本部開設準備（2017年4月開設）

〈主な内容〉
・東京本部の入居事務所の改修等

（決算）
2025日本万国博覧会誘致委員会 2016年度決算
収支計算書
（自 2016（H28）年11月9日
至 2017（H29）年3月31日）

（収入の部）　（単位：円）

科　目	予算額	決算額	内　訳
分担金	12,541,000	7,638,947	大阪府 2,546,316
			大阪市 2,546,316
			経済界 2,546,315
合　計	12,541,000	7,638,947	

（支出の部）　（単位：円）

科　目	予算額	決算額	内　訳
海外プロモーション費	4,500,000	4,153,032	プロモーション用ノベルティ 1,166,832
			各国要人向け贈答品 2,009,340
			他言語パンフレットデザイン等 976,860
国内機運醸成費	3,500,000	614,682	誘致PRピンバッジ作成 479,304
			ロゴ公募用ポスター等作製 135,378
事務費	4,541,000	2,871,233	設立総会開催費 1,022,897
			東京本部開設準備費 1,666,264
			事務諸費 182,072
合　計	12,541,000	7,638,947	

※2016（H28）年11月9日に発足した2025日本万国博覧会誘致委員会準備会の収入及び支出を含む。
※2025日本万国博覧会誘致委員会は2017年3月27日に設立。2025日本万国博覧会誘致委員会準備会の事業を引き継いだ。

附属書類
○企業からの協賛金受入状況　（単位：円）

入　金	出　金	残　額	備　考
・企業からの協賛金 7,000,000 ・預金利息 15 計 7,000,015	・誘致活動資金への充当 2,546,315	4,453,700	残額は2017年度経済界負担分に充当

イ）2017（H29）年度
（予算）
●収支予算
2017（H29）年度事業費
歳入予算　（単位：千円）

科　目	予算額
分担金	200,356
その他収入	0
合　計	200,356

歳出予算　（単位：千円）

科　目	予算額
海外プロモーション費	130,000
国内機運醸成費	47,000
事務費	23,356
合　計	200,356

• 海外プロモーション費
○6月と11月に開催予定のBIE総会における支持要請プロモーション活動の実施
○アスタナ（カザフスタン）で開催される国際博覧会の日本館における出展、ジャパンデー（7月22日）での支持要請プロモーション活動の実施
○BIE調査団の現地（大阪・夢洲）視察対応、シティドレッシング（街中の装飾）の実施
○国の外交ルートや会員企業の経済交流・自治体の海外プロモーション等との連携・協力による誘致プロモーションの実施
〈主な内容〉

・BIE総会でのプレゼンテーションの実施、プロモーション動画の制作
・アスタナ国際博覧会への出展
・BIE調査団訪問時のシティドレッシング（街中の装飾）の実施
・多国語言語パンフレット等の制作

• 国内機運醸成費
〇誘致活動の情報発信などによる会員拡大や全国への機運醸成運動の展開
〈主な内容〉
・誘致委員会ホームページの作成、SNSや著名人の方による応援メッセージなどの発信
・各種のフォーラムやパネルディスカッションなどの開催
・誘致委員会総会の開催

• 事務事業
〇誘致委員会事務局の運営

（決算）

2025日本万国博覧会誘致委員会 2017年度決算
収支計算書
（自 2017（H29）年4月1日
至 2018（H30）年3月31日）

（収入の部）　（単位：円）

科　目	予算額	決算額	内　訳
分担金	329,213,000	177,668,448	大阪府 59,222,816
			大阪市 59,222,816
			経済界 59,222,816
有償頒布収入	21,500,000	13,740,255	
その他収入	0	152,200,000	日本万国博覧会記念基金からの寄付
合　計	350,713,000	343,608,703	

（支出の部）　（単位：円）

科　目	予算額	決算額	内　訳
海外プロモーション費	146,100,000	111,070,714	誘致プロモーション活動 60,713,781
			BIE加盟国視察受入 30,560,040
			海外要人用報償品作成 9,645,109
			プロモーション動画作成 8,100,378
			多言語パンフレット作成等 2,051,406
国内機運醸成費	163,153,000	193,004,836	企画及び支援業務委託 169,079,881
			PRグッズ作成 10,880,841
			ロゴマークの策定 9,648,262
			ホームページ・映像作成費 2,787,210
			シンポジウム開催等 608,642
有償頒布物製作費	20,500,000	17,241,642	ポロシャツ作成 9,585,253
			スタッフジャンパー作成 7,656,389
事務費	20,960,000	22,291,511	東京本部経費 13,566,489
			事務諸費 8,725,022
合　計	350,713,000	343,608,703	

附属書類

○企業からの協賛金受入状況　（単位：円）

入　金	出　金	残　額	備　考
・企業からの協賛金 134,250,000 ・前年度からの繰越金 4,453,700 ・預金利息 0	・誘致活動資金への充当 59,222,816	79,480,884	残額は2018年度経済界負担分に充当
計 138,703,700			

○有償頒布事業の状況　（単位：円）

入　金	出　金	残額	備　考
・ポロシャツ 5,882着 9,411,200	・誘致活動資金への充当 13,740,255	0	・ポロシャツ 単価1,600
・スタッフジャンパー 1,443着 4,329,000			・スタッフジャンパー 単価3,000
・預金利息 55			
計 13,740,255			

○寄附金の状況　（単位：円）

入　金	出　金	残額	備考
・日本万国博覧会記念基金からの寄付 152,200,000	・誘致活動資金への充当 152,200,000	0	

ウ）2018（H30）年度

（予算）

●収支予算

2018（H30）年度事業費

歳入予算　（単位：千円）

科　目	予算額
分担金	168,405
寄付金収入	153,000
その他収入	0
合　計	321,405

歳出予算　（単位：千円）

科　目	予算額
海外プロモーション費	183,298
国内機運醸成費	111,743
事務費	26,364
合　計	321,405

〈歳入予算〉

・寄付金収入

○日本博覧会記念基金

○クラウドファンディング

〈歳出予算〉

・海外プロモーション費

○BIE加盟国のキーパーソン招聘、在京大使プロモーション等

○各種国際会議の機会を活用した働きかけ

○BIE総会（6月、11月）におけるプロモーション

○BIE総会（6月、11月）時の公式レセプション開催

○立候補国公式行事「ジャパンレセプション」（6月）、開催決定国公式レセプション（11月）

○プロモーション動画作成、ノベルティ作成等

・国内機運醸成費

○シンボリックイベントの開催等

○カウントダウン、SDGsの達成等万博の意義をテーマとしたイベント、メディア広告出稿等

○万博開催機運の維持、全国への拡大

○ホームページの充実、各種PRツール・グッズの作成等

・事務事業

○大阪本部、東京本部事務経費

〈補正予算の編成について〉

○補正予算

・当初予算編成後、下記増減要因が発生

①開催決定後の実態主体（協会）設立検討費の計上（新規）

〈歳出〉　誘致委員会で検討することで合意、新規項目建て（協会設立検討費）

〈歳入〉　分担金より拠出

②りそなグループによる私募債発行に係る

寄付収入(新規)
〈歳入〉　寄付金収入
〈歳出〉　寄付者の意向により、国内機運醸成費に充当

③クラウドファンディングによる収入金額の精査
〈歳入〉　寄付金収入
〈歳出〉　寄付募集の目的から、国内機運醸成費に充当

④有償頒布事業収入の計上(新規)
〈歳入〉　新規項目建て(有償頒布事業収入)
〈歳出〉　事業実施の目的から、国内機運醸成費に充当

⑤万博基金からの寄付金額の精査
〈歳入〉　寄付金収入
〈歳出〉　国内機運醸成費に充当

○補正額　(単位：千円)

歳入予算	補正額
分担金	+23,790
寄付金収入	+43,764
その他収入	±0
有償頒布事業業収入	+1,828
合　計	+69,382

(単位：千円)

歳出予算	補正額
海外プロモーション費	±0
国内機運醸成費	+45,592
事務費	±0
協会設立検討費	+23,790
合　計	+69,382

○補正後予算額　(単位：千円)

歳入予算	補正後予算額
分担金	192,195
寄付金収入	196,764
その他収入	0
有償頒布事業収入	1,828
合　計	390,787

(単位：千円)

歳出予算	補正後予算額
海外プロモーション費	183,298
国内機運醸成費	157,335
事務費	26,364
協会設立検討費	23,790
合　計	390,787

(決算)

2025日本万国博覧会誘致委員会 2018年度決算
収支計算書
(自 2018(H30)年4月1日
至 2019(H31)年3月31日)

(収入の部)　(単位：円)

科　目	予算額	決算額	内　訳
分担金	192,195,000	180,439,186	大阪府 60,146,395
			大阪市 60,146,395
			経済界 60,146,396
寄附金収入	196,764,000	196,764,000	日本万国博覧会記念基金からの寄付 150,020,000
			りそなグループからの寄附 45,180,000
			クラウドファンディングによる収入 1,564,000
その他収入	0	0	
有償頒布収入	1,828,000	1,828,240	
合　計	390,787,000	379,031,426	

（支出の部）　（単位：円）

科　目	予算額	決算額	内　訳
海外プロモーション費	183,298,000	137,361,730	誘致プロモーション活動 134,339,162
			BIE加盟国視察受入 2,329,586
			海外要人用報償品作成 692,982
国内機運醸成費	157,335,000	189,690,797	企画及び支援業務委託 188,585,299
			シンポジウム開催等 968,770
			映像製作費 136,728
事務費	26,364,000	30,623,971	東京本部経費 12,734,052
			事務諸費 17,889,919
協会設立検討費	23,790,000	21,354,928	協会設立検討費 21,354,928
合　計	390,787,000	379,031,426	

（注）当会計年度の終了日は、2019年3月31日であるが、収入及び支出額は2019年2月28日に確定している。

附属書類

○企業からの協賛金受入状況　（単位：円）

入　金	出　金	残　額	備　考
・企業からの協賛金 0 ・前年度からの繰越金 79,480,884 ・預金利息 0	・誘致活動資金への充当 79,480,884	0	
計 79,480,884			

○有償頒布事業の状況　（単位：円）

入　金	出　金	残額	備　考
・ポロシャツ 687着 1,099,200	・誘致活動資金への充当 1,828,240	0	・ポロシャツ 単価1,600
・スタッフジャンパー 243着 729,000			・スタッフジャンパー 単価3,000
・預金利息 40			
計 1,828,240			

○寄附金の状況　（単位：円）

入　金	出　金	残額	備考
・日本万国博覧会記念基金からの寄付 150,020,000	・誘致活動資金への充当 150,020,000	0	
・りそなグループによる私募債発行に係る寄附 45,180,000	・誘致活動資金への充当 45,180,000	0	
・クラウドファンディング実施による寄附 1,564,000	・誘致活動資金への充当 1,564,000	0	

vi）事務局職員

【2017（H29）年4月1日時点】

事務局長	榮野 正夫
事務局参与	小林 宏行
大阪本部事務局次長	露口 正夫
東京本部事務局次長	永井 隆裕
東京本部事務局次長	続橋　聡
大阪本部総務企画課長	東口 勝宏
大阪本部参事	西田 憲敏
大阪本部参事	柳田 好男
東京本部事務局課長	坂下　契
大阪本部参事	長町 憲一
大阪本部課長代理	長畑 敬延
大阪本部係長	神瀬 博章
大阪本部係長	川崎 泰弘
大阪本部主任	山木 径子
大阪本部参事	仲谷 元伸
大阪本部課長代理	中根 慶太
大阪本部課長代理	新谷 友浩

大阪本部課長代理	田中 博之
東京本部課長代理	丹羽　健
東京本部課長代理	横谷 博史
大阪本部係長	新谷 信満
大阪本部係長	岡部 雅信
大阪本部係長	西島 健太郎
東京本部係長	中嶋 直人
大阪本部主任	森本 真由

【2018（H30）年4月13日時点】

事務総長	櫟　真夏
事務局長	榮野 正夫
事務局参与	小林 宏行
大阪本部事務局次長	露口 正夫
大阪本部事務局次長	芳本 竜一
大阪本部事務局次長	川嶋 伸治
東京本部事務局次長	布瀬 雅義
東京本部事務局次長	永井 隆裕
東京本部事務局次長	続橋　聡
東京本部事務局次長	岩倉 真樹
東京本部事務局次長	深瀬 聡之
大阪本部総務企画課長	東口 勝宏
大阪本部参事	長町 憲一
大阪本部課長代理	中谷　敬
大阪本部課長代理	長畑 敬延
大阪本部課長代理	松岡 志保
大阪本部係長	神瀬 博章
大阪本部係長	川崎 泰弘
大阪本部主任	山木 径子
大阪本部事務局課長	森　栄子
東京本部事務局課長	坂下　契
大阪本部参事	棗原 真一
大阪本部参事	仲谷 元伸
大阪本部課長代理	中根 慶太
大阪本部課長代理	瀬藤 威夫
大阪本部課長代理	田中 博之
東京本部課長代理	犬飼 泰子
東京本部課長代理	丹羽　健
東京本部課長代理	横谷 博史
大阪本部係長	鈴木 貴司
大阪本部係長	新谷 信満
東京本部係長	中嶋 直人
大阪本部事務局課長	居軒 正史
大阪本部参事	柳田 好男
大阪本部課長代理	勝見 友一
大阪本部課長代理	新谷 友浩
大阪本部課長代理	山岡　豊
大阪本部係長	山田 貴寛
大阪本部係長	西島 健太郎
大阪本部主任	杉田 裕人
大阪本部主任	柳谷 摩耶
大阪本部事務局課長	山野 光昭
大阪本部参事	木下 正浩
大阪本部参事	平野　剛
大阪本部課長代理	伊吹 善仁
大阪本部課長代理	上枝 和司
大阪本部課長代理	定　道生
大阪本部課長代理	藤原 省吾
大阪本部係長	内田 知子

10. オフィシャルパートナー等一覧

ⅰ）スペシャルパートナー（1団体）

公益財団法人　関西・大阪21世紀協会

ⅱ）オフィシャルパートナー（197社・団体）

アートコーポレーション株式会社
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
青木あすなろ建設株式会社
アクセンチュア株式会社
株式会社淺沼組
株式会社アシックス
イオン株式会社
株式会社池田泉州銀行
伊藤忠商事株式会社
因幡電機産業株式会社
岩井コスモ証券株式会社
岩谷産業株式会社
Vinci Airports
株式会社ウェーブリッジ
全日本空輸株式会社
AIG損害保険株式会社
SRSホールディングス株式会社
株式会社エディオン
エデルマン・ジャパン株式会社
NTN株式会社
株式会社エフエム大阪
FC大阪
株式会社OSGコーポレーション
大阪高速鉄道株式会社
大阪ガス株式会社
大阪広域生コンクリート協同組合
大阪高速鉄道株式会社
大阪シティ信用金庫
大阪シティバス株式会社
大阪信用金庫
一般社団法人大阪青年会議所
一般社団法人大阪府宅地建物取引業協会
一般社団法人大阪府トラック協会
大阪ラセン管工業株式会社
株式会社大林組
奥村組土木興業株式会社
株式会社奥村組
オムロン株式会社
オリックス株式会社
鹿島建設株式会社
葛城煙火株式会社
株式会社カネカ
川崎重工業株式会社
がんこフードサービス株式会社
関西エアポート株式会社
関西電力株式会社
株式会社関西ぱど
関電不動産開発株式会社
共英製鋼株式会社
京セラドキュメントソリューションズ株式会社
株式会社京都銀行
京都中央信用金庫
キリン株式会社
近鉄グループホールディングス株式会社
株式会社きんでん
株式会社クボタ
株式会社熊谷組
グンゼ株式会社
KNT-CTホールディングス株式会社
京阪ホールディングス株式会社
光世証券株式会社
株式会社鴻池組
株式会社神戸製鋼所
GOTO2025プロジェクト
株式会社ゴールドファステート
コクヨ株式会社
小林製薬株式会社
株式会社サイネックス
株式会社サカイ引越センター
株式会社サクラクレパス
サントリーホールディングス株式会社
山陽電気鉄道株式会社
シーザーズ・エンターテインメント
株式会社シーマ
株式会社JTB
塩野義製薬株式会社
シスメックス株式会社
株式会社島津製作所
清水建設株式会社
株式会社ジュピターテレコム
上新電機株式会社
城東テクノ株式会社
新生ホームサービス株式会社
新日鐵住金株式会社
新日本有限責任監査法人
住友大阪セメント株式会社
住友化学株式会社
住友金属鉱山株式会社

住友ゴム工業株式会社
住友重機械工業株式会社
住友商事株式会社
住友生命保険相互会社
株式会社住友倉庫
住友電気工業株式会社
住友不動産株式会社
住友ベークライト株式会社
住友林業株式会社
積水ハウス株式会社
セコム株式会社
公益社団法人全日本不動産協会大阪府本部
相互タクシー株式会社
双日株式会社
損害保険ジャパン日本興亜株式会社
株式会社ダイカン
ダイキン工業株式会社
株式会社大広
大成建設株式会社
株式会社ダイセル
大同生命保険株式会社
大日本印刷株式会社
大日本住友製薬株式会社
ダイハツ工業株式会社
株式会社ダイヘン
株式会社大丸松坂屋百貨店
株式会社髙島屋
髙松建設株式会社
株式会社竹中工務店
田辺三菱製薬株式会社
通天閣観光株式会社
株式会社椿本チエイン
ＴＩＳ株式会社
株式会社テラモト
株式会社電通
東急不動産SCマネジメント株式会社
東京海上日動火災保険株式会社
東京建物株式会社
東洋テック株式会社
東洋紡株式会社
戸田建設株式会社
凸版印刷株式会社
豊田通商株式会社
株式会社ナテック
株式会社ナリス化粧品
南海電気鉄道株式会社
西日本高速道路株式会社
西日本電信電話株式会社
西日本旅客鉄道株式会社
日通商事株式会社
日本郵便株式会社
日本板硝子株式会社
合同会社日本MGMリゾーツ
日本航空株式会社
日本国土開発株式会社
株式会社日本触媒
日本生命保険相互会社
日本通運株式会社
日本電気株式会社
ネグロス電工株式会社
野村證券株式会社
株式会社ハークスレイ
ハードロック・ジャパン株式会社
株式会社博報堂
長谷工グループ
株式会社パソナグループ
パナソニック株式会社
株式会社BARIKI
阪急電鉄株式会社
阪神高速道路株式会社
阪神電気鉄道株式会社
ぴあ株式会社
Peach Aviation株式会社
日立造船株式会社
株式会社ビックカメラ
表示灯株式会社
不二製油グループ本社株式会社
不二電機株式会社
株式会社プレサンスコーポレーション
株式会社翻訳センター
丸一鋼管株式会社
丸紅株式会社
株式会社萬野屋
株式会社みずほ銀行
三井住友海上火災保険株式会社
株式会社三井住友銀行
三井住友建設株式会社
三井住友信託銀行株式会社
三井物産株式会社
三井不動産株式会社
三菱商事株式会社
株式会社三菱UFJ銀行

村本建設株式会社
明治安田生命保険相互会社
メルコリゾーツ＆エンターテインメントジャパン株式会社
株式会社森組
柳金属産業株式会社
ヤマト運輸株式会社
大和財託株式会社
有限責任あずさ監査法人
夢展望株式会社
吉本興業株式会社
株式会社淀川製鋼所
Las Vegas Sands Corp.
株式会社ラプレ
りそなグループ
レンゴー株式会社
ロート製薬株式会社

ⅲ）オフィシャルサポーター（92社・団体）

アーキヤマデ株式会社
アジア太平洋トレードセンター株式会社
株式会社ASKプランニング
株式会社梓設計
アルインコ株式会社
株式会社アルゴ
株式会社安藤・間
イカリ消毒株式会社
いっとこミナミ実行委員会
一本松海運株式会社
株式会社インザライフ
株式会社ヴァンズ凸
エイトレント株式会社
SMB建材株式会社
戎橋筋商店街振興組合
株式会社ELEPLAN
大阪営一友の会・大阪営二友の会
株式会社大阪市開発公社
一般社団法人大阪タクシー協会
大阪兵庫生コンクリート工業組合
大阪府塗装工業協同組合
司法書士法人おおさか法務事務所
有限会社カエルスタジオミュージック
株木建設株式会社
一般社団法人関西インバウンド事業推進協議会
株式会社紀陽銀行
享代クリエイト株式会社
クリスタ長堀株式会社
株式会社栗本鐵工所
京阪神ビルディング株式会社
鴻池運輸株式会社
国際航業株式会社
コドモエナジー株式会社
佐川印刷株式会社
株式会社三栄建設
株式会社シーモス
株式会社JDスクエア
JPグループ
ジェットスター・ジャパン株式会社
株式会社ジャパンペール
心斎橋筋商店街振興組合
心斎橋BIGSTEP
スケーター株式会社
株式会社スマホスピタル
株式会社セレスポ
千林商店街振興組合
宗右衛門町商店街振興組合
株式会社創生
大平印刷株式会社
竹中工務店 大阪竹和会
千房ホールディングス株式会社
株式会社TKビジョン
株式会社テクト
道頓堀一丁目東櫓振興町会・道頓堀商店連盟
道頓堀商店会
株式会社徳原興産
株式会社寿幸
株式会社doroguba
中之島まちみらい協議会
なにわ淀川花火大会
ナルックス株式会社
難波センター街商店街振興組合
西松建設株式会社
西村あさひ法律事務所
株式会社日建設計
株式会社パシオン
株式会社HASSIN
阪急東通商店街連合
株式会社ハンドグローイング
光建設工業株式会社
株式会社平田タイル
フェデックス エクスプレス
株式会社藤井組

富士興業株式会社
フジモリ産業株式会社
株式会社PAYROUTEインターナショナル
北港運輸株式会社
株式会社北港ロード
マツモト産業株式会社
マロニー株式会社
御堂21倶楽部・東京21倶楽部
株式会社都エンタープライズ
ミヤマグループ
一般社団法人未来教育推進機構
株式会社村田製作所
望月綜合法務事務所グループ株式会社シンセシスLF
株式会社ヤマガタ
優美社産業株式会社
株式会社ユーポス
株式会社リゾートライフ
株式会社リンクス

OSAKA-KANSAI/JAPAN
EXPO2025
World Expo 2025
Candidate